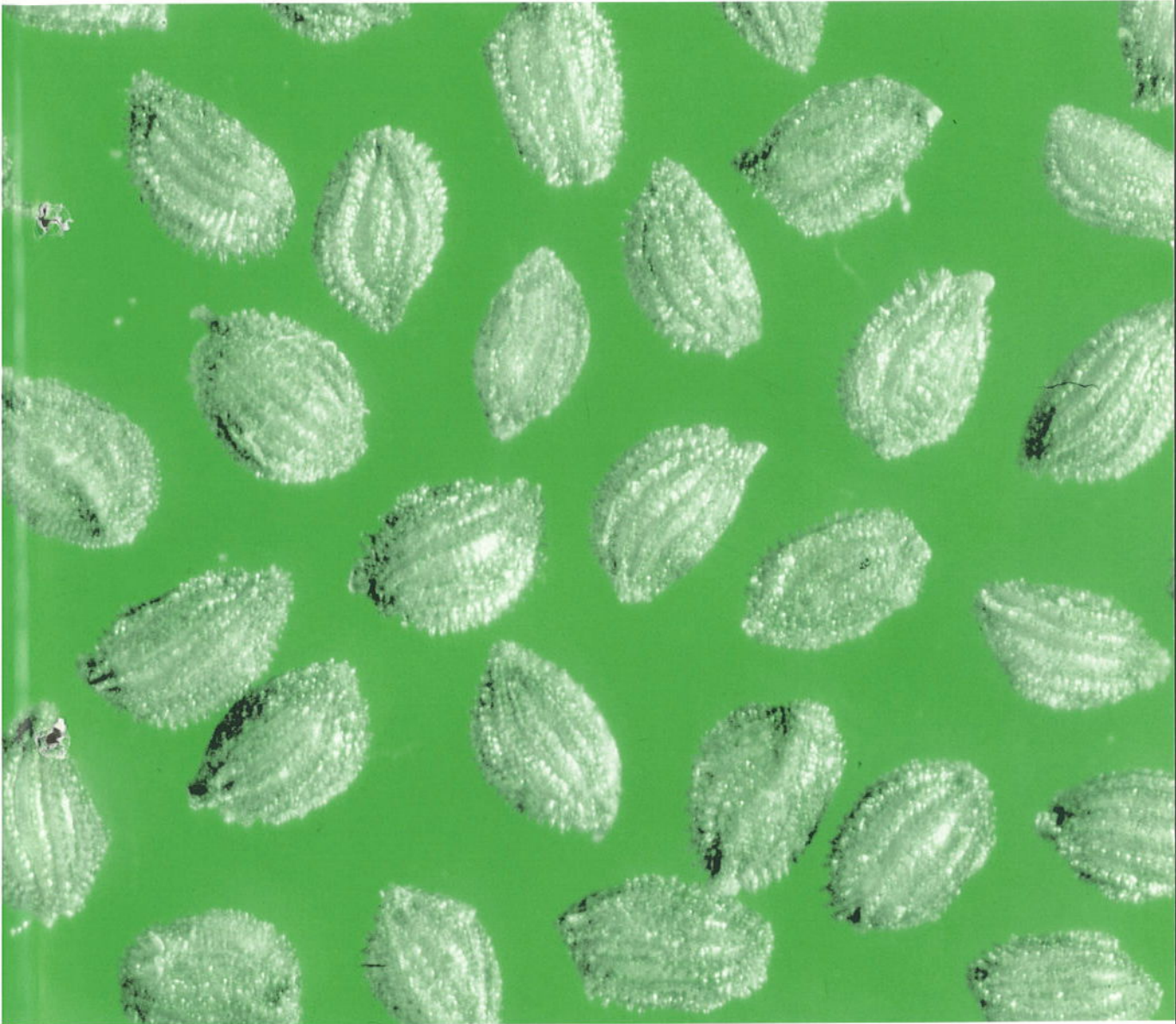


植調

第46巻第11号



イワボタン (*Chrysosplenium macrostemon* Maxim.) 長さ1mm

公益財団法人

日本植物調節剤研究協会

<http://www.japr.or.jp/>

より豊かな 農業生産のために。 三井化学アグロの除草剤



キクンジャベZ 1キロ粒剤

MICシロノック 1キロ粒剤51

MICスラッシュ 粒剤 1キロ粒剤

イネエース 1キロ粒剤

クサファイター 1キロ粒剤

クサトリードX ジャンボH/L 1キロ粒剤75/51
フロアブルH/L

ラクダーフロ フロアブル・Lフロアブル 1キロ粒剤75/51

イネキング 1キロ粒剤
ジャンボフロアブル

MICスウィープ フロアブル

フォローアップ 1キロ粒剤

シロノック 1キロ粒剤75
H/Lフロアブル
H/Lジャンボ

クサトッタ 粒剤 1キロ粒剤

イネ王国 1キロ粒剤

MICザーベックスDX 150

草枯らしMIC



三井化学アグロ株式会社

東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>



**イネバ
トリオ**

1キロ粒剤51

楽に、一発。

水稲用初・中期一発除草剤



Bayer CropScience

バイエルクロップサイエンス株式会社
www.bayercropscience.co.jp

お客様相談室: ☎ 0120-575-078
(9:00~12:00, 13:00~17:00 土・日・祝日をのぞく)

®はバイエルグループの登録商標

**3成分で、
田植えと同時に
一発除草。**



- SU抵抗性雑草に高い効果
- ノビエ2.5葉期まで可能



： 卷 頭 言 ：

万葉集—植物が詠い込まれた歌—を楽しむ



宇都宮大学 名誉教授 竹内安智

『万葉集』は日本最古の国民的和歌集で、7世紀後半から8世紀後半頃の律令国家成立前後の瑞々しい息吹に溢れた時代の歌、4,516首が収録されている。そのうちの1/3に植物が登場する。ほとんどがどこの里地・里山でも普通に見られもので、種類数では160位である。植物が、歌の大半を占める相聞歌（男女の思いを伝え合う歌）のなかに見事に詠い込まれている。食物、衣服、燃料にと生活のあらゆる場面で利用されていて身近な存在だったのであろう。

さて、万葉集への関心と想像は脳の活性化に役立つと言う。ここに植物が登場する歌、数首を紹介したい。

万葉集の冒頭を飾る歌は驚くことに求愛の歌である。雄略天皇が山菜を摘む娘に詠いかける。

「籠(こ)もよ み籠もち ふくしもよ みぶくしもち この丘に菜摘ます児(こ) 家告(の)らさね 名告らさね そらみつ大和の国はおしなべて吾こそ居れ」(意味：様々な道具を持って丘に菜を摘む娘さん！家はどこか。名前は何というか。私は大和一带を治める者だ。) この歌は後半の「統一国家の大王としての君臨を宣言する雄叫び」の比重の方が大きいとも言われる。

農耕地雑草が詠われた首数は少ない。農に直接関わった詠み人が少ないか、正確な雑草名も知らなかったのかも知れない。

「打つ田にも稗は数多ありといえど擇(え)られし我ぞ夜を一人寝る」(詠み人：柿本人麻呂 意味：水田には沢山の稗が生えているように男は沢山いるのに、自分だけが抜き取られて寂しく独り寝をしている。) 直撒きもされており、稗はイネに負けないほどの数が生えていたのであろう。

「思ふ人來むと知りせば八重むぐら(ヤエムグラ) 覆へる庭に玉敷かましを」(意味：思う人が

来るのを前もって知っていれば、屋敷内の雑草を取って綺麗にしておいたのに。) 万葉人も雑草が生えていると、むさ苦しく恥ずかしいと思っていたのである。潔癖性も伺える。

「月草の借れる命にある人をいかに知りてか後も逢はむといふ」(意味：ツユクサの花が一日花であるように儚い私達の命なのに、どうして後で逢いましょうと言うのですか。) 殆どの人は植物をよく観察していたので、ツユクサが1日花ということに気づいていたであろう。

「道の辺の尾花(ススキ)が下の思ひ草今さらになど物か思はむ」(意味：思ひ草が道端のススキを頼りにしているように、私もあなただけが頼りです。決して他の人のことなど考えません。) 詠み人は思ひ草(ナンバンギセル)がススキに対して根寄生の全寄生性であることを見抜いていた。

「この里は継ぎて霜や置く夏の野に我が見し草は黄葉(もみ)ちたりけり」(詠み人：孝謙天皇 意味：夏なのに、この里に霜が降りたのだろうか。私が見た草が黄色に色づいていた。) 澤蘭(サワヒヨドリ)かヒヨドリバナがジェミニウイルスに冒され夏に黄化症状を呈していると詠んだ。植物ウイルスに関する世界最古の記録であるとして、かつてネイチャー誌に紹介された。前の歌とともに正にサイエンティストとしての観察眼を伺える。

私は、植物の有りように自分の想いをなぞらえて歌にする、万葉人の洗練された表現力に深く感銘を受ける。万葉集を楽しみ、そして当時の建造物、衣服、文物などを想い浮かべる時、周辺国に比べて見劣りしない当時の文化、文明はただ導入したものだけの所産ではなく、彼らの独特の感性と能力の基盤の上に成立したものであろうとの思いを強くする。

目 次

(第 46 卷 第 11 号)

巻 頭 言

万葉集—植物が詠い込まれた歌—を楽しむ 1
 <宇都宮大学 名誉教授 竹内安智>

「農」の現場で生物多様性を保全するためには？

—水田生態系の雑草群落を例に— 3
 <東京大学大学院農学生命科学研究科 大黒俊哉>

畑雑草の幼植物(2)タネツケバナとミチタネツケバナ ... 11
 <(独)農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合
 研究センター 生産体系研究領域 浅井元朗>

植物の高温障害にみられる雄性不稔の発生メカニズム
 とオーキシン 15
 <東北大学 大学院生命科学研究科 教授 東谷篤志>

植調試験地だより 愛媛試験地 24
 <(公財)日本植物調節剤研究協会 愛媛試験地
 主任 土居隆洋>

平成 24 年度 水稲作関係除草剤試験判定結果— 28
 <(公財)日本植物調節剤研究協会>

「話のたねのテーブル」より
 ススキとオギはどこが違うの？ 134
 <廣田伸七>

**省力タイプの高性能
水稲用初・中期
一発処理除草剤シリーズ**

**問題雑草を
一掃!!**



アサヒ



ホタルイ



コサギ



ミソアザイ



ミソカヤリ



イボクサ

日農 **イッポン** 日農

**この一本が
除草を変える!**

1キロ粒剤75・フロアブル・ジャンボ

日農 **イッポンD**

**田植え
同時処理
可能!**
(ジャンボを除く)

1キロ粒剤51・フロアブル・ジャンボ



ダイナマンD

1キロ粒剤51 フロアブル

投げ込み用
マサカリ
ジャンボ

マサカリジャンボ

日本農薬株式会社

東京都中央区日本橋1丁目2番5号
 ホームページアドレス <http://www.nichino.co.jp/>

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器・空袋等は燃場などに放置せず、適切に処理してください。

「農」の現場で生物多様性を保全するためには？ －水田生態系の雑草群落を例に－

東京大学大学院農学生命科学研究科 大黒俊哉

1. はじめに

2010年に第10回生物多様性条約締約国会議(COP10)が名古屋で開催されて以降、日本でも生物多様性保全に対する国民的関心は徐々に広がりをみせつつある(内閣府大臣官房政府広報室2012)。2012年9月には、新しい国家戦略である「生物多様性国家戦略2012-2020」が閣議決定され、COP10で採択された愛知目標の達成に向けたわが国のロードマップが示された。そのなかで、SATOYAMAイニシアティブの推進に代表されるように、生物多様性保全における農業・農村の重要性はますます高まっている。新しい生物多様性国家戦略では、今後取り組むべき施策の方向性として、(1)生物多様性を社会に浸透させる、(2)地域における人と自然の関係を見直し再構築する、(3)森・里・川・海のつながりを確保する、(4)地球規模の視野を持って行動する、というこれまでの4つの戦略に、(5)科学的基盤を強化し政策に結びつける、を加えた5つの基本戦略が示された。いずれの項目も農業・農村に深く関わっているが、とくに(2)については、具体的内容として、①里地里山及び里海の保全活用に向けた取組の推進、②鳥獣と共存した地域づくりの推進、③生物多様性の保全に貢献する農林水産業の推進、④地

域固有の野生生物を保全する取組の推進、とあり、これらはまさに農業・農村において解決すべき課題にほかならない。近年注目を集めている「里地里山」についていえば、国土の4割を占め、絶滅危惧種の5割以上が分布するとされることから、農林業活動など人間の営みを通じて維持されてきた二次的な自然環境が、生物多様性保全上いかに重要性かがわかる。

ところで、里地里山のような農村空間で絶滅が危惧される生物の多くは当然のことながら、かつて我々の身近で普通にみられた種であり、そのなかには駆除の対象とされていた雑草も含まれている。このような、雑草やかつての普通種は農村空間でどのように維持されてきたのか、なぜ減少したのか、そして今後、農村空間のなかでどのように保全していくべきなのか。本稿では、とくに水田生態系を中心にこの問題を考えてみたい。

2. 農村空間における生物多様性の特徴

農村空間は、二次的な自然環境を主体とする生態系からなる空間であり、生物からみた最も重要な特徴は、人間の働きかけ、つまり攪乱によって維持されてきたダイナミックな系という点である。自然状態で生じる攪乱は、生物群集

の更新過程に重要な役割を果たすことが知られているが、農村生態系ではむしろ、人間が排除してきた自然撓乱を、農業活動を通じた人為的撓乱が肩代わりする役割を担ってきたという面がある(守山 1997)。伝統的な農村では、自然自身の再生能力を損なわない範囲での生産活動や地域の行動規範(入会地や共同賦役など)によって適切に利用管理されることで、そうした撓乱の周期や規模、強度(撓乱体制)が、一定の枠内に納められていたと考えられる。農耕地の雑草は、耕耘や施肥、除草などの一連の農作業という撓乱体制に適応した植物であり、かつそうした時間的異質性を生み出す撓乱環境でのみ生存可能な植物といえる。

農村空間のもうひとつの大きな特徴は、水田、畑、雑木林、屋敷林、水路、ため池、二次草地など、多様な構成要素(生息地)がパッチ状に分布し、農村ランドスケープを形成している点である。パッチが十分に大きい場合を除いて、パッチ間を種が移動できるかどうかは、生物集団の動態を左右する。撓乱によるパッチの生成と回復のバランスがうまく保たれていれば、生物相にとって動的な平衡状態が形成されと考えられるが、その際重要となるのが、回復過程に必要な種の供給である。パッチが撓乱を受け、局所的な個体群が一時的に消滅しても、周辺からそこに種が供給されれば、そのパッチに個体群が回復する。一方、そうしたパッチ状の性質の異なる生息地を組み合わせることで生息する生物もいる。伝統的な農村では、一定の管理(撓乱)を通じて、土地自然の多様さを保持しながら、パッチの生成と回復のバランスを維持してきたと考えられている(井手・大黒 1998)。

以上のように、農村空間の多様な生物相を特徴づけてきたのは、自然立地の多様さ、人間による一定の管理(撓乱)を背景とした群落の多様さ、撓乱からの回復と種の移動・供給のバランスなど、土地利用や景観構造に係わる要因である。農耕地雑草にとっても、この時間的・空間的異質性は、その生存に重要な役割を果たす。たとえば、水田雑草は湿性環境下での水田耕作という撓乱に適応した植物種群といえるが、それらは水田のみならず、水路・ため池の周囲や休耕田など、水田に隣接する多様な湿性環境で生育可能であり、複数のハビタットが相互にレフュージア(避難地)となることで、局所的な個体群の消滅を逃れてきたと考えられる。生物多様性の観点からみた水田生態系の特徴については、清水(1998)に詳しくまとめられている。

3. 農業・農村の変遷と生物多様性への影響

従来、合理的に自然に手を加えてきた(撓乱を与えてきた)農林業が、結果として二次的な生物群集を「保全」してきた仕組みを以上のように考えると、農村空間における生物相の特徴やその変動は、人為的な働きかけの変化との関連でとらえることができる。1960年代以降の農業・農村の変容は、こうした人為的な働きかけの質や土地自然の多様性を大きく変化させた。これには、大規模基盤整備、機械化、化学資材の投入にみられるような、人為的な働きかけの規模や強度の強化(intensification)および、薪炭林の放棄などに代表されるような、管理粗放化にともなう人為的な働きかけの停滞や周期の変動(abandonment)、という2つの側面が含まれる。生物多様性国家戦略でまとめられている

「生物多様性の危機の構造」との関連でいえば、前者は第1の危機（開発など人間活動による危機）および第3の危機（化学資材等人間により持ち込まれたものによる危機）、後者は第2の危機（自然に対する働きかけの縮小による危機）に対応する。こうした変化は、従来の農村空間の特徴である、時間的・空間的異質性を低下させる方向へ導いたと考えられる。これは、自然立地の多様さや群落の多様さの消失と、生息環境の均質化を意味する。また、生息空間が分断されたことによって、種の移動・供給が保障されない状況が生じてきた。生息環境の均質化の影響を受けやすいのは、とくに遷移の途中相的な性質をもつ環境と結びつきの強い生物であり、一方、分断化の影響を受けやすいのは、移動能力の低い生物などである。こうした生息空間の均質化および減少・分断化はさらに、生物生息地としてのポテンシャルの高いエコトーン（異なる景観構成要素の境界域）の減少も引き起こしている（楠本ほか 2006）。

では、水田を中心とする生態系ではどのような変化が起き、生物の生息、とくに雑草群落にどのような影響を及ぼしたのか。近代農業による雑草管理が始まる前の戦前、水田雑草は191種定義されたが（笠原 1951）、現在、このうち19種が全国的に絶滅の恐れがある種とされ、それ以外にも地域的な絶滅の恐れがある種は少ない（山田 2010）。伊藤（1987）は、水田雑草群落の変遷に影響を及ぼした農業上の要因を図-1のようにまとめている。除草剤の普及は、水田雑草植生に最も大きなインパクトを与えた要因のひとつであるが（清水 1998）、昨今の絶滅危惧雑草の出現をもたらすような変化は、より複合的な要因によって引き起こされたと考えられている。なかでも、圃場整備による乾田化と農業機械の普及は、それまでの湿性環境の特徴を大きく変えるとともに、冬作の減少ともあいまって、耕作時期や管理方法、すなわち雑草にとっての攪乱体制をも大きく変えることとなった（富永・三浦 2010）。これらの変化は、上

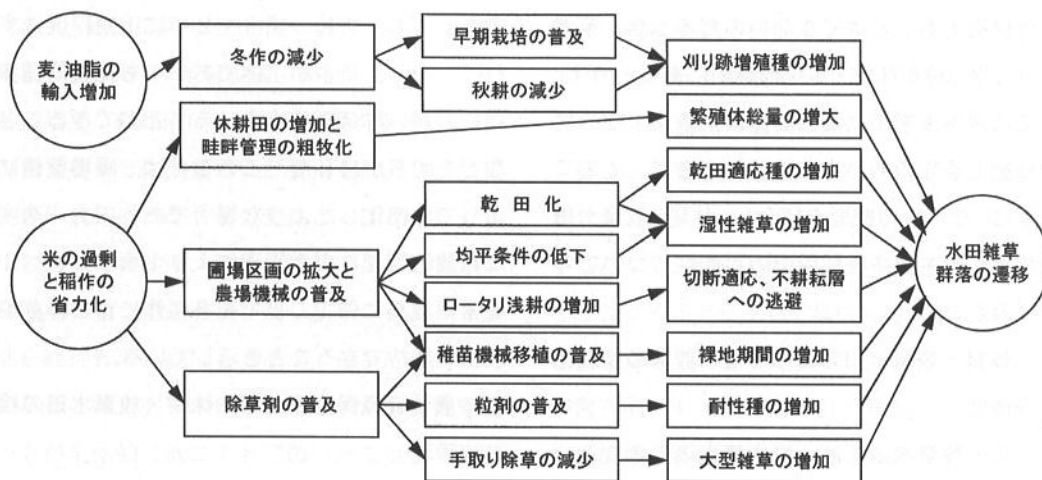


図-1 水田雑草群落の遷移に関する農業上の要因（伊藤 1987）

述したように、水田生態系における時間的・空間的異質性の低下をもたらすものである。

4. 休耕・放棄水田の活用による時間的・空間的異質性の創出

つぎに、農村空間で維持されてきた雑草やかつての普通種を、今後どのように保全していくのが望ましいのかを考えてみたい。保全生態学の分野では、自然への働きかけにより維持されてきた二次的な自然環境を保全・再生するためには、従来の伝統的な管理手法を長期的に適用することが最適との考え方が、多くの生態学的研究によって裏づけられており、国際的にも広く認知されている (Samoy et al. 2007; SER 2004)。もちろん、わが国の農業・農村を取り巻く現状をかんがみれば、生物多様性保全を社会の目標として、国土の約4割の地域をこれまでと同じ姿で適切に管理していくことはきわめて困難である。しかし、上に述べたような農村空間における生物多様性維持の仕組みを理解したうえで、現在の社会条件にも適合した管理手法を再構築することはできないのだろうか。筆者らは、その鍵が休耕・耕作放棄地にあると考え、とくに水田生態系における休耕・放棄水田の植生動態と管理のあり方を検討してきた。そこで以下に、それらの概要を紹介し、休耕・放棄水田を活用した生物多様性保全の可能性について考えてみたい。

(1) 休耕・放棄水田における植物群落の動態と多様性

休耕・放棄水田では、耕作停止後の年数という時間軸に加え、地形や土壌などの立地特性に代表される自然的要因と、人為的要因である圃

場整備の程度や耕作停止後の管理履歴の違いが植生遷移の方向や速度に影響を及ぼす重要な要因と考えられている。たとえば、圃場整備の進んでいない山間部の棚田地帯などでは、斜面形態等の地形条件に対応した水分条件の違いによって、凸型・等斉型斜面におけるススキを中心とした乾性の遷移と、凹型斜面におけるヨシを中心とした湿性の遷移に分かれる例が報告されている (大黒ほか 1996)。これに対し地形条件がほぼ一律な低地域では、主として管理履歴の違いが、植物群落の形成に重要な役割を果たすことが知られている。楠本ほか (2005) は、大規模河川下流域の低地域の休耕・放棄水田を対象に、植物群落と管理履歴の関係を解析し、とくに休耕後の耕起頻度と引水管理による土壌水分レベルの違いが、多様な雑草群落タイプの成立に大きく寄与することを示した (図-2)。とくに、植物種の多様性に富んだ良好な湿地性の植物群落は3年に1回程度の適度な耕起と水分ポテンシャルを湿潤に保つことで維持できること、復田を前提として高度に管理された休耕地であっても、耕起の頻度を2年に1回程度にすれば、一年生草本が主体であっても比較的種多様性の高い群落を成立させることができることなどを明らかにした。このことは、圃場整備によって乾田化したような場所であっても、適度な粗放的な管理と引水管理により土壌水分レベルを常に湿潤に保つことで種多様性に富む群落を創出・維持できることを示している。

(2) 農地資源保全のための休耕・放棄水田の粗放管理

休耕・放棄水田の維持管理についてはまた、農地資源の保全・確保という観点からも研究が進

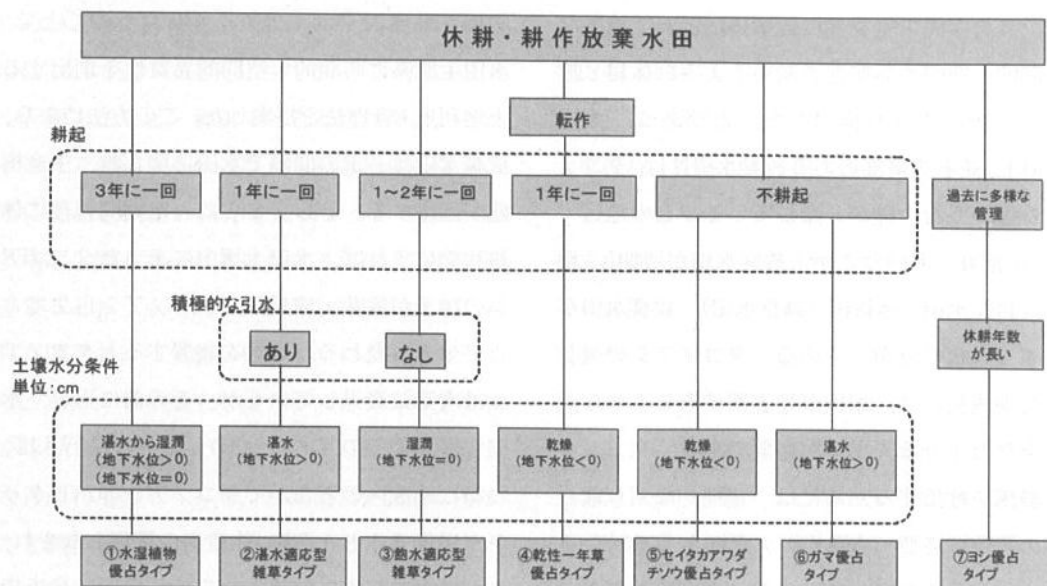


図-2 休耕・耕作放棄水田における植物群落タイプと管理履歴との対応模式図（楠本ほか 2005）

められている。有田ほか（2008）は、わが国の長期的な食糧需給の不安定性に対処するためには、急増する耕作放棄地の資源的価値の劣化を抑制する必要があるとして、耕作放棄地を復田可能な状態で維持するための低コストな管理手法を検討した。山間部のさまざまな放棄水田を対象に、植生排除（刈り払い、伐木、除根、抜根、集積、搬出等）、基盤整備（整地、レベル測量、基盤均平、畦畔造成、耕起、水張均平等）など、復田に要する作業量および費用を計算し、放棄後の年数経過に伴う植生変化との関係をモデル化した。その結果、耕作放棄初期からの毎年の軽微な作業（耕起および刈り払い）によって農地を維持管理し続ける方法が、経済的に効果的であることが明らかになった。また、湿性圃場の方が全体的に低コストであったことから、湿性状態での維持が望ましいことも分かった。

こうした粗放管理は、土壌保全、景観・周辺環

境保全、農家意欲の継続など、経済性以外のメリットも大きいばかりでない。粗放管理によって形成・維持される雑草群落は、じつは上に述べた「植物種の多様性に富んだ良好な湿地性の植物群落」との類似性がきわめて高いのである。すなわち、農地資源を保全するための粗放管理は、同時に生物多様性保全や生態系サービスの維持にも大きく貢献することが期待できる。

(3)「農」の現場で生物多様性を保全するとは？

休耕・放棄水田を活用した生物多様性保全の取り組みは、すでに各地で実践されている。しかしながら、「農」の現場で保全する以上、単なるサンクチュアリとして維持するだけではなく、粗放管理の項で述べたように、休耕・放棄水田が潜在的にもっている多様な機能、つまり食糧生産機能や各種環境保全機能も同時に発揮する空間として再構築されることが望ましい。

筆者は、こうした多様な機能の発現を促しつ

つ、農村空間の生物多様性維持にとって重要な時間的・空間的異質性を高めるような休耕・放棄水田の活用を検討したことがある（大黒2000）。茨城県南部のある放棄水田には、タコノアシという希少種が分布している。この地区では、後継者の問題などから放棄水田が増加し、現在は耕作水田、休耕地（調整水田）、放棄水田がモザイク状に分布している。タコノアシの発芽と初期成長には、水位が地表面にあるような湿性条件と十分な光環境が必要であり、タコノアシ群落を維持するためには、定期的な刈り取り等の管理が必要であるが（大黒ほか2003）、このまま放置すれば、ヨシやセイタカアワダチソウが優占してタコノアシはいずれ消失してしまうと懸念された。ところが、地区全域で埋土種子を調べたところ、タコノアシの種子は、放棄水田だけでなく、水流によって隣接した現行水田や調整水田にも広く散布されていることが分かった。つまり、この地区の水田全体が、タコノアシのハビタットとなりうることが示唆されたのである。そこで、現在水田耕作を行っている

圃場を地区内でローテーションさせることで、水田生態系に時間的・空間的異質性を創出する土地利用・管理法を提案した。この方法により、放棄水田は一定の間隔で水田に戻され、生産機能が回復する。そしてさらに一定期間の後に休耕状態にすれば、水田土壌にあったタコノアシの種子が発芽・成長し、タコノアシ自生地として生まれ変わる。これを放置するとタコノアシは次第に衰退していくが、その前に再び、水田に復元するのである。こうした管理を行えば、つねに地区内のどこかでタコノアシのハビタットが出現するとともに、休耕地の管理もなされ、さらに水田耕作も継続される（図-3）。最近では、休耕地を活用したバイオ燃料としての飼料イネ栽培の取り組みが進められているが、水田機能の維持による不測の事態への備えという役割を考えれば、上述の粗放管理のバリエーションとして位置づけることができ、このローテーションに組み込むことも十分可能である。そうすれば、休耕地の機能はさらに高まるであろう。

以上、「農」の現場で生物多様性を保全するた



図-3 生物相を動的に保全するためのローテーション監理の模式図（大黒2000）

めのひとつの方法としての休耕・放棄水田の活用について述べてきた。もちろん、労力・コストや管理方法など、解決すべき課題は多い。しかしここで強調したいのは、生物多様性の保全は単に絶滅危惧種の保存を意味するのではなく、多様な生態系サービスの保全・再生と密接に関連するという点である。この点を踏まえれば、農村空間における生物多様性保全において本質的なことは、単に過去を復元し、かつての生き物と呼びもどすだけではなく、あらたな持続的生物資源利用のしくみを、二次的自然環境の豊かさと調和したかたちで再構築することであろう(大黒・武内2010)。

引用文献

- 有田博之・山本真由美・大黒俊哉・友正達美 (2008) 農業農村工学会論文集 254, 23-29.
- 井手任・大黒俊哉 (1998) 『平成9年度生物の生息・生育環境の確保による生物多様性の保全及び活用方策調査委託事業報告書』 社団法人農林水産技術情報協会, 1-6.
- 伊藤一幸 (1987) 研究ジャーナル10(6), 16-22.
- 笠原安夫 (1951) 農学研究 39, 143-154.
- 楠本良延・大黒俊哉・井手任 (2005) 農村計画論文集 7, 7-12.
- 楠本良延・山本勝利・大黒俊哉・井手任 (2006) 農村計画学会誌 25, 281-286.
- 内閣府大臣官房政府広報室 (2012) <http://www8.cao.go.jp/survey/h24/h24-kankyō/index.html>
- 守山弘 (1997) 『自然環境とのつきあい方6 むらの自然をいかす』, 岩波書店, 東京.
- 大黒俊哉・松尾和人・根本正之 (1996) 日本生態学会誌 46, 245-256.
- 大黒俊哉 (2000) 『農山漁村と生物多様性』 宇田川武俊編, 家の光協会, 172-188.
- 大黒俊哉・白戸康人・伊藤一幸 (2003) ランドスケープ研究 66, 599-602.
- 大黒俊哉・武内和彦 (2010) 『サステイナビリティ学第4巻 生態系と自然共生社会』 小宮山宏・武内和彦・住明正・花木啓祐・三村信男編, 東京大学出版会, 75-107.
- Samoy, D., M. Lambotte, K. Biala and J.M. Terres (2007) Validation and Improvement of High Nature Value Farmland Identification - National Approach in the Walloon Region in Belgium and in the Czech Republic. EUR Scientific and Technical Research series (EUR 22871 EN), European Commission.
- 清水矩宏 (1998) 『水田生態系における生物多様性』 農業環境技術研究所編, 養賢堂, 82-126.
- Society for Ecological Restoration International (2004) The SER international primer on ecological restoration, <http://www.ser.org/>
- 富永達・三浦励一 (2010) 『身近な自然の保全生態学』 根本正之編著, 培風館, 69-99.
- 山田晋 (2010) 『身近な自然の保全生態学』 根本正之編著, 培風館, 49-67.

Quality & Safety

消費者・生産農家の立場に立って、安全・安心な
食糧生産や環境保護に貢献して参ります。

SDSの水稲用除草剤成分 「ベンゾビシクロン」含有製品

SU抵抗性雑草対策に！アシカキ、イボクサ対策にも！

- | | |
|------------|-----------------------------------|
| | シロノック(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル) |
| | オークス(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル) |
| | サスケ-ラジカルジャンボ |
| 新製品 | … フルイニング/ジャイブ/タンボエース1キロ粒剤 |
| | トビキリジャンボ |
| | イッテツ(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル)/ボランディアジャンボ |
| | テラガード(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル/250グラム) |
| | キチット(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル) |
| 非SU | … スマート(1キロ粒剤/フロアブル) |
| 非SU | … サンシャイン(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル) |
| 非SU | … イネキング(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル) |
| 非SU | … ピラクロエース(1キロ粒剤/フロアブル) |
| | 忍(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル) |
| | ハーディ1キロ粒剤 |
| 非SU | … カービー1キロ粒剤 |
| 新製品 | … シリウスエグザ1キロ粒剤 |
| | ハイカット/サンパンチ1キロ粒剤 |
| | ダブルスターSB(1キロ粒剤/ジャンボ/顆粒) |
| | シリウススターボ(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル) |
| | シリウスいぶき(1キロ粒剤/ジャンボ/顆粒) |
| 新製品 | … 半蔵1キロ粒剤 |
| | プラスワン(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル) |
| 新製品 | … プレステージ1キロ粒剤 |
| 新製品 | … フォーカード1キロ粒剤 |
| 非SU | … イネエース1キロ粒剤 |
| 非SU | … ウエスフロアブル |
| 非SU | … フォーカスショットジャンボ/ブレッサフロアブル |

株式会社 イスディー・イス バイオテック

〒103-0004 東京都中央区東日本橋一丁目1番5号 ヒューリック東日本橋ビル
TEL.03-5825-5522 FAX.03-5825-5502 <http://www.sdsbio.co.jp>

畑雑草の幼植物

(2) タネツケバナとミチタネツケバナ

(独)農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター 浅井元朗

タネツケバナ (*Cardamine flexuosa* With.), ミチタネツケバナ (*C. hirsuta* L.) はいずれもアブラナ科タネツケバナ属の一年生草本である。両種とも、主に秋季に発芽、出芽して、越冬後、春季に開花・結実する。タネツケバナは春季に出芽後、夏季までに、あるいは晩夏季に出芽して初冬までの短期間に開花・結実することもあるが、ミチタネツケバナの開花は春のみである。

タネツケバナ属の植物の多くは湿った場所に生育するが、ミチタネツケバナは道ばたや芝生など、水はけの良い立地に生育し、水田土中では種子が越冬できない。一方、タネツケバナは代表的な冬季の水田の雑草である。冬季に湿潤な地域でのムギ作で主要な雑草で、密生すると生育初期の雑草害を及ぼすが、出穂期以降に影響を及ぼすことは少なく、ムギ類の収穫時には枯死している。

タネツケバナは日本在来種であるのに対し、ミチタネツケバナはヨーロッパの原産で、1970年代の鳥取県の標本が日本での初記録であり、1990年代以降、急速に日本全国に分布を拡大中である。

両種とも子葉は広卵形で先がわずかに凹み、長さ約2mm。無毛で柄は長い(写真-1: タネツケバナ, 写真-2: ミチタネツケバナ)。ミチタネツケバナの子葉が円形に近い。葉は互生で、第1~3葉は先がわずかに凹んだ腎形となる。タネツケバナが無毛であるのに対し、ミ

チタネツケバナは表面にまばらに毛がある(写真-3: タネツケバナ, 写真-4: ミチタネツケバナ)。両種とも第3葉までは単葉だが、第4葉以降、3小葉となり、その後次第に小葉の数を増してゆく(写真-5: タネツケバナ, 写真-6: ミチタネツケバナ)。冬季は羽状に切れ込んだロゼット葉を地表面に広げる。タネツケバナは小葉が3裂することが多いが、ミチタネツケバナの小葉は切れ込みが少なく卵形である。また、ミチタネツケバナの方が頭小葉が大きい傾向がある(写真-7: タネツケバナ, 写真-8: ミチタネツケバナ)。

開花はミチタネツケバナの方が1~2週間早く、茎葉の枚数が少なく、開花時にもロゼット葉が残る(写真-9)。ミチタネツケバナの花弁は長さ2~3mmで、ほとんどが雄しべは4本(写真-10)。果実は花茎に沿うように直立する。一方、タネツケバナでは花弁の長さ3~4mmで、雄しべは6本ある。果実は斜めにつく(写真-11)。花期には茎基部の葉は枯れ、茎葉のみとなっていることが多い。しばしば、春耕前の水田に大群落をつくる(写真-12)。両種とも成熟した果実は弾けて、周辺に種子をばらまく。

参考文献

工藤洋 2012. ミチタネツケバナの分布拡大過程をたどる 森田竜義編著「帰化植物の自然史」北海道大学出版会、札幌、127-148



写真-1 タネツケバナの子葉



写真-4 ミチタネツケバナ 2 葉期



写真-2 ミチタネツケバナの子葉



写真-5 タネツケバナ幼植物



写真-3 タネツケバナ 3 葉期

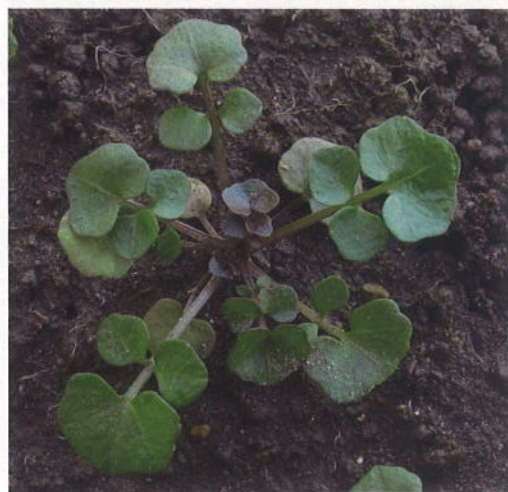


写真-6 ミチタネツケバナ幼植物



写真-7 ロゼット期のタネツケバナ



写真-8 ロゼット期のミチタネツケバナ



写真-9 開花期のミチタネツケバナ。ロゼット葉が残る。



写真-10 ミチタネツケバナの花器と果実

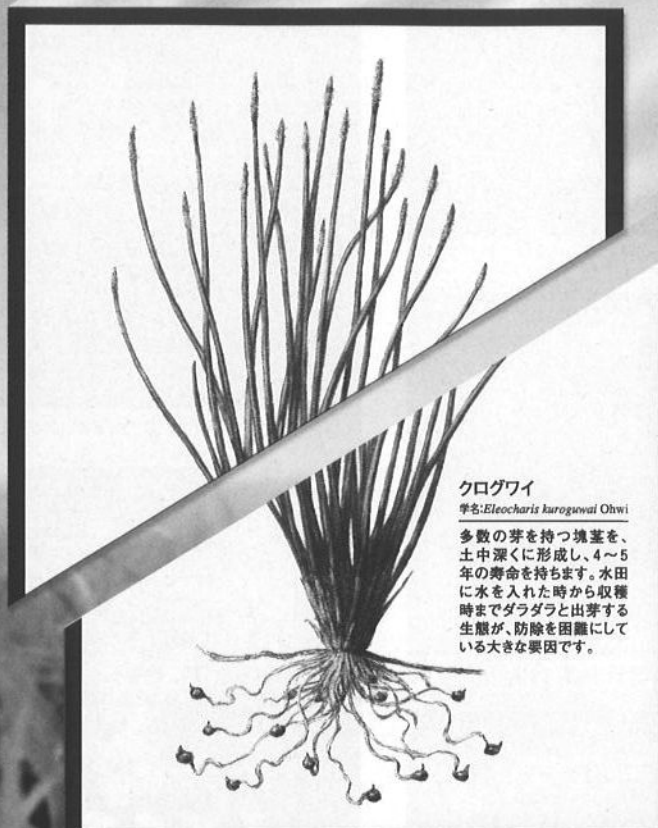


写真-11 タネツケバナの花器と果実



写真-12 水田に群生したタネツケバナ

クログワイの悩み、ス。パツと解決。



クログワイ

学名: *Eleocharis kurogumai* Ohwi

多数の芽を持つ塊茎を、土中深くに形成し、4～5年の寿命を持ちます。水田に水を入れた時から収穫時までダラダラと出芽する生態が、防除を困難にしている大きな要因です。

適用拡大で
さらに
使いやすく!

初期剤との体系で、クログワイもしっかり防除。
一発剤よりも遅い時期の散布で、徹底的にたたきます。

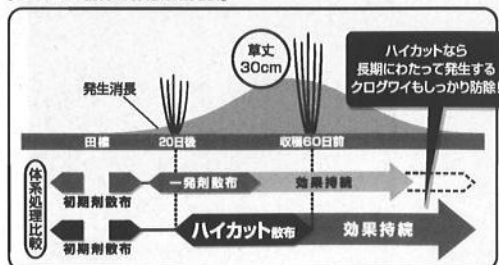
水稲用除草剤

ハイカット®

1キロ粒剤

- ノビエの3.5葉期まで防除
- SU抵抗性雑草にも有効 ●難防除雑草に卓効

【クログワイ防除の体系処理比較】



Ⓔは日産化学工業(株)の登録商標

★日産化学工業株式会社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-1 (興和一橋ビル) TEL 03 (3296) 8141 <http://www.nissan-agro.net/>

植物の高温障害にみられる雄性不稔の 発生メカニズムとオーキシン

東北大学 大学院生命科学研究科 教授 東谷篤志

はじめに

植物は固着性を示すので動物と比べて様々な環境変化に対する高い適応能力や可塑性を有している。それらの高い能力は栄養成長において顕著であるが、一方、生殖成長においてはより脆弱であることも知られている。従って、様々な環境ストレスの影響は、最終的には種子の稔実歩合の低下や不稔といったかたちであらわれる。東北地方におけるイネの冷害（低温障害）などは、身近な生殖障害のひとつとして有名である。また、世界においては、地球規模での温暖化による気温上昇が既に作物の収量低下をまねいており、特に、コムギ、オオムギ、トウモロコシの主要3穀物の総生産量は、ここ数年来、毎年約4,000万トン、金額にして50億ドルの損失が報告されている¹⁾。これら高温や低温ストレスは、生殖成長のなかでも花粉形成に最も強い影響を及ぼし、花粉の形成不全による成熟花粉数の低下や消失にともなう雄性不稔が生じることが報告されている²⁾。本稿では、主に、筆者らの研究室で得られたオオムギならびにシロイヌナズナにおける高温による花粉形成不全の発生メカニズムとオーキシンとの関わりについて論じる。

高温に最も脆弱な雄蕊の初期形成過程

オオムギやコムギにおいては、平均気温が25℃を越えると高温障害（不稔）が生じやすいことが一般的に知られている。私たちはオオムギはるな二条を用いて高温に感受性の高い時期を特定した。昼20℃/夜15℃の16時間日長の人工気象器のなかで育成させると、播種後約30日で出穂し、開花・結実をむかえる。また、出穂までに第1葉から7葉（止め葉）までが展開するので、それぞれの葉の先端が外にあらわれた段階から各5日間昼30℃/夜25℃と10℃上昇させた高温処理を行い、処理後は常温に戻して育成を続け、最終的な種子の結実率を調べた。その結果、第1～3葉展開期の高温処理では結実率に影響はみられず、続く第4～6葉展開期における高温処理では出穂はみられるもののその後の種子がほとんど結実することなく不稔となることが確認された（図-1）。なかでも第5葉展開から5日間の高温処理においては、葯内に成熟花粉が全くみられなくなり、一方、雌蕊は他の正常な花粉と受粉することで種子が結実したことから、花粉形成が不全となる雄性不稔が生じたことが確認された（図-1）。また、播種後、昼30℃/夜25℃の高温条件下で継続的に生育させても、同様の雄性不稔が生じることから

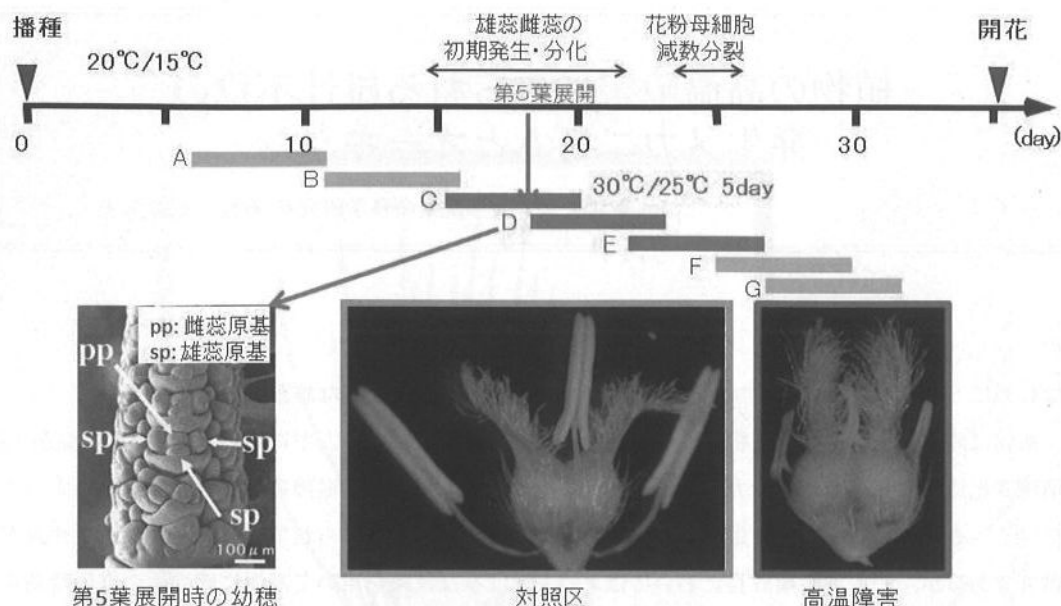


図-1 オオムギはるな二条における高温障害。昼30°C/夜25°Cで各5日間高温にさらすことで、特に第5葉展開する時期からの処理では、その後、常温で生育させても完全に花粉が形成されない雄性不稔が生じる。C、D、Eの高温処理期間ではほぼ完全不稔になる。

花粉形成の過程が最も高温に脆弱であることが確認された。第4葉が上部に出現する頃から、稈内部の茎頂分裂組織が幼穂へと分化しはじめ生殖成長に移行する。第5葉が出現し展開する時期は幼穂長が2 mm程度になり穎花数が決定するとともに、3日後には5 mm程度、5日後には10 mm前後にまで成長する。花粉母細胞の減数分裂は幼穂長が15～17 mm (第6葉展開時) に生じるため、第5葉展開期は雄蕊形成の初期過程から前減数分裂期の段階といえる(図-1)^{3), 4)}。

高温による雄性始原細胞の早期細胞分裂の停止と葯壁細胞の早期崩壊

組織学的な解析から、今回の高温条件下においても、幼穂長5 mmの時点で、葯壁細胞の4層からなる組織構造、表皮細胞、内被、中間層、タペート層(花粉母細胞に接する一番内側の葯壁細胞

層)の分化発生は観察され、またその中央にある花粉始原細胞も分化していることが、一方で葯壁細胞では特に液胞化が進行することが確認された(図-2)^{4), 5)}。また、幼穂長が5～10 mmにおけるこれらの細胞群では、常温コントロール区で20%程度の高頻度に細胞分裂M期の核相が観察されるが、高温処理区ではM期の核相が著しくみられなくなる(図-3)、また、幼穂あたりのDNA量を定量したところ、核、ミトコンドリア、葉緑体のいずれのDNAコピー数も、高温下で増加が顕著に阻害されることが示された^{5), 6)}。特に、ミトコンドリアや葉緑体のオルガネラDNAの複製がより早期に停止していた。また、葯壁細胞群における液胞化が早期から生じること、5日間の高温処理(幼穂長10 mm時)から常温に戻して2日後、15 mm長にまで発育した幼穂の葯壁タペート細胞層の細胞壁ならびにミトコンドリ

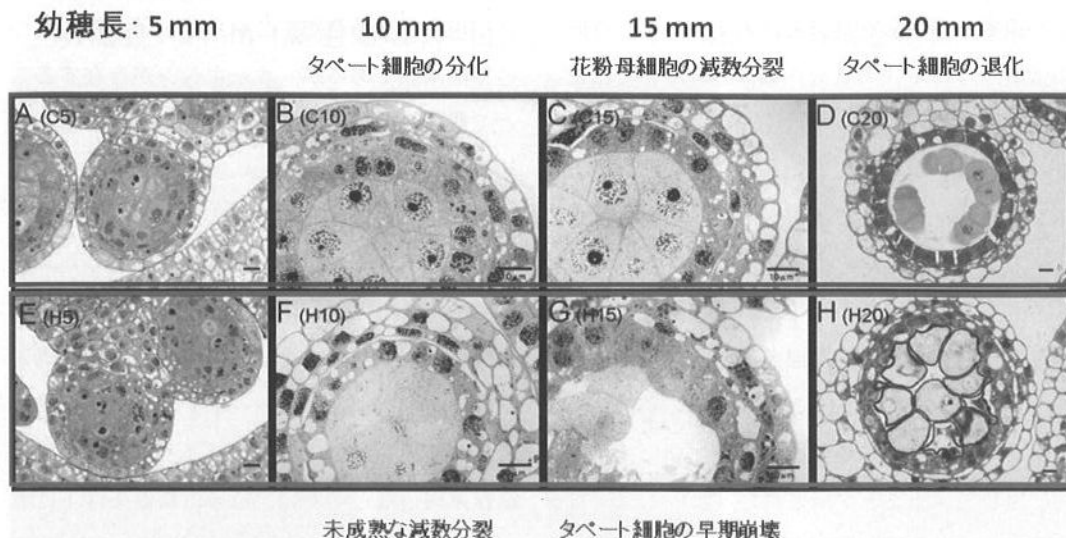


図-2 葯の初期発生分化の過程と高温による影響。論文5より改変。

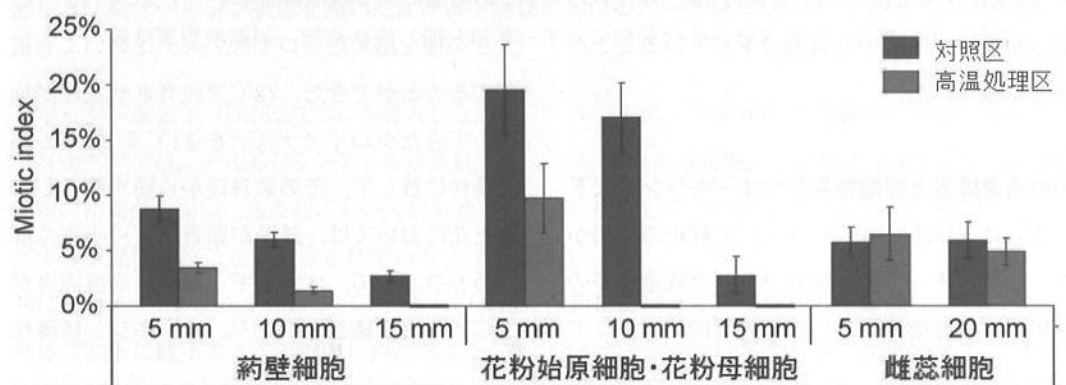


図-3 高温における発生初期の葯特異的な細胞分裂の低下。論文5より改変。

アが崩壊する^{5), 6)}。本来タペート細胞は、花粉母細胞の減数分裂が完了した後に、花粉成熟に必要な様々な物質を供給し、最終的には自らはプログラム細胞死する重要な細胞群である。従って、高温による花粉始原細胞ならびに葯壁細胞群の早期の細胞分裂の停止とタペート細胞の早期崩壊により、正常な花粉形成が完全に阻害されたものといえる。一方で、雌蕊の始原細胞などにみられる細胞分裂は、高温条件下でも正常に行われており、花粉形成の初期過程が最も高温に脆弱であることが示された (図-3)⁶⁾。

網羅的な遺伝子発現の解析からの知見

オオムギのゲノムプロジェクトならびに cDNA プロジェクトは日本をはじめとする各国の協力下で進められ、約2万遺伝子のDNAマイクロアレイチップ (Affymetrix BarleyChip1) を数年前から利用できる状況にある。これを利用した網羅的な遺伝子発現の解析から、昼 30℃/夜 25℃の高温条件では、芽生えの栄養成長期においても幼穂のサンプルと同様かそれ以上に、熱ショック遺伝子の発現誘導がみられた⁵⁾。従って、生殖組織が栄養組織と比較して高温を

より過敏に感受したためとは考えにくく、今回の常温から10℃上昇させた高温処理条件では全ての組織器官において、分子レベルでの熱ショック応答が生じているものといえる。一方で、細胞の分裂増殖に不可欠なヒストンやリボソームタンパク質などの遺伝子群、DNAポリメラーゼやDNA複製のライセンシング因子などの遺伝子群の発現は、高温条件下の幼穂で特異的に抑制がみられ、さらにin situでの解析の結果、幼穂のなかでも雄蕊始原細胞において特異的に生じていることが示された(図-4)⁵⁾。すなわち、これら複製関連遺伝子群の発現抑制が前述の葯内での細胞分裂の早期停止につながり、葯の初期発生段階で特異的に生じていることが強く示唆された。

葯の高温障害と組織特異的なオーキシンの低下

さらに、DNAマイクロアレイ解析の結果から、複数のオーキシン抑制タンパク質遺伝子の発現が、高温条件下の幼穂で特異的に上昇して

いる現象がみられた。これら遺伝子の機能については未知であるが、オーキシンが存在することで普段その発現が抑制される遺伝子群として知られている。従って、この結果は高温により幼穂で特異的にオーキシンまたはその活性シグナルが低下している可能性を強く示唆した。そこで、抗オーキシン抗体を用いた組織免疫学的な解析を行った結果、初期発生過程の葯組織において、高温条件下でオーキシン量が低下することが確認された(図-5)⁷⁾。一方で、穂軸の維管束周辺などにおいては逆に高温条件下においてオーキシンが増加している様子も示された。この高温による葯特異的なオーキシンの低下は、大きく種を越えたシロイヌナズナにおいても観察することができた。23℃で育成させ花序が抽台してきたシロイヌナズナを31℃や33℃の高温条件に移して、その数日後から順次開花してきた花においては、雄蕊が顕著に短く小さくなり葯もつぶれて、オオムギと類似の高温障害が生じることが確認された⁷⁾。オーキシン誘導性

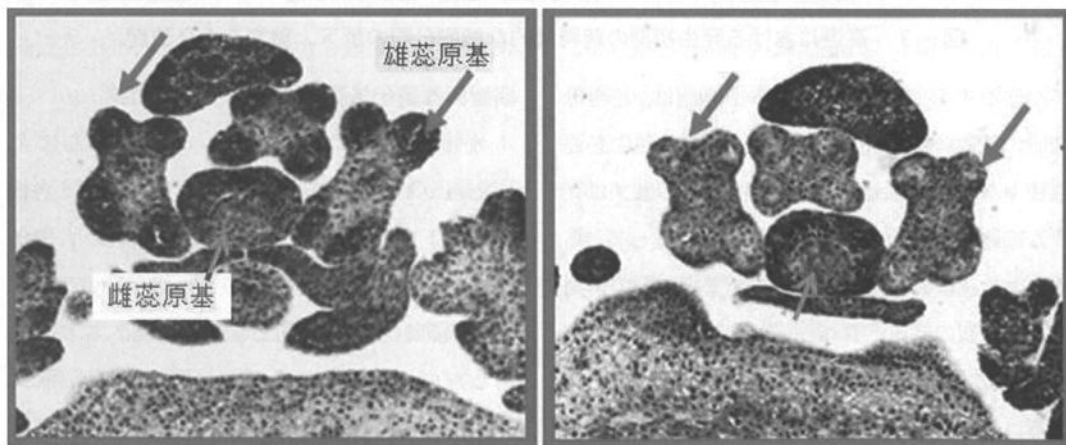


図-4 細胞複製の関連遺伝子をプローブに用いたin situ hybridizationの結果。高温により、雄蕊原基のなかでも雄性始原細胞のシグナルが著しく低下する。

幼穂長: 5 mm (高温処理3日目)

10 mm (高温処理5日目)

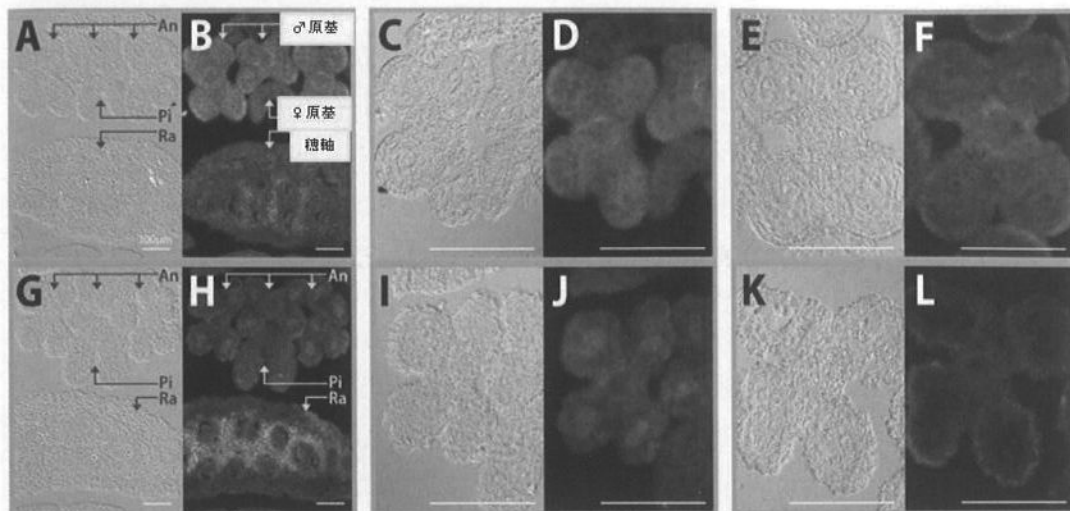


図-5 抗オーキシン抗体を用いたオオムギ幼穂におけるオーキシンの局在。上段が常温対照区、下段が高温処理区。蛍光の強い部分がオーキシンの多いところを示す。論文7より改変。

レポーター遺伝子 (DR5::GUS) を導入したシロイヌナズナでは、その GUS シグナルは減数分裂前後の初期発生過程にある葯において最も強いシグナルを発現することが報告されている⁸⁾。その葯における GUS シグナルは 31℃や 33℃の高温条件下で顕著に低下することが明らかになった(図-6)⁷⁾。一方、雌蕊の維管束や芽生えの茎頂ならびに根端における GUS シグナルは逆に高温条件下で強くなっていた(図6)⁷⁾。すなわち、オー

キシンのシグナル活性は植物の組織特異性が高く、それらは組織特異的なオーキシン生成機構に依存している可能性が強く示唆された。

葯におけるオーキシンの生成

オーキシンは茎長分裂組織において生合成され極性輸送によって植物体の隅々に運ばれることが広く知られている。近年、それ以外にも、様々な組織・細胞において特異的にオーキシン

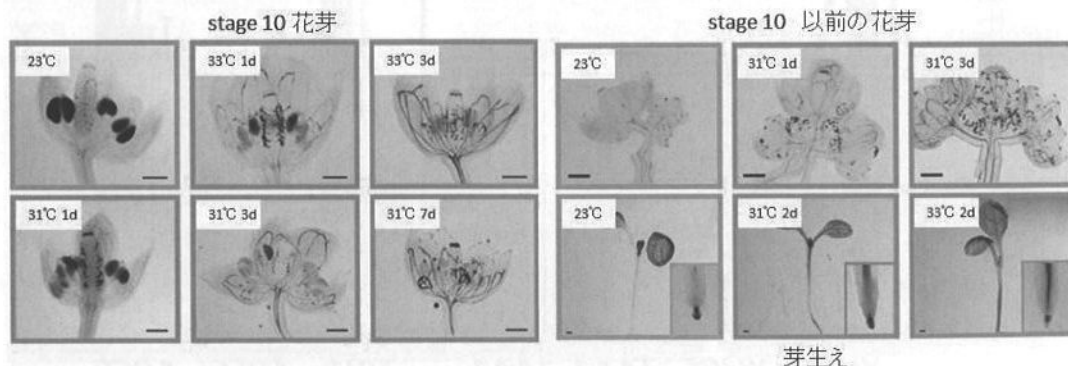


図-6 シロイヌナズナ DR5-GUS 活性と高温処理による影響 stage 10 の花芽 (左) と stage 10 以前の花芽 (右上段)、芽生え (右下段)。論文7より改変。

が生合成されていることが報告されてきた⁹⁾。薬の初期発生の過程においてYUCCA遺伝子を介したオーキシシン生合成が行われており、先述のDR5::GUSの発生過程における薬での強い発現はこの生合成に依存していることが示された⁸⁾。今回みられた高温による薬特異的なオーキシシンならびにそのシグナル活性の低下について、YUCCA遺伝子の発現との関連性を調べたところ、シロイヌナズナの薬で発現がみられるYUCCA遺伝子YUC-2, YUC-6の発現が高温処理24時間後において顕著に抑制されており(図-7)、同様の結果がオオムギにおいても観察された⁷⁾。以上の結果から、初期発生過程の薬においては、自身がYUCCA遺伝子によりオーキシシンを生合成しているが、高温によりこの転写活性が低下し、オーキシシン欠乏の状況に陥り雄性始原細胞の細胞分裂が停止し、最終的には花粉が形成されなくなったものと考察された。

オーキシシンの散布による高温障害の回避

また、オオムギBarleyChip1を用いて行われたDNAマイクロアレイ解析の公開されているデータ約600実験分を集めて、チップ上にスポットされている2万の遺伝子間の共発現の相関解析を行ったところ、DNA複製に関わる遺伝子群はミトコンドリアに関わる遺伝子群ならびにオーキシシン誘導性・応答遺伝子群と、発現に正の相関がみられること、一方、これらのグループと光合成・葉緑体関連遺伝子群ならびにオーキシシン抑制タンパク質遺伝子群とは、発現に負の相関がみられることが明らかになった(図-8)⁶⁾。そして、前者のグループはオオムギの薬における高温障害時に発現が抑制され、後者のグループは発現が増加していた。そこで、高温下においてオーキシシンを散布することで、薬におけるオーキシシン欠乏を補うとともに、DNA複製に関わる遺伝子群やミトコンドリアに関わる

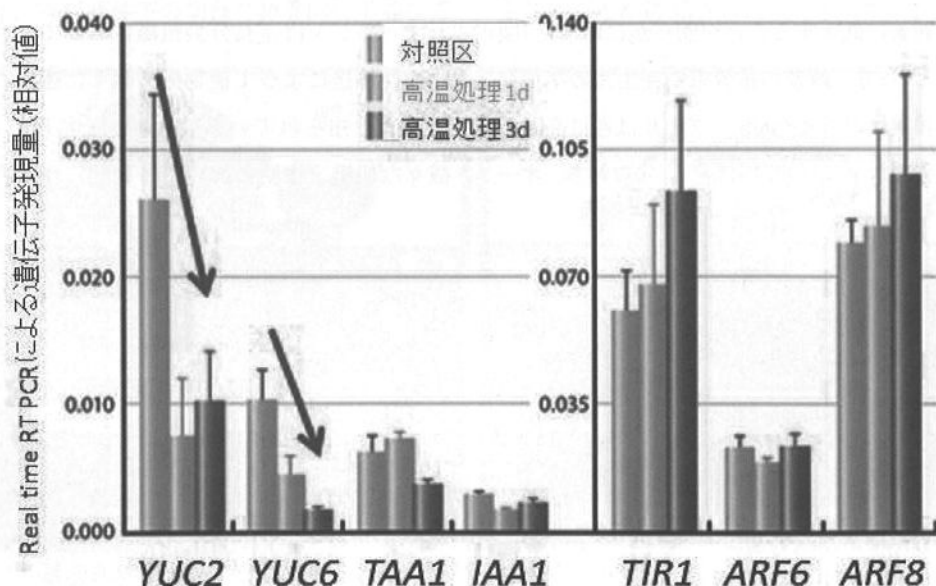


図-7 シロイヌナズナstage 9の花芽薬内における各遺伝子発現の高温による変動。論文7より改変。

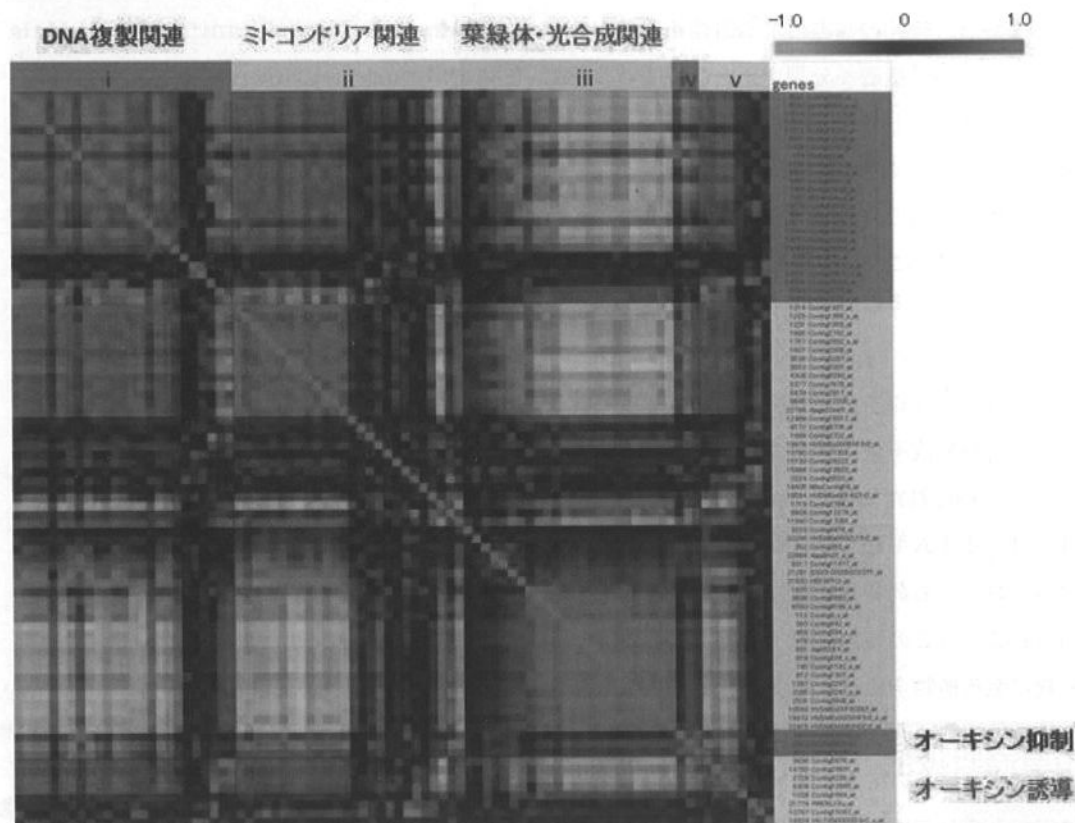


図-8 オオムギ DNA マイクロアレイデータを用いた各遺伝子の共発現相関。論文6より改変。

遺伝子群も共に誘導され、雄性始原細胞の細胞分裂の停止が回復する可能性が強く示唆された。実際、オーキシン (IAA, NAA, 2,4-D) の散布によりオオムギの雄性始原細胞の分裂は回復

し、成熟花粉が形成され、高温下でも種子が結実するまでに至った (図-9)⁷⁾。シロイヌナズナの高温障害も同じくオーキシンを散布することにより抑えられることが確認された⁷⁾。以上

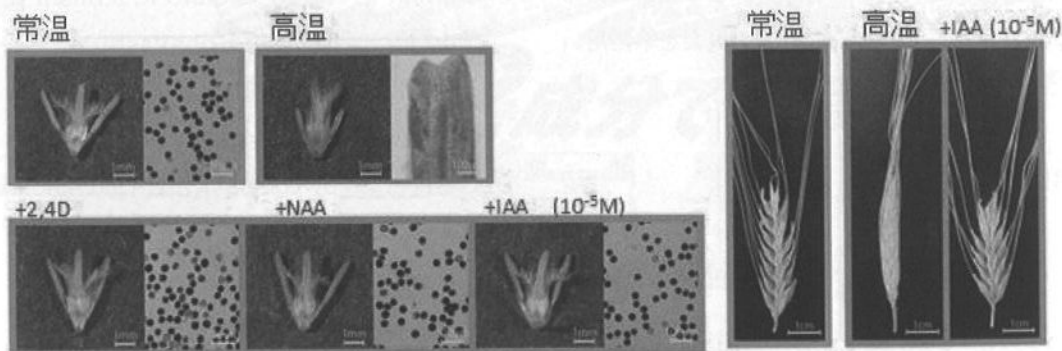


図-9 オオムギの高温処理5日間にオーキシンを散布することで花粉形成が回復し、種子稔性も回復する。論文7より改変。

の結果から、植物の高温による雄性不稔においては、その始原細胞が分裂増殖を行っている時期にピンポイントでオーキシンを与えることで高温障害を回避できるという、地球規模での温暖化に伴う作物の高温障害に対する新たなオーキシンの利用法につながるものと期待している。

まとめ

オオムギやシロイヌナズナを用いた高温障害による花粉形成不全のメカニズムについて、これまでに得られた知見を中心に紹介してきた。高温は、オオムギならびにシロイヌナズナのいずれにおいても薬特異的なオーキシンの低下を引き起こし、この現象は単子葉植物から双子葉植物に至る植物全般に広く保存されたものである可能性が強く示唆された。従って、ササゲなど他の作物においても花粉数の低下による高温障害がみられているが、それらも同じ原因に起因するのかもしれない。今後は、高温により薬特異的に YUCCA 遺伝子をはじめ細胞の分裂増殖に不可欠な遺伝子群の発現が低下する機構についての解明が待たれる。最後に、ここで紹介させていただいた主な研究は当研究室の多くの大学院学生と共同研究者の方々との成果であること、また、このような執筆の機会をいただいたことと深く感謝します。

引用文献

- 1) Lobell DB, Field CB (2007) Global scale climate-crop yield relationships and the impacts of recent warming. *Environ Res Lett* 2:014002.
- 2) Sakata T, Higashitani A (2008) Male sterility accompanied with abnormal anther development in plants-genes and environmental stresses with special reference to high temperature injury. *Intl J Plant Dev Biol* 2:42-51.
- 3) Sakata T, Takahashi H, Nishiyama I, Higashitani A (2000) Effects of high temperature on the development of pollen mother cells and microspores in barley *Hordeum vulgare* L. *J Plant Res* 113: 395-402.
- 4) Abiko M, Akibayashi K, Sakata T, Kimura M, Kihara M, Itoh K, Asamizu E, Sato S, Takahashi H, Higashitani A (2005) High-temperature induction of male sterility during barley (*Hordeum vulgare* L.) anther development is mediated by transcriptional inhibition. *Sex Plant Reprod* 18:91-100.
- 5) Oshino T, Abiko M, Saito R, Ichiishi E, Endo M, Kawagishi-Kobayashi M, Higashitani A (2007) Premature progression of anther early developmental programs accompanied by comprehensive alterations in transcription during high-temperature injury in barley plants. *Mol Genet Genomics* 278:31-42.

6) Oshino T, Miura S, Kikuchi S, Hamada K, Yano K, Watanabe M, Higashitani A (2011) Auxin depletion in barley plants under high-temperature conditions represses DNA proliferation in organelles and nuclei via transcriptional alterations. Plant Cell Environ 34:284-290.

7) Sakata T, Oshino T, Miura S, Tomabechi M, Tsunaga Y, Higashitani N, Miyazawa Y, Takahashi H, Watanabe M, Higashitani A (2010) Auxins reverse plant male sterility caused by high temperatures. Proc Natl Acad Sci USA 107:8569-8574.

8) Cecchetti V, Altamura MM, Falasca G, Costantino P, Cardarelli M (2008) Auxin regulates Arabidopsis anther dehiscence, pollen maturation, and filament elongation. Plant Cell 20:1760-1774.

9) Cheng Y, Dai X, Zhao Y (2006) Auxin biosynthesis by the YUCCA flavin monooxygenases controls the formation of floral organs and vascular tissues in Arabidopsis. Genes Dev 20:1790-1799.

水稻用一発処理除草剤

新登場!!

ホクコー

エーワン

1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ

強力な2つの成分

新規成分
雑草を白く枯らす
テフリトリオン
(AVH-301)

ノビエを長く抑える
オキサジクロメホン

雑草を白く枯らす!

ノビエを長く抑える!

SU抵抗性雑草・
特殊雑草に高い効果!

2成分で雑草撃退!



取扱

全農

製造



北興化学工業株式会社

エーワンは北興化学工業(株)の登録商標

植調試験地だより

愛媛試験地

公益財団法人 日本植物調節剤研究協会 愛媛試験地 主任 土居隆洋

はじめに

愛媛試験地をご紹介します。当試験地は、平成23年度に近畿中国四国地域夏作関係除草剤試験中間現地検討会が開催されたことで、多くの関係者の方がお見えになり現状を見られた方もおられますが、あらためて御紹介します。

愛媛試験地は、道後温泉で有名な四国松山から南へ約100 km下り、宇和島市街地からさらに内陸部を高知県に向かい、約10 km入った三間町に圃場を設置しています。

この3月には高速自動車道も整備され宇和島市まで延長し、三間町にはインターチェンジも出来て便利になりました。近くにはく道の駅みまも開設され、多くの人達でにぎわっています。

宇和島市三間町は中山間地域の稲作地帯で、昭和43年度頃から基盤整備が進み当試験地も昭和51年頃に圃場が整備されました。この地域の標高は140～200 mの間にあって、平均気温は15.2℃、降水量は1995.1 mm（宇和島測候所）で、四国の南の方にありながら冬には雪も降り積もることもあり、四季を感じることが出来ます。生産されます米は三間米として県内でも名が通っています。

古くは美沼の里と呼ばれており、溜池が多く町内で108個の溜池が造られ、農業用水として利用されています。



写真－1

かつて、三間の城主であった土居清良は篤農家に農業問題を尋ね整理されたものが親民観月集で、わが国最古の農書として有名で、今でも水田を中心とした田園風景が見られます。

ここで、現在実施しています試験地の概要を紹介します。

1. 試験地の経緯

現在の愛媛試験地は平成17年度から三間町で開設していますが、当初は愛媛県農業試験場を退職されました宮内直利氏が、昭和57年度から平成17年度まで松山市で開設され、試験を実施されてこられました。栗原肇氏も平成19年度ま

での約10年間試験地を開設され、試験を実施されておられました。

試験地の設置や調査方法については、以前に病虫害関係の試験をしていたこともあり、ある程度は理解をしていたつもりですが、除草剤試験に関しては初めてのことで、試験地開設の初年度は宮内先輩や研究所の土田部長、福岡試験地から西田さんが応援に駆けつけていただき、試験を始めることになりました。

特に宮内先輩には土壌表面を均一にすることが重要だとの事で自ら‘えぶり’で表面を馴らし手本を見せていただきました。その後の試験に当っては特に気を付けているところです。

2. 試験内容

1) 供試圃場

供試圃場の土壌は、沖積の埴壌土で減水深は比較的小さく、1日に0.5 cm程度、腐植含量は2.05 %ですが薬剤の吸着性が弱く、薬剤によっては薬害の出やすい土壌です。粘土分が多いことで、薬剤処理や調査に入る度に田植足袋が抜けたり、足のくるぶしが痛くなることがありましたが、足場板を設置していただいたおかげで薬剤試験が楽にできております。

用水は、試験地から300 m程上位にある溜池の水を利用しています。試験地が水田としては最初であることから入水は比較的楽で、また、他の化学物質等の影響は受けない代わりに、水温が低く、生育に影響が出やすいため用水を迂回して入水するなど、水温を上げることに気を付けています。

山間の水田であることから日照条件が悪く、圃場全体が同一の条件でないことや、正方形の水田でないため圃場全体を使うことが出来ないことが難点となっています。

風の影響については、山に囲まれていることから強く受けたことはありません。

山間地域であることから、イノシシ、シカが繁殖しており、これらの侵入によって農作物に被害が見られております。試験地開設に当ってイノシシ、シカ専用の電機柵を張り巡らしています。おかげで一般圃場は被害を受けることがあっても、試験地では被害を受けたことがなく大変助かっています。

2) 適一2試験

1区面積は普通区で5 m²(2 m×2.5 m)、ジャンボ区は当初14.7 m²から15 m²(2 m×7.5 m)に切り替え2反復で実施しています。区を造ることについては波板(幅25 cm、長さ20 m)を縦、横ともに利用しています。

代掻きの翌日に縦に波板を入れますが、同時に入排水用のU字パイプも入れておきます。U字パイプは加工がしやすい塩ビパイプやエルボを利用しています。(写真-2・写真-3)

移植当日に水稻を移植した後、2.5 mに切った波板を横に入れていきます。継ぎ目には水の移動がないように20 cmに切ったプラダンを差込み土盛りをします。波板の継ぎ目には切り目を入れた塩ビパイプで固定します。これらのもの

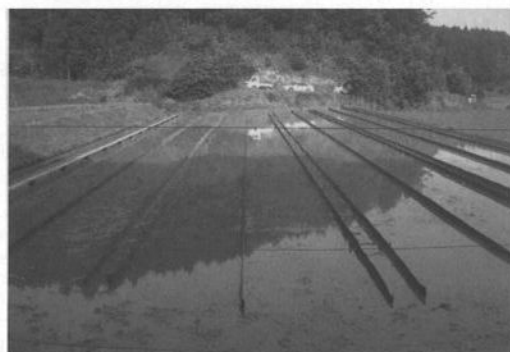


写真-2 試験圃場



写真-3 移植後の圃場

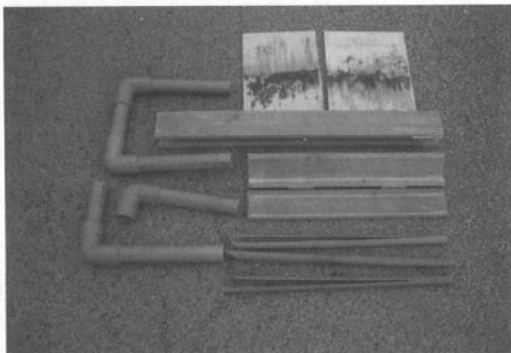


写真-4 試験区造り資材

については前任者や各試験地で実施されているものを見聞きして加工しながら利用しています。(写真-4)

試験区づくりにあたって多くの人の手を必要としますが、自治会内の人達を主体に協力を願っていますが、年々高齢化が進み厳しさも味わっているところです。

試験終了後の資材等の洗浄は手洗いをを基本としていますが、最近では波板については近くの川水を利用し、高圧洗浄機を使い洗浄しています。洗浄の際には波板に傷がないことを確認しながら洗浄しているところです。

3) 雑草の発生と養成

試験の対象雑草は、ノビエ、カヤツリグサ、コナギ、一年生広葉、ホタルイ、ミズガヤツリ、ウ

リカワ、ヒルムシロ、セリを利用しています。試験実施に当たり各区とも均一な発生が必要と考え、植え込みや播き込みを行っています。当初はセリを除き主要な雑草のほとんどを研究所から配布をお願い実施しましたが、現在は自前で確保できればと考え育成もしているところです。しかし、雑草が繁茂して必要とする塊茎類が抑制され、近隣の試験地をお願いするなど苦勞をしているところです。ノビエ類は自然発生のものが見られましたが、ケイヌビエが主体であることから翌年に発生することをなくすため、結実前に抜き取るなどの努力もして、現在はヒメタイヌビエ主体の圃場となっています。

4) その他の薬剤試験

一部の水田ではクログワイやオモダカが多発生する圃場も見られ、これらの対策として刈り取り後の薬剤試験も実施しました。特にオモダカが多発圃場で、早期米の収穫終了後(9月始のオモダカ塊茎が出来る頃)に耕起することにより翌年の発生を極端に少なくすることを確認し、耕種的防除法として利用できると考え進めているところです。

また、当地方では水田の畦畔の法面が高く草刈りに大変な労力を要していますが、除草剤使



写真-5

用で草刈の代用が出来ればと、畦畔雑草試験にも取り組んできました。それなりの結果が得られておりますが、さらに長期間抑制することが出来れば利用する農家の方も多いと期待するところです。

愛媛試験地として、三間町で取り組み始めて

8年目が終わろうとしています。試験地の運営は、ほとんどを人海戦術でしなければならない事が多く、地元の人達の理解や協力がなければ実施はきわめて困難ですが、幸い多くの方に理解していただき取り組んでいるところです。

豊かな稔りに貢献する 石原の水稲用除草剤

SU抵抗性雑草に優れた効果を発揮

非SU系水稲用初期除草剤

プレキープ®フロアブル

・湛水直播の「は種時」と「は種前後」にも使用可能！

長期間安定した効果を発揮

石原
ドクジガード®

フロアブル/1キロ粒剤

- ・SU抵抗性雑草や、クログワイ等の難防除
カヤツリグサ科雑草にも優れた効果！
- ・田植同時処理が可能な一発剤！

高葉齢のノビエに優れた効き目



フルセツスルフロノ剤
ラインナップ



スケッチャー 1キロ粒剤

フルチャーヂ
1キロ粒剤・ジャンボ

フルフォース
1キロ粒剤

フルイニング
1キロ粒剤

ナイスエドル
1キロ粒剤

そのまま散布ができる

乾田直播専用

アンカマン
DF

ハードパンチ
DF

ISK 石原産業株式会社
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目3番15号

販売 ISK 石原バイオサイエンス株式会社
〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号

ホームページアドレス
<http://ibj.iskweb.co.jp>

平成24年度 水稻作関係除草剤試験判定結果

公益財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成24年度水稻作関係除草剤試験成績中央検討会は、平成24年12月13日、14日の2日間、第一ホテル両国において、適1試験成績検討会は、これに先立ち平成24年10月18日に浅草ビューホテルにて開催された。ここに、これら検討会における判定結果を報告する。

1) 第一次適用性試験(適1)は、北海道地域(植調北海道試験地)、東北地域(植調古川試験地)、北陸地域(植調新潟試験地)、関東地域(植調研究所)、近畿・中国・四国地域(植調岡山倉敷試験地)、九

州地域(植調福岡試験地)の全国6地域および砂壤土(植調霞ヶ浦試験地)で27薬剤(のべ138点)について実施した。その判定結果は、第2表のとおりである。

2) 第二次適用性試験(適2)は、のべ488剤(総点数2,242点)であり、その内訳を第1表にまとめた。これら適2の判定結果は第3表のとおりであり、「実・継」と判定された薬剤の使用基準を後に掲載した。

第1表 平成24年度適2試験実施点数

A-1 移植栽培(一発処理)	133 剤	1,143 点	A-4 特殊雑草対象 内訳		
A-2 移植栽培(体系処理:初期)	9 剤	62 点	エゾノサヤヌカグサ	15 剤	15 点
A-3 移植栽培(体系処理:中後期)	20 剤	212 点	オモダカ	70 剤	245 点
A-4 移植栽培(特殊雑草対象)	のべ 257 剤	619 点	クサネム	1 剤	2 点
B 直播栽培(B-1~B-4)	66 剤	198 点	クログワイ	68 剤	212 点
C 畦畔	2 剤	8 点	コウキヤガラ	42 剤	81 点
E 休耕田	1 剤	5 点	シズイ	40 剤	40 点
			ミズアオイ	11 剤	11 点
			SU 抵抗性ホタルイ	4 剤	7 点
			雑草イネ	6 剤	6 点

第2表 平成24年度 水稲関係除草剤適1試験 判定結果一覧

注)総合評価欄、中央判定欄の記号については、◎:極めて有望、○:有望、□:可能性有り、△:再検討、×:見込みなしを表す。

NO	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率	実施場所別総合評価							中央判定(案) [今後の検討課題]
			北海道	古川	新潟	植調研	岡山倉敷	福岡	霞ヶ浦(砂)	
1	BCH-121-1kg 粒 [ハイエール]	トリアファモン:0.5% デフルトリオン:3.0%	□	○	○	○	○	□	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
2	BCH-122 フロアブル [ハイエール]	トリアファモン:1.0% デフルトリオン:6.0% (w/v)	○	○	○	○	○	□	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
3	DKH-2401-1kg 粒 [デュボン]	既知化合物A:2% 既知化合物B:0.75% 既知化合物C:0.9%	□	○						□ 一発処理 [効果の確認]
4	HOK-1201-1kg 粒 [北興]	既知化合物A:3.0% 既知化合物B:0.5%	△	○	□	□	□	□	○	□ 体系処理(中後期) [効果、被害の確認]
5	HOK-1202 シャンボ [*北興,デュボン]	既知化合物A:8.33% 既知化合物B:2.5% 既知化合物C:3.0%	□	○						□ 一発処理 [効果、被害の確認]
6	HOK-1202 フロアブル [*北興,デュボン]	既知化合物A:5.0% 既知化合物B:1.5% 既知化合物C:1.8%	□	○						□ 一発処理 [効果、被害の確認]
7	HOK-1203 シャンボ [*北興,デュボン]	既知化合物D:8.33% 既知化合物E:1.7% 既知化合物F:3.0%			□	△	○	○	□	□ 一発処理 [効果、被害の確認]
8	HOK-1203 フロアブル [*北興,デュボン]	既知化合物D:5.0% 既知化合物E:1.02% 既知化合物F:1.8%			□	△	○	□	△	□ 一発処理 [効果、被害の確認]
9	KPP-129 乳 [科研]	メタホップ:5.0% (w/v)	○	○	○	○	○	○	○	○ 体系処理(中後期、ノビエ専用剤) [年次変動の確認]
10	KPP-505 シャンボ [科研]	メタゾスフロン:2.5% ダイムロン:25% ベンチキサゾン:7.5%	○	○	◎	◎	◎	□	◎	○ 一発処理 [年次変動の確認]
11	KUH-121-1kg 粒 [ク化]	KUH-110:3.0% 既知化合物A:0.9%	○	○	○	△	□	□	□	□ 一発処理 [効果の確認]
12	KUH-122-1kg 粒 [ク化]	ピリミスルファン:0.5% フェノキサスルホン:2.0% ベンゾピシクロン:3.0%	□	◎	○	△	◎	□	□	□ 一発処理 [効果、被害の確認]
13	KUH-123-0.25kg 粒 [ク化]	既知化合物E:6.0% 既知化合物F:2.0% 既知化合物G:6.0%	○	○					□	○(砂壌土は□) 一発処理 [年次変動の確認、砂壌土における効果の確認]

注) 総合評価欄、中央判定欄の記号については、◎:極めて有望、○:有望、□:可能性有り、△:再検討、×:見込みなしを表す。

NO	薬剤名・剤型 [委託者]	有効成分及び含有率	実施場所別総合評価							中央判定(案) [今後の検討課題]
			北海道	古川	新潟	植調研	岡山倉敷	福岡	霞ヶ浦(砂)	
14	KUH-123-1kg 粒 [クミ化]	既知化合物E:1.5% 既知化合物F:0.5% 既知化合物G:1.5%	○	○					△	○(砂壌土は□) 一発処理 [年次変動の確認、砂壌土における効果の確認]
15	KYH-0901 フロアブル [協友アグリ]	ピラクロニル:3.7% オキサシクロメホン:0.56% イマゾスルフロ:1.7% プロモブチド:16.3%	◎	○						○ 一発処理 [年次変動の確認]
16	KYH-0901-1kg 粒 [協友アグリ]	ピラクロニル:2.0% オキサシクロメホン:0.4% イマゾスルフロ:0.9% プロモブチド:9.0%	◎	○	○	□	◎	□	□	□ 一発処理 [効果の確認]
17	KYH-1001 フロアブル [協友アグリ]	ピラクロニル:3.8% オキサシクロメホン:0.57% イマゾスルフロ:1.7%				□				□ 一発処理 [効果、葉害の確認]
18	KYH-1001-1kg 粒 [協友アグリ]	ピラクロニル:2.0% オキサシクロメホン:0.4% イマゾスルフロ:0.9%				□				□ 一発処理 [効果、葉害の確認]
19	MIH-121-1kg 粒 [三井化学]	ピラゾレート:30.0%	○	○	○	□	□	□	□	□ 体系処理(初期) [効果、葉害の確認]
20	MIH-122 フロアブル [三井化学]	SW-065:6% ピラゾレート:12% フェントラサミド:5% (w/v)	△	○	□	○	◎	○	◎	□ 一発処理 [効果、葉害の確認]
21	MIH-123 シャンボ [三井化学]	SW-065:6.7% ピラゾレート:13.3% フェントラサミド:6.7%	□	○	□	○	◎	◎	○	○ 一発処理 [年次変動の確認]
22	NC-635-1kg 粒 [日産]	既知化合物S:0.3% 既知化合物T:21.0% 既知化合物U:4.0%		○	○	△	□	○	□	□ 一発処理 [効果、葉害の確認]
23	NH-1001(L) フロアブル [日農]	フェノキサスホン:4.0% ベンゾビシクロ:4.0% ベンズルフロメチル:1.0%			□	○	◎	□	□	□ 一発処理 [効果、葉害の確認]
24	NH-1001(L)-1kg 粒 [日農]	フェノキサスホン:2.0% ベンゾビシクロ:2.0% ベンズルフロメチル:0.51%			□	□	◎	□	□	□ 一発処理 [効果、葉害の確認]
25	S-9663 フロアブル [住友化学]	イプフェンカルバゾ:5.0% イマゾスルフロ:1.8% プロモブチド:18.0% (w/v)	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎ 一発処理 [年次変動の確認]
26	SB-597-1kg 粒 [SDS]	既知化合物A:2.0% 既知化合物B:2.0% 既知化合物C:5.0%	□	○	□	□	○	□	○	□ 一発処理 [効果、葉害の確認]
27	SB-598W-1kg 粒 [SDS]	既知化合物A:2.1% 既知化合物B:0.51% 既知化合物C:2.0% 既知化合物D:1.2%			△	△	△	△	△	△ 一発処理 [効果、葉害の再検討]

第3表 平成24年度 水稻関係除草剤適2試験判定結果一覧

区 分	実・継		継	
A-1一発処理	AC-014A 粒	* BAH-1104-1kg 粒	BAH-1118 シャンボ'	BCH-121-1kg 粒
	BCH-031-1kg 粒	BCH-032-1kg 粒	BCH-122 フロアブル	BCH-123 シャンボ'
	BCH-033-1kg 粒	BCH-051 シャンボ'	DKH-2401-1kg 粒	HOK-1102-1kg 粒
	BCH-085L-1kg 粒	BCH-101-1kg 粒	HOK-1103-1kg 粒	HOK-1202 シャンボ'
	BCH-105H-1kg 粒	BCH-105L-1kg 粒	HOK-1202 フロアブル	HOK-1203 シャンボ'
	HOK-0801(L) シャンボ'	HOK-1002 シャンボ'	HOK-1203 フロアブル	KPP-505 シャンボ'
	HOK-1002 フロアブル	HOK-1002-1kg 粒	KUH-122-1kg 粒	KUH-123-0.25kg 粒
	HOK-1002(L) シャンボ'	HOK-1002(L) フロアブル	KUH-123-1kg 粒	KYH-0901 シャンボ'
	HOK-1002(L)-1kg 粒	* HOK-1101 シャンボ'	KYH-0901-1kg 粒	MIH-122 フロアブル
	* HOK-1101 フロアブル	* HOK-1101-1kg 粒	MIH-123 シャンボ'	NC-635-1kg 粒
	KPP-501-1kg 粒	KPP-501(L)-1kg 粒	NH-1001(L) フロアブル	NH-1001(L)-1kg 粒
	KPP-505-1kg 粒	KUH-041 シャンボ'	S-9663 フロアブル	SB-597-1kg 粒
	KUH-041-0.25kg 粒	KUH-041-1kg 粒		
	KUH-072D シャンボ'	KUH-072D フロアブル		
	KUH-072D-0.25kg 粒	KUH-072K シャンボ'		
	KUH-072K フロアブル	* KUH-091 シャンボ'		
	* KUH-091-0.25kg 粒	KUH-091-1kg 粒		
	KUH-101 シャンボ'	KUH-101-0.25kg 粒		
	KUH-101-1kg 粒	* KUH-103 シャンボ'		
	* KUH-103-0.25kg 粒	KUH-103-1kg 粒		
	* KUH-111-1kg 粒	* KYH-0901 フロアブル		
	* KYH-1001 シャンボ'	KYH-1001 フロアブル		
	KYH-1001-1kg 粒	MIH-101-1kg 粒		
	* MIH-101(H)-1kg 粒	MIH-102 フロアブル		
	MIH-102(H) フロアブル	MIH-103 シャンボ'		
	* MIH-111-1kg 粒	* MIH-112(H) フロアブル		
	* MIH-112(L) フロアブル	* MIH-113(H) シャンボ'		
	* MIH-113(L) シャンボ'	NC-621 フロアブル		
	NC-626 シャンボ'	* NC-626 フロアブル		
	NC-626 顆粒水和	NC-626-1kg 粒		
	NC-627-1kg 粒	NC-629 シャンボ'		
	NC-629 フロアブル	NC-629-1kg 粒		
	NC-631 シャンボ'	NC-631 顆粒水和		
	NC-631-1kg 粒	NC-632 シャンボ'		
	* NC-632 フロアブル	NC-632-1kg 粒		
	* NC-634-1kg 粒	NH-061 シャンボ'		
	NH-061-0.25kg 粒	NH-061-1kg 粒		
	NH-1001(H) シャンボ'	NH-1001(H) フロアブル		
	NH-1001(H)-1kg 粒	NH-596 シャンボ'		
	NH-596 フロアブル	NH-596-1kg 粒		
	S-9058 シャンボ'	S-9058-1kg 粒		

区 分	実・継		継	
A-1一発処理 つづき	S-9102 粒 S-9421 シャンボ' * S-9465-1kg 粒 SB-531 フロアブル SL-0601-1kg 粒 SL-0701-1kg 粒 SL-1001-1kg 粒 SW-062 フロアブル SYJ-156H シャンボ' SYJ-222-1kg 粒 SYJ-223-1kg 粒 TH-547(Z) シャンボ' TH-601 シャンボ' BCH-052 フロアブル	* S-9146-1kg 粒 S-9421-1kg 粒 * S-9663-1kg 粒 SL-0601 シャンボ' SL-0701 シャンボ' SL-0701(RC)-0.5kg 粒 SST-404 シャンボ' SW-064-1kg 粒 SYJ-157H シャンボ' SYJ-223 シャンボ' TH-501 シャンボ' TH-547(Z) フロアブル TH-601 フロアブル		
A-2体系処理(初期)	* BAH-1103-1kg 粒 HOK-0901-1kg 粒 KH-183 粒(少量散布) SB-531 フロアブル(少量散布)	HOK-0901 フロアブル KH-183 粒 * MAT-159 シャンボ'(少量散布) YH-650 フロアブル	KPP-2005 シャンボ'(少量散布)	
A-3体系処理(中後期)	DASH-001 SC HOK-0802-1kg 粒 KUH-983-0.25kg 粒 * NC-621-1kg 粒 * NC-632-1kg 粒 * SL-0701 シャンボ' * SW-064-1kg 粒	HOK-0721 粒 KUH-104-1kg 粒 MIH-104-1kg 粒 * NC-632 シャンボ' * NH-1101-1kg 粒 SW-063-1kg 粒 * TH-547(Z)-1kg 粒	BCH-031-1kg 粒 KPP-129 乳 KUH-110-1kg 粒	HOK-1201-1kg 粒 KPP-129-1kg 粒 S-9421-1kg 粒
A-4エゾノサヤスカグサ	* MIH-102(H) フロアブル * NH-1001(H)-1kg 粒 * S-9058 フロアブル * S-9421 シャンボ' * S-9421-1kg 粒 * TH-601-1kg 粒	* NH-1001(H) フロアブル * S-9058 シャンボ' * S-9058-1kg 粒 * S-9421 フロアブル * TH-601 フロアブル	KUH-101-1kg 粒 NH-596 フロアブル	MIH-101(H)-1kg 粒 SL-1001-1kg 粒
A-4オモタカ	* BCH-105H-1kg 粒 DASH-001 SC HOK-0801(L) フロアブル * HOK-0801S-1kg 粒 * HOK-1002(L)-1kg 粒 KUH-074-1kg 粒 * KUH-101-1kg 粒 * MIH-101-1kg 粒 * MIH-102(H) フロアブル * MIH-104-1kg 粒 NC-626-1kg 粒 NC-627-1kg 粒	* BCH-105L-1kg 粒 HOK-0301 フロアブル HOK-0801(L)-1kg 粒 * HOK-1002-1kg 粒 * KPP-505-1kg 粒 * KUH-091-1kg 粒 * KUH-103-1kg 粒 * MIH-102 フロアブル * MIH-103 シャンボ' * NC-626 シャンボ' * NC-627 顆粒水和 * NC-629 シャンボ'	BAH-1103-1kg 粒 BAH-1118 シャンボ' HOK-1002 シャンボ' HOK-1002(L) シャンボ' HOK-1101 フロアブル KUH-101 シャンボ' KUH-103-0.25kg 粒 KYH-1001-1kg 粒 SL-1001-1kg 粒 SYJ-223-1kg 粒	BAH-1104-1kg 粒 BCH-101-1kg 粒 HOK-1002 フロアブル HOK-1002(L) フロアブル HOK-1101-1kg 粒 KUH-101-0.25kg 粒 KYH-1001 フロアブル MIH-101(H)-1kg 粒 SYJ-219-1kg 粒

区 分	実・継		継	
A-4オモタカ つづき	* NC-629 フロアブル	* NC-629-1kg 粒		
	* NC-631 シャンボ	* NC-631 顆粒水和		
	* NC-631-1kg 粒	* NC-632 シャンボ		
	* NC-632-1kg 粒	* NH-061 シャンボ		
	* NH-061-0.25kg 粒	* NH-1001(H) フロアブル		
	* NH-1001(H)-1kg 粒	* NH-1101-1kg 粒		
	NH-596 フロアブル	* NH-596-1kg 粒		
	* S-9058 シャンボ	* S-9058 フロアブル		
	* S-9058-1kg 粒	* S-9102 粒		
	* S-9421 シャンボ	* S-9421 フロアブル		
	* S-9421-1kg 粒	* SL-0701 シャンボ		
	* SW-064-1kg 粒	* SW-091-1kg 粒		
	* SYJ-222-1kg 粒	TH-547(Z)-1kg 粒		
	TH-601 シャンボ			
A-4クサネム	* NC-627-1kg 粒			
A-4クログワイ	BCH-085L-1kg 粒	* BCH-105H-1kg 粒	BAH-1103-1kg 粒	BAH-1104-1kg 粒
	* BCH-105L-1kg 粒	HOK-0721 粒	BAH-1118 シャンボ	BCH-101-1kg 粒
	HOK-0801(L) フロアブル	HOK-0801(L)-1kg 粒	BCH-121-1kg 粒	HOK-1002 シャンボ
	* HOK-0801S-1kg 粒	* HOK-1002-1kg 粒	HOK-1002 フロアブル	HOK-1002(L) シャンボ
	* HOK-1002(L)-1kg 粒	* KPP-505-1kg 粒	HOK-1002(L) フロアブル	HOK-1101 フロアブル
	KUH-072D-1kg 粒	* KUH-091-1kg 粒	HOK-1101-1kg 粒	KUH-101 シャンボ
	* KUH-101-1kg 粒	* KUH-103-1kg 粒	KUH-101-0.25kg 粒	KUH-103 シャンボ
	* MIH-101-1kg 粒	* MIH-102 フロアブル	KUH-103-0.25kg 粒	KYH-1001 フロアブル
	* MIH-103 シャンボ	* MIH-104-1kg 粒	KYH-1001-1kg 粒	SL-1001-1kg 粒
	NC-621-1kg 粒	* NC-626 シャンボ	SYJ-223-1kg 粒	
	NC-626-1kg 粒	* NC-629 シャンボ		
	* NC-629 フロアブル	* NC-629-1kg 粒		
	* NC-631 シャンボ	* NC-631 顆粒水和		
	* NC-631-1kg 粒	* NC-632 シャンボ		
	* NC-632-1kg 粒	* NH-061 シャンボ		
	* NH-061-0.25kg 粒	* NH-1001(H) フロアブル		
	* NH-1001(H)-1kg 粒	* NH-1101-1kg 粒		
	* NH-596 フロアブル	* NH-596-1kg 粒		
	* S-9058 シャンボ	* S-9058 フロアブル		
	* S-9058-1kg 粒	* S-9102 粒		
	* S-9421 シャンボ	S-9421 フロアブル		
	S-9421-1kg 粒	* SL-0701 シャンボ		
	SL-0701-1kg 粒	SST-403 シャンボ		
	* SYJ-222-1kg 粒	TH-547(Z)-1kg 粒		
	TH-601 シャンボ			
A-4コウキヤガラ	BCH-033-1kg 粒	* BCH-052 フロアブル	BCH-101-1kg 粒	KUH-101 シャンボ
	* BCH-053 フロアブル	* BCH-062 シャンボ	KUH-101-0.25kg 粒	KUH-103-1kg 粒
	* BCH-063 シャンボ	* KPP-505-1kg 粒	KYH-1001 フロアブル	KYH-1001-1kg 粒

区 分	実・継		継	
A-4コウキヤガラ つづき	* KUH-101-1kg 粒 * NC-632 シャンボ * S-9058 シャンボ * S-9058-1kg 粒 * S-9421 シャンボ S-9421-1kg 粒 SL-0613 顆粒水和 SL-0701-1kg 粒 SW-051-1kg 粒 * SYJ-222-1kg 粒 TH-501-1kg 粒 TH-601 シャンボ YH-650-1kg 粒	KUH-104-1kg 粒 * NC-632-1kg 粒 * S-9058 フロアブル * S-9102 粒 S-9421 フロアブル SL-0401-1kg(1.5kg/10a処理) 粒 * SL-0701 シャンボ SST-404-1kg 粒 * SW-063-1kg 粒 TH-501 フロアブル TH-547(Z)-1kg 粒 TH-601 フロアブル	MIH-101-1kg 粒 MIH-104-1kg 粒 SL-1001-1kg 粒	MIH-102 フロアブル NC-621-1kg 粒
A-4シスイ	* BCH-031-1kg 粒 * BCH-051 フロアブル * BCH-053 フロアブル * BCH-063 シャンボ * HOK-0605-1kg 粒 * HOK-0801 フロアブル * KPP-501-1kg 粒 * KUH-091-1kg 粒 * NC-626-1kg 粒 * S-9058-1kg 粒 * SL-0604-1kg 粒 * SYJ-222-1kg 粒 * TH-601 シャンボ	* BCH-051 シャンボ * BCH-052 フロアブル * BCH-062 シャンボ * HOK-0605 フロアブル * HOK-0721 粒 * HOK-0801-1kg 粒 * KUH-041-0.25kg 粒 NC-621-1kg 粒 * S-9058 フロアブル * S-9421-1kg 粒 * SW-061-1kg 粒 * TH-501 シャンボ	HOK-0801 シャンボ KUH-101-1kg 粒 MIH-104-1kg 粒 NC-629 フロアブル NC-631 シャンボ NC-632 シャンボ S-9058 シャンボ SL-0701 シャンボ	KPP-505-1kg 粒 MIH-101-1kg 粒 NC-629 シャンボ NC-629-1kg 粒 NC-631-1kg 粒 NH-596-1kg 粒 S-9421 シャンボ
A-4ミスアオイ	* BCH-051 シャンボ * DASH-001 SC * MIH-102(H) フロアブル * S-9058 フロアブル	* BCH-051 フロアブル KUH-041-1kg 粒 * S-9058 シャンボ * S-9058-1kg 粒	MIH-101(H)-1kg 粒 SL-1001-1kg 粒	S-9421 シャンボ
A-4SURホタルイ	* BCH-031-1kg 粒 * BCH-051 フロアブル	* BCH-051 シャンボ	SL-1001-1kg 粒	
A-4雑草イネ	* BCH-031-1kg 粒 * BCH-033-1kg 粒	* BCH-032-1kg 粒 * SL-0604-1kg 粒	SB-531 フロアブル	SB-531 フロアブル(少量散布)
B-1(移植A-1剤)	BAG-032 シャンボ * BCH-032-1kg 粒 * BCH-051 シャンボ * BCH-052 フロアブル * BCH-062 シャンボ * HOK-0801(L) シャンボ * KUH-021-0.25kg 粒 * KUH-101-1kg 粒 * MY-100DC(L)-1kg 粒	* BAH-041-1kg 粒 BCH-033-1kg 粒 * BCH-051 フロアブル * BCH-053 フロアブル * BCH-063 シャンボ * HOK-223 シャンボ * KUH-091-1kg 粒 * MIH-101-1kg 粒 NBA-101SB シャンボ	HOK-1002(L)-1kg 粒 NC-626 顆粒水和 S-9058 シャンボ S-9058-1kg 粒 S-9421 フロアブル SYJ-222-1kg 粒	NC-609-1kg 粒 NH-061-0.25kg 粒 S-9058 フロアブル S-9421 シャンボ S-9421-1kg 粒 TH-501 フロアブル

区 分	実・継		継
B-1(移植A-1剤) つづき	* NC-626-1kg 粒 NC-627-1kg 粒 SB-564 フロアフル * SL-0601 シャンボ SL-0701-1kg 粒 * SL-1001-1kg 粒 SW-043-1kg 粒 TH-547(Z) シャンボ TH-547(Z)-1kg 粒 TH-601 フロアフル KUH-021-1kg 粒	NC-627 顆粒水和 S-9146-1kg 粒 SB-564-1kg 粒 SL-0601(RC)-0.5kg 粒 SL-0701(RC)-0.5kg 粒 SST-404-1kg 粒 TH-501-1kg 粒 TH-547(Z) フロアフル TH-601 シャンボ TH-601-1kg 粒 SST-404 フロアフル	
B-2(移植A-2剤)	KUH-983-1kg 粒 * MIH-121-1kg 粒 SL-4901 フロアフル(少量散布) SL-4901-1kg 粒	* KUH-983-1kg 粒(少量散布) SL-4901 フロアフル YH-650-1kg 粒	
B-3(移植A-3剤)	HOK-0721 粒 * KUH-983-0.25kg 粒 * SL-0613 顆粒水和(顆粒のまま散布)	* HOK-0802-1kg 粒 SL-0401-1kg 粒	KUH-104-1kg 粒
B-4(その他)	SL-0612 顆粒水和		
C哇呼	MAH-1201 顆粒水和		KUH-913 液

注) 1) 本年度新規に使用基準が作成されたものは、薬剤名に「*」を記した。

2) 本年度は「実」、「継?」及び「中止」と判定された薬剤はなかった。

平成24年度 水稻関係除草剤使用基準一覧表

A 移植栽培

A-1 一発処理

A-1 1

AC-014A 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マフハイ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道		○1.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○再生 前	○前	+0～ノビエ1.5L	3kg		○
東北		○1.5	○	○2	○2	○2	○2		○前※	○発生 期					○	○
北陸		○1.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期		○前				○
関東・東海		○1.5	○	○始		○始	○始			○発生 期	○再生 前	○前			○	○
近・中・四	継															
九州	継															

田植同時散布可能
※:オモダカ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
SU抵抗性雑草は対象としない。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する場合、(東北)

A-1 2

BAH-1104-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マフハイ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道	実・継	●1.5	●	●始			●始			●発生 期	●再生 前～始		+3～ノビエ1.5L	1kg		●
東北	実・継	●1.5	●	●始	●始	●始	●始			●発生 期					●	●
北陸	実・継	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生 期		▲前 (藻類)				●
関東・東海	実・継	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生 期	●再生 前					●
近・中・四	実・継	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生 期		▲前 (藻類)				●
九州	実・継	●1.5	●	●始		●始	●始			●発生 期						●

SU抵抗性雑草は対象としない。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1 4

BCH-031-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マフハイ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始	○発生 期	○再生 前～始				○*	○
関東・東海		○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ3L(砂壌 土は2.5Lまで)		○	○
近・中・四		○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ3L		○	○
九州		○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ3L(砂壌 土は2.5Lまで)		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: * :浅植え、植付け精度不良等で薬害を生じることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する場合、(東北・関東・東海)
オモダカ防除は有効な後処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する場合、(北海道・北陸・近・中・四・九州)
クログワイ・コウキヤガ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する場合、
シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する場合、
雑草イネ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する場合。

A-1 5

BCH-032-1kg 粒

地域名	地域判定	バエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘオモ ダカ	ミズギヤ アリ	ウツカ アリ	クロ アリ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	菌類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土 土	土 土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生 期	○再生 前～始	エゾノヤナギダマシ2L ミズギヤイ2L SU抵抗性600Lイ2L	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	実・融	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	シバノ草丈3cm	10+5～ノビエ2.5L(砂 土は+5～)		○	○
北陸		○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ3L		○*	○
関東・東海	実・融	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	ウツカダマシ始 雑草生着前	10+5～ノビエ3L(早期 および砂土は+5～)		○	○
近・中・四	実・融	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始	○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州	実・融	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始	○発生 期	○再生 前～始	ウツカダマシ始	+5～ノビエ3L		○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の低温条件により強い生育抑制を受けることがある。(北海道、東北)

*:浅植え、植付け精度不良等で被害を生じることがある。

セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズギヤアリには効果が劣る。

オモダカ・クログワイ・シズイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

シズイネ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 6

BCH-033-1kg 粒

地域名	地域判定	バエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘオモ ダカ	ミズギヤ アリ	ウツカ アリ	クロ アリ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	菌類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土 土	土 土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○2		○始	○発生 期	○再生 前～始	エゾノヤナギダマシ2L ミズギヤイ2L SU抵抗性600Lイ2L	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	実・融	○3	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始		10+5～ノビエ3L(砂 土は+5～)		○	○
北陸		○3	○	○2		○2	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ3L		○	○
関東・東海	実・融	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始	○発生 期	○再生 前～始	ウツカダマシ始 雑草生着前(前期 重加山田)	10+5～ノビエ3L(早期 および砂土は+5～)		○	○
近・中・四	実・融	○3	○	○3		○2	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州	実・融	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	ウツカダマシ始	+5～ノビエ3L	1kg	○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の低温条件により強い生育抑制を受けることがある。(北海道、東北)

セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズギヤアリには効果が劣る。

オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

シズイネ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 7

BCH-051 シャンボ

地域名	地域判定	バエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘオモ ダカ	ミズギヤ アリ	ウツカ アリ	クロ アリ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	菌類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土 土	土 土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○始		○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始	エゾノヤナギダマシ2L ミズギヤイ2L SU抵抗性600Lイ2L	+5～ノビエ2.5L	30g×100	○	○
東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○始		○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始	シバノ草丈3cm			○	○
北陸		○2.5	○	○2		○2	○始	○前～ 始	○始※	○発生 期					○	○
関東・東海	実・融	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始	SU抵抗性600Lイ2L	+5～ノビエ2.5L		○	○
近・中・四	実・融	○2.5	○	○3		○2	○3	○始	○始※	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ2.5L		○	○
九州	実・融	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)

5cm程度の水深で散布する。

散布時に菌類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な被害や効果不足が生じることがある。

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズギヤアリには効果が劣る。

オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道、東北、関東・東海、近・中・四、九州)

オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸)

クログワイ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸、近・中・四)

クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海、九州)

シズイネ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 8

BCH-085L-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ワリカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 粘土
北海道																
東北																
北陸		○2.5	○	○2		○2	○2	○前～ 始	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海		○2.5	○	○2		○2	○2	○前～ 始※	○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○
近・中・四	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○
九州		○2.5	○	○2		○2	○2	●始※		○発生 期	○再生 前～始				○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 9

BCH-101-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ワリカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 粘土
北海道	実・継	○3	○	○2	○2		○2			○発生 期	○再生 前～始		+0～ノビエ3L	1kg	●	○
東北		○3	○	○3	○2	○3	○始			○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸	実・継	○3	○	○2		○2	○始2			○発生 期	○再生 前～始				●	○
関東・東海		○3	○	○3		○3	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○
近・中・四 (昔)	実・継	○3	○	○3		○3	○3			○発生 期	○再生 前～始				●	○
九州	実・継	○3	○	○3		○3	○3			○発生 期	○再生 前～始				●	○

田植同時散布可能

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(東北)

コナギ多発田では早めに使用する。

A-1 10

BCH-105H-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ワリカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 粘土
北海道	実・継	○2.5	○	○2	○2		○2	●前～ 始※	●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始		+0～ノビエ2.5L	1kg	●	○
東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 11

BCH-105L-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハエ	ネタリイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 〜 埴土
北海道																
東北																
北陸	実・継	○2.5	○	○2		○始	○始	●前〜 始	●前〜 始	○発生 期			+0〜ノビエ2.5L	1kg	●	○
関東・東海	実・継	○2	○	○2		○2	○始		●前〜 始	○発生 期	○再生 前〜始		+0〜ノビエ2L		●	○
近・中・四 (青)	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	●前〜 始	●前〜 始	○発生 期	○再生 前〜始		+0〜ノビエ2.5L(早期 はノビエ2Lまで)		○	○
九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2		●始	○発生 期	○再生 前〜始		+0〜ノビエ2.5L		●	○

田植同時散布可能
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 16

HOK-0801(L) ジャンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハエ	ネタリイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 〜 埴土
北海道																
東北																
北陸		○2.5	○	○2		○2	○2	○前〜 始	○前〜 始	○発生 期	○再生 前〜始		+0〜ノビエ2.5L	50g×10 ³	○	○
関東・東海		○2.5	○	○2		○2	○2	○前〜 始	○前〜 始	○発生 期	○再生 前〜始	○前			○	○
近・中・四	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	○前〜 始	○始	○発生 期	○再生 前〜始				○	○
九州		○2.5	○	○2		○2	○2	○前〜 始		○発生 期	○再生 前〜始					○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 18

HOK-1002 ジャンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハエ	ネタリイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 〜 埴土
北海道	実・継	○2	○	○2	○2		○2			○発生 期	○再生 前〜始		+5〜ノビエ2L	30g×10 ³		○
東北	実・継	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生 期	○再生 前〜始		±0+5〜ノビエ2.5L		○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1 19

HOK-1002 フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道	実・継	○22.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ22.5L	500ml		○
東北	実・継	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生 期	○再生 前～始		+0+5～ノビエ2.5L		○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布確認(東北(2))
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意:

A-1 20

HOK-1002-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道	実・継	○2	○	○2	○2		○2		●始	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ2L	1kg		○
東北	実・継	○2.5	○	○2	○始2	○2	○始	●前～ 始※		○発生 期	○再生 前～始		+0+5～ノビエ2.5L			○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布確認(東北(2))
 ※: クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 21

HOK-1002(L) シェンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道																
東北																
北陸		○2.5	○	○2		○始	○始			○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ2.5L	30g×100	○	○
関東・東海	実・継	○2.5	○	○2		○始2	○始			○発生 期	○再生 前～始		+0+5～ノビエ2.5L			○
近・中・四	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始					○
九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ2.5L			○

減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
 散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
 浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(近・中・四、九州)
 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
 田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。

A-1 22

HOK-1002(L) フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘリオモ タカ	ミズギヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道																
東北																
北陸	実・継	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)	+5～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	実・継	○2.5	○	○2		○始2	○始2			○発生 期	○再生 前～始	○前	+0.5～ノビエ2.5L			○
近・中・四	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始					○
九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ2.5L			○
全面散布(北陸) 田植同時散布可能 減水深: 2cm/日以下 使用上の注意: 浅植え, 植付け精度不良等で根が露出すると被害を生じることがある。(九州) 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。 田植前に生育したミズギヤツリには効果がある。																

A-1 23

HOK-1002(L)-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘリオモ タカ	ミズギヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道																
東北																
北陸		○2.5	○	○2		○始	○始		●始	○発生 期	○再生 前～始	○前	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	実・継	○2.5	○	○2		○2	○始2		●始※	○発生 期	○再生 前～始	○前	+0.5～ノビエ2.5L			○
近・中・四 (普)	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	○前	+0.5～ノビエ2.5L(砂 壌土は1.5～)		●	○
九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※		○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ2.5L			○
田植同時散布可能 ※オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 減水深: 2cm/日以下 使用上の注意: 浅植え, 植付け精度不良等で根が露出すると被害を生じることがある。(九州) 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。 田植前に生育したミズギヤツリには効果がある。 オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。																

A-1 24

HOK-1101 シャンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘリオモ タカ	ミズギヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道	継															
東北	継															
北陸	実・継	●3	●	●2		●2	●始						+5～ノビエ3L	30g×10コ		●
関東・東海	実・継	●3	●	●2		●2	●始		●発生 期	●再生 前～始						●
近・中・四	継															
九州	実・継	●3	●	●3		●3	●2		●発生 期	●再生 前～始			+5～ノビエ3L	30g×10コ		●
減水深: 2cm/日以下 使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。 散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な被害や効果不足を生じることがある。 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。																

A-1 25
HOK-1101 フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 壤土
北海道	継															
東北	継															
北陸	実・継	●2.5	●	●2	●2	●始				●発生 期			+5～ノビエ2.5L	500ml		●
関東・東海	実・継	●3	●	●3	●2	●2				●発生 期	●再生 前～始		+5～ノビエ3L			●
近・中・四	実・継	●3	●	●2	●3	●2				●発生 期						●
九州	実・継	●3	●	●3	●3	●3				●発生 期	●再生 前～始					●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1 26
HOK-1101-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 壤土
北海道	継															
東北	継															
北陸	継															
関東・東海	実・継	●3	●	●3	●3	●2					●再生 前～始		+5～ノビエ3L	1kg		●
近・中・四 (普)	実・継	●3	●	●2	●3	●2				●発生 期	●再生 前～始					●
九州	実・継	●3	●	●3	●3	●3				●発生 期	●再生 前～始					●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1 33
KPP-501-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 壤土
北海道		○1.5	○	○始	○始		○始			○発生 期	○再生 前～始		+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	実・継	○1.5	○	○始	○始	○始	○始			○発生 期	○再生 前～始	ノビエ最大3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1 34

KPP-501(L)-1kg 粒

地域名	地域判定	バエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ツリカ ツリ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道																
東北																
北陸		○1.5	○	○始		○始	○始			○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)	+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
関東・東海		○1.5	○	○始		○始	○始			○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			○	○
近・中・四	実・継	○1.5	○	○始		○始	○始			○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州		○1.5	○	○始		○始	○始			○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			○	○

田植同時散布可能

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 36

KPP-505-1kg 粒

地域名	地域判定	バエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ツリカ ツリ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道	継															
東北		○3	○	○3	○3	○3	○始	●前～ 始※		○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ3L	1kg	○	○
北陸		○3	○	○2		○2	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海	実・継	○3	○	○3		○3	○3	●前～ 始※		○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			●	○
近・中・四	実・継	○3	○	○3		○3	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始				●	○
九州	実・継	○3	○	○2		○3	○2			○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			●	○

※:クロクワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

オモダカ・クロクワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 37

KUH-041 シャンボ

地域名	地域判定	バエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ツリカ ツリ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○始			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	25g×10コ	○	○
東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○前～ 始※		○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸		○2.5	○	○2		○2	○始		○前～ 始	○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海		○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○
近・中・四		○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			○	○
九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			○	○

※:クロクワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

5cm程度の水深で散布する。

散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な被害や効果不足を生じることがある。

浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると被害を生じることがある。(九州)

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

オモダカ・クロクワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 38

KUH-041-0.25kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ネタノイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 堆土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○始		○前～ 始	○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	250g	○	○
東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○始		○始	○発生 期	○再生 前～始	ズミ			○	○
北陸		○2.5	○	○2		○2	○始			○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海	実・離	○2.5	○	○3		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○
近・中・四		○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○
九州		○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○

湛水周縁部散布可能
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

5cm程度の水深で散布する。

湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な葉害や効果不足を生じることがある。

浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると葉害を生じることがある。(九州)

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

シズメ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 39

KUH-041-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離		処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 堆土
北海道		○3	○	○2	○2		○2		○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前	ミヅナイ線1L	+0～ノビエ3L(砂 土は+3～)	1kg	○	○
東北	実・離	○3	○	○3	○3	○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前	ツキヤダラ始 シズメ草丈3cm	+0～ノビエ3L(砂 土は+3～)		○	○
北陸	実・離	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前				○	○
関東・東海	実・離	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前	ツキヤダラ始	+0～ノビエ3L(砂 土は+3～)		○	○
近・中・四	実・離	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前		+0～ノビエ3L(砂 土は+3～)		○	○
九州	実・離	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前	ツキヤダラ始	+0～ノビエ3L(砂 土は+3～)		○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 40

KUH-072D シャンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ネタノイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 堆土
北海道																
東北																
北陸		○2.5	○	○始		○始	○始			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	25g×10コ	○	○
関東・東海		○2.5	○	○2		○始	○始			○発生 期	○再生 前～始				○	○
近・中・四		○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州	実・離	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				●	○

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

5cm程度の水深で散布する。

散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な葉害や効果不足を生じることがある。

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 41

KUH-072D プロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツ	ウリカ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道																
東北																
北陸		○2.5	○	○2		○始	○始			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	実・継	○2.5	○	○3		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				●	○
近・中・四 (若)	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			●	○
九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				●	○

減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
 田植前に生育したミスガヤツリには効果が劣る。

A-1 42

KUH-072D-0.25kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツ	ウリカ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道																
東北																
北陸		○2.5	○	○2		○2	○始			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	250g	○	○
関東・東海		○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○
近・中・四		○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			●	○

湛水周縁部散布可能(北陸～九州)
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
 湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な葉害や効果不足を生じることがある。
 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
 田植前に生育したミスガヤツリには効果が劣る。

A-1 43

KUH-072K シンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツ	ウリカ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道	実・継	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	25g×10コ	●	○
東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
 散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な葉害や効果不足を生じることがある。

A-1 44
KUH-072K フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウツカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
北海道	実・鑑	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	500ml	●	○
東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1 45
KUH-091 シェンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウツカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
北海道																
東北																
北陸	実・鑑	●2.5	●	●2		●始	●始						+3～ノビエ2.5L	25g×10a		●
関東・東海	実・鑑	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生 期	●再生 前～始					●
近・中・四	実・鑑	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始	▲前 (藻類)				●
九州	実・鑑	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始		+3～ノビエ2.5L(早期 はノビエ2Lまで)			●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1 46
KUH-091-0.25kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウツカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
北海道	実・鑑	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生 期	●再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	250g		●
東北	実・鑑	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生 期	●再生 前～始				●	●
北陸	実・鑑	●2.5	●	●2		●始	●始									●
関東・東海	実・鑑	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生 期	●再生 前～始					●
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
減水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1 47

KUH-091-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	オタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土 ～ 土	壤土 ～ 土
北海道	実・継	○3	○	○3	○3		○2		●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ3L (砂土上 はノビエ2.5Lまで)	1kg	●	○
東北		○3	○	○3	○3	○3	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	ノビエ3cm	+3～ノビエ3L		○	○
北陸		○3	○	○2		○2	○始			○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海		○3	○	○3		○2	○2	●始		○発生 期	○再生 前～始				○	○
近・中・四 (若)	実・継	○3	○	○3		○3	○3			○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州		○3	○	○3		○3	○3			○発生 期	○再生 前～始				○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。

クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海)

クログワイ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(東北)

シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 48

KUH-101 シャンド

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	オタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土 ～ 土	壤土 ～ 土
北海道	実・継	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	25g×10コ		○
東北	実・継	○2.5	○	○2	○2	○2	○始2			○発生 期	○再生 前～始				●	○
北陸	実・継	○2.5	○	○2		○始2	○始2			○発生 期	○再生 前～始				●	○
関東・東海		○2.5	○	○2		○2	○始			○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○
近・中・四	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始	▲前 (藻類)			●	○
九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				●	○

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

5cm程度の水深で散布する。

散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 49

KUH-101-0.25kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	オタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土 ～ 土	壤土 ～ 土
北海道	実・継	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	250g	●	○
東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○始			○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸		○2.5	○	○2		○始	○始			○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海	実・継	○2.5	○	○2		○2				○発生 期	○再生 前～始				●	○
近・中・四	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			●	○
九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				●	○

減水周縁部散布可能

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

5cm程度の水深で散布する。

減水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 50

KUH-101-1kg 粒

地域名	地域判定	バエ	一年生 広葉・ マツハバ	ネタリ	ヘラオモ タカ	ミズガキ ツ	ウツカ	クロ タウイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
北海道	寒・継	○3	○	○2	○3		○2		●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始		+0+3～ノビエ3L	1kg	●	○
東北	寒・継	○3	○	○3	○3	○2	○2	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	○再生 前～始				●	○
北陸	寒・継	○3	○	○23		○始2	●2	●前～ 始	●前～ 始	●発生 期	●再生 前～始		+0+3～ノビエ3L(砂 壌土は+3～)		●	○
関東・東海	寒・継	○3	○	○3		○3	○2	●始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	○前	○始	+0+3～ノビエ3L	○	○
近・中・四 (普)	寒・継	○3	○	○3		○3	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始		○始		○	○
九州	寒・継	○3	○	○23		○3	○3	●前～ 始		○発生 期	○再生 前～始		○始		○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガキツには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道・北陸)
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海、近・中・四)
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海)
クログワイ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(東北・北陸、近・中・四、九州)
コウキヤガラ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 51

KUH-103 ジャンボ

地域名	地域判定	バエ	一年生 広葉・ マツハバ	ネタリ	ヘラオモ タカ	ミズガキ ツ	ウツカ	クロ タウイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
北海道	寒・継	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生 期	●再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	25g×100		●
東北	寒・継	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●再生 前～始				●	●
北陸	寒・継	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生 期	●再生 前～始					●
関東・東海	寒・継	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始					●
近・中・四	寒・継	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始					●
九州	寒・継	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始					●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な被害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1 52

KUH-103-0.25kg 粒

地域名	地域判定	バエ	一年生 広葉・ マツハバ	ネタリ	ヘラオモ タカ	ミズガキ ツ	ウツカ	クロ タウイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
北海道	継															
東北	寒・継	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生 期	●再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	250g	●	●
北陸	寒・継	●2.5	●	●始		●始	●始				●再生 前～始					●
関東・東海	寒・継	●2.5	●	●始		●2	●始			●発生 期	●再生 前～始					●
近・中・四	寒・継	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始		+3～ノビエ2.5L(早期 はノビエ2Lまで)			●
九州 (普)	寒・継	●2.5	●	●始		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始		+3～ノビエ2.5L			●

湛水周縁部散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:
5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な被害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1 53

KUH-103-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘリオ モダカ	ミズガ ヤフ	ウリカ ワ	クロ クワイ	オモダ カ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土 ～ 壤土
北海道	実・継	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○再生 前～始		+0～ノビエ2.5L	1kg	● ○
東北	実・継	○2.5	○	○2	○2	○始	●前～ 始※	●始※		○発生 期	○再生 前～始				● ○
北陸	実・継	○2.5	○	○2		○始2	○始			○発生 期	○再生 前～始				○ ○
関東・東海	実・継	○2.5	○	○2		○2	○始2			○発生 期	○再生 前～始				● ○
近・中・四	実・継	○2.5	○	○2		○2	●始			○発生 期	○再生 前～始				● ○
九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				● ○

田植同時散布可能

※: オモダカ・クロクワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤフには効果が劣る。

浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると被害を生じることがある。(関東・東海)

オモダカ・クロクワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 54

KUH-111-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘリオ モダカ	ミズガ ヤフ	ウリカ ワ	クロ クワイ	オモダ カ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土 ～ 壤土
北海道															
東北															
北陸	実・継	●2.5	●	●2		●始				●発生 期			+0～ノビエ2.5L	1kg	●
関東・東海	実・継	●2.5	●	●2		●2				●発生 期	●始				● ●
近・中・四	実・継	●2.5	●	●2		●2				●発生 期					●
九州	実・継	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期					●

田植同時散布可能

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1 59

KYH-0901 フロアフル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘリオ モダカ	ミズガ ヤフ	ウリカ ワ	クロ クワイ	オモダ カ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土 ～ 壤土
北海道	継														
東北	継														
北陸	実・継	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生 期			+0～ノビエ2.5L	500ml	●
関東・東海	実・継	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生 期	●再生 前～始				●
近・中・四															
九州															

全面散布(北陸、関東・東海)

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

A-1 61

KYH-1001 シンボ

地域名	地域判定	パエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミスガキ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 堆土
北海道																
東北																
北陸	離															
関東・東海	実・離	2.5	●	●2		●2	●始			●発生 期	●再生 前～始		+0～ノビエ2.5L	40g×10コ		●
近・中・四	実・離	2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始	▲前 (藻類)				●
九州 (普)	実・離	2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始					●

減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
 散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な葉害や効果不足を生じることがある。
 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1 62

KYH-1001 フロアブル

地域名	地域判定	パエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミスガキ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 堆土
北海道																
東北																
北陸	離															
関東・東海	実・離	2.5	○	○2		○2	○始			○発生 期	○再生 前～始	○前	+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
近・中・四	実・離	2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			●	○
九州	実・離	2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				●	○

田植同時散布可能
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
 田植前に生育したミスガキツリには効果が劣る。

A-1 63

KYH-1001-1kg 粒

地域名	地域判定	パエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミスガキ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 堆土
北海道																
東北																
北陸	離															
関東・東海	実・離	2.5	○	○2		○2	○始			○発生 期	○再生 前～始	○前	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
近・中・四 (普)	実・離	2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始	▲前 (藻類)			●	○
九州	実・離	2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				●	○

田植同時散布可能
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
 田植前に生育したミスガキツリには効果が劣る。

A-1 64

MH-101-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘチオモ タカ	ミスガヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	雑類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土 〜 壤土
北海道		○3	○	○3	○3		○2			○発生 期			+5〜ノビエ3L	1kg	○
東北	実・継	○3	○	○3	○3	○3	○2	●前〜 始密	●前〜 始密	○発生 期			+0+5〜ノビエ3L		○ ○
北陸	実・継	○3	○	○3		○3	○2	●前〜 始	●前〜 始	○発生 期	○再生 前〜始				○ ○
関東・東海	実・継	○3	○	○3		○3	○2	●前〜 始	●始	○発生 期	○再生 前〜始	○前			○* ○
近・中・四		○3	○	○3		○3	○3	●前〜 始	●前〜 始	○発生 期	○再生 前〜始	△前 (雑類)	+5〜ノビエ3L		○ ○
九州	実・継	○3	○	○3		○3	○3	●前〜 始密	●前〜 始密	○発生 期	○再生 前〜始				○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

*:散布後の低温および急激な気温の上昇により葉害を生じることがある。

*:浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると葉害を生じることがある。

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミスガヤツリには効果が劣る。

オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 65

MH-101(1)-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘチオモ タカ	ミスガヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	雑類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土 〜 壤土
北海道	実・継	●3	●	●2	●3		●2			●発生 期	●再生 前〜始		+5〜ノビエ3L	1kg	●
東北															
北陸															
関東・東海															
近・中・四															
九州															

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

A-1 66

MH-102 フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘチオモ タカ	ミスガヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	雑類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土 〜 壤土
北海道															
東北	実・継	○3	○	○2		○3	○2			○発生 期			+5〜ノビエ3L	500ml	○ ○
北陸	実・継	○3	○	○3		○3	○2	●前〜 始	●前〜 始	○発生 期					● ○
関東・東海	実・継	○3	○	○3		○3	○2	●前〜 始密	●前密	○発生 期	○再生 前〜始				● ○
近・中・四	実・継	○3	○	○3		○3	○2	●前〜 始	●前〜 始	○発生 期	○再生 前〜始	△前 (雑類)			○
九州	実・継	○3	○	○3		○3	○3			○発生 期					● ○

ノビエ3L処理は全面散布

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミスガヤツリには効果が劣る。

オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 70

MH-112(H) フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道	実・鑑	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生 期	●再生 前～始		+0～ノビエ2.5L	500ml		●
東北	実・鑑	●2.5	●	●2	●2	●2	●2			●発生 期	●再生 前～始				●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1 71

MH-112(L) フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道																
東北																
北陸	実・鑑	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生 期	●再生 前～始	▲前 (藻類)	+0～ノビエ2.5L	500ml		●
関東・東海	実・鑑	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始	●前			●	●
近・中・四	実・鑑	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始	▲前 (藻類)				●
九州	実・鑑	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始					●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1 72

MH-113(H) シンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道	実・鑑	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生 期	●再生 前～始		+1～ノビエ2.5L	30g×10コ		●
東北	実・鑑	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生 期	●再生 前～始				●	●
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1 73
MH-113(L) ジェンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ネタリイ	ヘラオモ タカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道																
東北																
北陸	実・継	2.5	●	●2		●始	●始			●発生 期	●再生 前～始		+1～ノビエ2.5L	30g×10 ²		●
関東・東海	実・継	2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始					●
近・中・四	実・継	2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始					●
九州	実・継	2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始					●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1 76
NC-621 フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ネタリイ	ヘラオモ タカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道		03	○	○3	○2		○2			○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ3L	500ml		○
東北		03	○	○3	○3	○3	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸		03	○	○2		○始	○始			○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海	実・継	03	○	○3		○3	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○
近・中・四		03	○	○3		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州		03	○	○3	○前	○3	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 移植後の低湿および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(近・中・四)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミスガヤツリには効果が劣る。

A-1 77
NC-626 ジェンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ネタリイ	ヘラオモ タカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道	実・継	02.5	○	○2	○2		○2		●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始		+0～ノビエ2.5L	30g×10 ²	●	○
東北	実・継	02.5	○	○2	●2	○2	○始			○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			●	○
北陸		02.5	○	○2		○始	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期					○	○
関東・東海	実・継	02.5	○	○2		○始2	○始	●前～ 始	●始密	○発生 期	○再生 前～始				●	○
近・中・四	実・継	02.5	○	○2		○2	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			●	○
九州		02.5	○	○2		○2	○2	●前～ 始密		○発生 期	○再生 前～始					○

※: オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミスガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 78

NC-626 フロアパウ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離		処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 粘土	
北海道	実・継	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生 期	●再生 前～始			+0～ノビエ2.5L	500ml		●	
東北	実・継	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生 期	●再生 前～始						●	●
北陸	実・継	●2.5	●	●2		●始	●始				●再生 前～始						●	
関東・東海	実・継	●2.5	●	●2	●2	●始				●発生 期	●再生 前～始						●	
近・中・四（普）	実・継	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●再生 前～始						●	
九州	実・継	●2.5	●	●2	●2	●2				●発生 期	●再生 前～始						●	
減水深: 2cm/日以下																		
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。																		

A-1 79

NC-626 顆粒水和

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離		処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 粘土
北海道	実・継	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○再生 前～始		+0～ノビエ2.5L	80g(散布 液量 500ml)	●	○	
東北		○2.5	○	○2		○2	○始			○発生 期	○再生 前～始				○	○	
北陸	実・継	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生 期	●再生 前～始				●	○	
関東・東海		○2.5	○	○2		○始	○始			○発生 期	○再生 前～始					○	
近・中・四（普）		○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始					○	
九州		○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始					○	
顆粒のまま水口散布可能(専用袋使用)																	
減水深: 2cm/日以下																	
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。 田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。																	

A-1 80

NC-626-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 粘土	
北海道	実・継	○2.5	○	○2	○2		○2		○前～ 始	○発生 期	○再生 前～始		+0～ノビエ2.5L	1kg	●	○	
東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始	シズイ草太3cm				○	○
北陸		○2.5	○	○2		○2	○始	○始※	○始	○発生 期	○再生 前～始					○	○
関東・東海	実・継	○2.5	○	○2		○2	○始	○始※	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)				○	○
近・中・四	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)				○	○
九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～ 始※	●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始					●	○
田植同時散布可能 ※: オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。 減水深: 2cm/日以下 使用上の注意:																	
散布後著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。 田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。 オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。																	

A-1 81
NC-627-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウツリ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 堆土	
北海道		○2.5	○	○2	○2			○始	○始※	○発生 期	○再生 前～始		※アオイ2L, SU抵抗性ホタルイ2L	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	実・継	○2.5	○	○2	○2	○2	○2		○始※	○発生 期	○再生 前～始		※ホタルイ2L, SU抵抗性ホタルイ2L	+10～ノビエ2.5L(砂 土は5～)		○	○
北陸		○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生 期	○再生 前～始			+5～ノビエ2.5L		○	○
関東・東海	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生 期	○再生 前～始		※ホタルイ2L, SU抵抗性ホタルイ2L	+10～ノビエ2.5L(草類 および砂壌土は5～)		○	○
近・中・四	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2		○始※	○発生 期	○再生 前～始					○	○
九州		○2.5	○	○2		○2	○2		●始※	○発生 期	○再生 前～始			+5～ノビエ2.5L		○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
クサネムが残草または後発生した場合は有効な後処理剤を散布する。

A-1 82
NC-629 シヤンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウツリ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 堆土
北海道		○3	○	○2	○3		○2			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ3L	40g×10コ		○
東北		○3	○	○3	○2	○3	○2	●前～ 始※	●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸	実・継	○3	○	○2		○始	○始			○発生 期	●再生 前～始		+3～ノビエ3L(砂 土は5～)		●	○
関東・東海	実・継	○3	○	○3		○始	○2	●前～ 始※	●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ3L		●	○
近・中・四	実・継	○3	○	○3		○2	○2	●前～ 始※	●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始				●	○
九州		○3	○	○2		○3	○3			○発生 期	○再生 前～始					○

※:オモダカ・クログワイ防除は、連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 83
NC-629 フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウツリ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 堆土
北海道	実・継	○3	○	○2	○3		○2			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ3L	500ml		○
東北	実・継	○3	○	○3	●2	○3	○始			○発生 期	○再生 前～始				●	○
北陸	実・継	○3	○	○2		○2	○始	●前～ 始※	●始	○発生 期	●再生 前～始				●	○
関東・東海	実・継	○3	○	○3		○2	○2	●前～ 始※	●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始				●	○
近・中・四 (着)	実・継	○3	○	○3		○3	○2	●前～ 始※	●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始					○
九州	実・継	○3	○	○3		○3	○3			○発生 期	○再生 前～始				●	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 84

NC-629-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道																
東北	実・継	○3	○	○3	○2	○3	○始	●前～ 始密	●前～ 始密	○発生 期	○再生 前～始		±0+3～ノビエ3L	1kg	○	○
北陸	実・継	○3	○	○2		○2	○始	●前～ 始密	●前～ 始密	○発生 期	○再生 前～始	▲前 (藻類)			○	○
関東・東海	実・継	○3	○	○3		○3	○始2	●前～ 始密		○発生 期	○再生 前～始		±0+3～ノビエ3L(砂 壤土は+3～)		●	○
近・中・四	実・継	○3	○	○3		○3	○3	●前～ 始密	●前～ 始密	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)	±0+3～ノビエ3L			○
九州	実・継	○3	○	○3		○3	○3	●前～ 始密		○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ3L		●	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1 85

NC-631 シャンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○2		●始	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ2.5L	30g×10 ³		○
東北	実・継	○2.5	○	○2	○始2	○2	○始		●前～ 始密	○発生 期	○再生 前～始				●	○
北陸		○2.5	○	○2		○始	○始			○発生 期					○	○
関東・東海	実・継	○2.5	○	○2		○始2	○始2	●前～ 始密	●前～ 始密	○発生 期	○再生 前～始				●	○
近・中・四	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～ 始密	●前～ 始密	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			●	○
九州		○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始					○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な被害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1 86

NC-631 顆粒水和

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道	実・継	○2.5	○	○2	○2		○2		●前～ 始密	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ2.5L	80g(散布 液量 500ml)		○
東北	実・継	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●前～ 始密	●前～ 始密	○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸	実・継	○2.5	○	○2		○2	○始	●前～ 始密	●前～ 始密	○発生 期	○再生 前～始					○
関東・東海	実・継	○2.5	○	○2		○始2	○2	●前～ 始密	●前～ 始密	○発生 期	○再生 前～始				●	○
近・中・四 (※)	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～ 始密	●前～ 始密	○発生 期	○再生 前～始	▲前 (藻類)			●	○
九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始					○

顆粒のまま水口散布可能(専用袋使用)
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1 87
NC-631-1kg 粒

地域名	地域判定	バリエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 堆土
北海道	継															
東北	実・継	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始			+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
北陸		○2.5	○	○2		○始	○始	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始				●	○
近・中・四	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			●	○
九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始					○

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
 田植前に生育したミスガヤツリには効果が劣る。
 オモダカ・クロクワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 88
NC-632 ジェル

地域名	地域判定	バリエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 堆土
北海道																
東北		○3	○	○3	○2	○3	○2			○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ3L	40g×10コ	○	○
北陸		○3	○	○2		○2	○始	●前～ 草丈30 cm	●前～ 矢じり 葉3L	○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海	実・継	○3	○	○3		○2	○2	●前～ 草丈30 cm	●前～ 矢じり 葉3L	○発生 期	○再生 前～始	●前	コシヤナギ・始～草丈 30cm		●	○
近・中・四	実・継	○3	○	○3		○3	○3	●前～ 草丈30 cm	●前～ 矢じり 葉3L	○発生 期	○再生 前～始	▲前 (藻類)	コシヤナギ・始～草丈 30cm		●	○
九州		○3	○	○2		○3	○2			○発生 期	○再生 前～始		コシヤナギ・始～草丈 30cm			○

※:オモダカ・クロクワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
 散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
 田植前に生育したミスガヤツリには効果が劣る。
 オモダカ・クロクワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 89
NC-632 フロアブル

地域名	地域判定	バリエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 堆土
北海道	継															
東北	実・継	●3	●	●3	●2	●2	●2			●発生 期	●再生 前～始		+5～ノビエ3L	500ml	●	●
北陸	実・継	●3	●	●3		●2	●2				●再生 前～始	▲前 (藻類)				●
関東・東海 (普)	実・継	●3	●	●3		●3	●2			●発生 期	●再生 前～始					●
近・中・四	実・継	●3	●	●3		●3	●3			●発生 期	●再生 前～始	▲前 (藻類)				●
九州	実・継	●3	●	●3		●3	●2			●発生 期	●再生 前～始					●

減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1 90

NC-632-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハク	オサリイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌 土	壤土 ～ 植土
北海道																
東北	実・継	○3	○	○3	○2	○3	○始	●前～ 草丈30 cm	●前～ 矢じり 葉3L迄	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ3L	1kg	○	○
北陸	実・継	○3	○	○3		○2	○2	●前～ 草丈30 cm	●前～ 矢じり 葉3L迄	○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海	実・継	○3	○	○3		○3	○2	●前～ 草丈30 cm	●前～ 矢じり 葉3L迄	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)	ツキツツハク始～草丈 30cm		●	○
近・中・四	実・継	○3	○	○3		○3	○3	●前～ 草丈30 cm	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)				○
九州	実・継	○3	○	○3		○3	○3			○発生 期	○再生 前～始		ツキツツハク始～草丈 30cm		●	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したオモダカ・クログワイには効果が劣る。

オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 91

NC-634-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハク	オサリイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌 土	壤土 ～ 植土
北海道																
東北	実・継	●2.5	●	●2	●始	●2	●2			●発生 期	●再生 前～始		+0～ノビエ2.5L	1kg		●
北陸	実・継	●2	●	●2		●始	●始			●発生 期			+0～ノビエ2L			●
関東・東海	継															
近・中・四	実・継	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始	▲前 (藻類)	+0～ノビエ2.5L	1kg		●
九州	実・継	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生 期	●再生 前～始					●

田植同時散布可能

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1 93

NH-061 シンゴ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハク	オサリイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌 土	壤土 ～ 植土
北海道	実・継	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生 期	●再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	25g×10×		●
東北	実・継	○2.5	○	○2	○2	○始	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	○再生 前～始				●	○
北陸		○2.5	○	○2		○始	○始		○発生 期	○再生 前～始	○再生 前～始				○	○
関東・東海	実・継	○2.5	○	○2		○始	●始		○発生 期	○再生 前～始	○再生 前～始				●	○
近・中・四	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			●	○
九州		○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始					○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

5cm程度の水深で散布する。

散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したオモダカ・クログワイには効果が劣る。

オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 94
NH-061-0.25kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ネタリイ	ヘラオモ タカ	ミスガヤ ツリ	ウツカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 へ 壤土
北海道																
東北	実・継	○2.5	○	○2	●2	○2	○始	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	250g	●	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

湛水周縁部散布可能(東北)
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な葉害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミスガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1 95
NH-061-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ネタリイ	ヘラオモ タカ	ミスガヤ ツリ	ウツカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 へ 壤土
北海道		○3	○	○3	○2		○2		○始	○発生 期	○再生 前～始	○前	+3～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	実・継	○3	○	○3	○3	○2	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始		+0+3～ノビエ3L(砂 壌土は+3～)		○	○
北陸		○3	○	○3		○2	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ3L		○	○
関東・東海	実・継	○3	○	○3		○3	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	コウキヤツリ始			○	○
近・中・四		○3	○	○3		○3	○3	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州	実・継	○3	○	○3		○3	○3	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	コウキヤツリ始			○	○

田植同時散布確認(東北(2))
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミスガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤツリ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1 96
NH-1001(H) シェンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ネタリイ	ヘラオモ タカ	ミスガヤ ツリ	ウツカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 へ 壤土
北海道	実・継	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	60g×10コ		○
東北	実・継	○2.5	○	○2	●2	○2	○始			○発生 期	○再生 前～始				●	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な葉害や効果不足を生じることがある。

A-1 97

NH-1001(H) フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘイオモ タカ	ミズガヤ ツ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道	実・継	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○再生 前～始	エゾノササグサ2L	+3～ノビエ2.5L	500ml	●	○
東北	実・継	○2.5	○	○2	●始	○2	○始	●始	●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

水口処理確証(北海道,東北)
 ※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 98

NH-1001(H)-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘイオモ タカ	ミズガヤ ツ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道	実・継	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○再生 前～始	エゾノササグサ2L	+3～ノビエ2.5L	1kg	●	○
東北		○2.5	○	○2		○2	○始	●始	●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(東北)
 浅植え、植付け精度不良等で薬害を生じることがある。(東北)
 オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 101

NH-596 ジャンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘイオモ タカ	ミズガヤ ツ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道	実・継	●2.5	●	●2	●2		●始			●発生 期			+3～ノビエ2.5L	50g×10 ³		●
東北	実・継	○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生 期	▲前 (藻類)				○	○
北陸	実・継	●2	●	●2		●2	●始			●発生 期			+3～ノビエ2L		●	●
関東・東海																
近・中・四	実・継	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生 期	▲前 (藻類)		+3～ノビエ2.5L	50g×10 ³		●
九州																

減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
 散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-1 102
NH-596 フロアブル

地域名	地域判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○2		●前～ 始	○発生 期			+3～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	実・離	○2.5	○	○2	○始	○2	○始		○前～ 始	○発生 期					○	○
北陸		○2.5	○	○2		○2	○始	●前～ 始	○発生 期						○	○
関東・東海		○2.5	○	○2		○始	○始	●前～ 始	○発生 期						○	○
近・中・四		○2.5	○	○2		○2	○2		○発生 期						○	○
九州		○2.5	○	○2		○2	○2		○発生 期						○	○

水口処理確認(東北)
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用。(東北・関東・東海)
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。(北海道)
オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用。(北陸)
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1 103
NH-596-1kg 粒

地域名	地域判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期			+3～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北		○2.5	○	○2	○始	○2	○始			○発生 期					○	○
北陸		○2.5	○	○2		○2	○始	●前～ 始		○発生 期					○	○
関東・東海		○2.5	○	○2		○2	○2	●始		○発生 期					○	○
近・中・四		○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期					○	○
九州	実・離	○2.5	○	○3		○2	○2			○発生 期					●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1 104
S-9058 ジャンボ

地域名	地域判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道		○3	○	○3	○3		○2		●前～ 始	○発生 期		エノキヤガタ防除 は7月15日	+5～ノビエ3L	40g×10コ	○	○
東北		○3	○	○3	○3	○2	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期					○	○
北陸	実・離	○3	○	○2		○2	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始				●	○
関東・東海		○3	○	○3		○3	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	コキヤガタ防除			○	○
近・中・四		○3	○	○3		○3	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類) コキヤガタ防除			○	○
九州		○3	○	○3		○3	○3	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	コキヤガタ防除			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な被害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コキヤガタ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1 105

S-9058-1kg 粒

地域名	地域判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウツカ	クロ タワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道		○3	○	○3	○3	○2		●前～ 始	○発生 期			エゾノオササギがすく はれては始	+5～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	寒・融	○3	○	○3	○3	○2	○2	●前～ 始	○発生 期			ノビエ草丈3cm	+0～6～ノビエ3L		○	○
北陸	寒・融	○3	○	○2		○始2	○始2	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始					●	○
関東・東海	寒・融	○3	○	○3		○始2	○始2	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	▲前(表 層剥離)	ツキヤガラ・始			○	○
近・中・四		○3	○	○3		○3	○3	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始		ツキヤガラ・始	+5～ノビエ3L		○	○
九州		○3	○	○3		○3	○3	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始		ツキヤガラ・始			○	○

田圃同時散布可能

※オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田圃前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

著しい高温条件では葉害を生じることがある。(関東・東海)

オモダカ・クログワイ・ヨウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 106

S-9102 粒

地域名	地域判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウツカ	クロ タワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道																
東北																
北陸																
関東・東海		○2	○	○2		○始	○始	●始		○発生 期	○再生 前～始	ツキヤガラ・始	+0～ノビエ2L	3kg	○	○
近・中・四 (第)	寒・融	○2	○	○2		○2	○始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)	ツキヤガラ・始			○	○
九州		○2	○	○2		○2	○2	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)	ツキヤガラ・始			○	○

※オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田圃前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

ヨウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(近・中・四・九州)

A-1 107

S-9146-1kg 粒

地域名	地域判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウツカ	クロ タワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道	寒・融	●3	●	●2		●2			●発生 期	●再生 前～始			+0～ノビエ3L	1kg		●
東北	寒・融	●3	●	●2	●2	●3	●2		●発生 期	●再生 前～始					●	●
北陸	寒・融	●3	●	●3		●2	●始		●発生 期	●再生 前～始					●	●
関東・東海	寒・融	●3	●	●3		●2	●2		●発生 期	●再生 前～始					●	●
近・中・四	寒・融	●3	●	●3		●3	●2		●発生 期	●再生 前～始						●
九州	寒・融	●3	●	●3		●3	●3		●発生 期	●再生 前～始						●

減水深：2cm/日以下

使用上の注意：

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

コナギ、ホタルイ以外のSU抵抗性雑草は対象としない。

A-1 108
S-9421 ジャンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダガ	ミズギヤ ツリ	ツリカワ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
北海道	実・継	○3	○	○3	○3		○2		●前～ 始※	○発生 期			エゾノササヅク3L	+5～ノビエ3L	20g×100	●○
東北		○3	○	○2	○2	○3	○2	●前～ 始※	●前～ 始※	○発生 期						○ ○
北陸		○3	○	○2		○2	○始	●前～ 始※	●前～ 始※	○発生 期						○ ○
関東・東海		○3	○	○3		○2	○始	始※	●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始		コキヤダマ3L			○ ○
近・中・四		○3	○	○3		○3	○2	●前～ 始※	●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始					○ ○
九州		○3	○	○3		○3	○3	●前～ 始※	●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始		コキヤダマ3L			○ ○

※:オモダカ・クロクワイ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
 散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な被害や効果不足を生じることがある。
 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
 田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
 ※:浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると被害を生じることがある。
 オモダカ・クロクワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用すること。
 コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用すること。(九州)

A-1 109
S-9421-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダガ	ミズギヤ ツリ	ツリカワ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
北海道		○3	○	○3	○3		○2		○前～ 始	○発生 期			エゾノササヅク3L	+5～ノビエ3L	1kg	○ ○
東北	実・継	○3	○	○3	○3	○3	○2	○前～ 始※	○前～ 始※	○発生 期			エゾノササヅク3L	+5～ノビエ3L		○ ○
北陸	実・継	○3	○	○3		○2	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始		エゾノササヅク3L	+5～ノビエ3L(砂壌 土は+5～)		○ ○
関東・東海	実・継	○3	○	○2		○2	○2	○前～ 始※	○始	○発生 期	○再生 前～始		コキヤダマ3L	+5～ノビエ3L		○ ○
近・中・四		○3	○	○3		○2	○3	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始		コキヤダマ3L	+5～ノビエ3L		○ ○
九州		○3	○	○3		○3	○3	●前～ 始※	●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始		コキヤダマ3L			○ ○

田植同時散布可能
 ※:オモダカ・クロクワイ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
 田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
 ※:浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると被害を生じることがある。(北海道)
 オモダカ・クロクワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用すること。

A-1 110
S-9465-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダガ	ミズギヤ ツリ	ツリカワ	クロ クワイ	オモダガ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土	
北海道																	
東北																	
北陸																	
関東・東海	実・継	●2	●	●始		●2	●始			●発生 期	●再生 前～始	●前	+0～ノビエ2L	1kg	●	●	
近・中・四	実・継	●2	●	●2		●始	●始			●発生 期	●再生 前～始	▲前 (藻類)					●
九州 (昔)	実・継	●2	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始						●

田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1 112

S-9663-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミズガヤ ツ	ウリカワ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土 ～ 堆土
北海道	実・継	●2.5	●	●2			●始			●発生 期	●再生 前～始		+0～ノビエ2.5L	1kg	●
東北	実・継	●2.5	●	●2	●2	●2	●始			●発生 期	●再生 前～始				● ●
北陸	実・継	●2.5	●	●2		●始	●始			●発生 期	●再生 前～始				●
関東・東海	実・継	●2.5	●	●2		●2	●始			●発生 期	●再生 前～始				●* ●
近・中・四	実・継	●2.5	●	●2		●2				●発生 期	●再生 前～始	▲前 (藻類)			●
九州	実・継	●2.5	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始				●

田植同時散布可能

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

*: 浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-1 113

SB-531 フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミズガヤ ツ	ウリカワ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土 ～ 堆土
北海道	実・継	○2	○	○始	○始					○発生 期			+0～ノビエ2L	500ml	○ ○
東北	実・継	○2	○	○2	○2	○2				○発生 期					● ○
北陸	実・継	○2	○	○2		○始				●発生 期					○
関東・東海	実・継	○2	○	○2		○2				○発生 期					○ ○
近・中・四		○2	○	○2		○2				○発生 期					○ ○
九州	実・継	○2	○	○2		○2				○発生 期					● ○

田植同時散布可能

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツには効果が劣る。

A-1 115

SL-0601 ジャンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミズガヤ ツ	ウリカワ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土 ～ 堆土
北海道															
東北		○4	○	○3	○4		○3	○草丈 10cm※	○始※	○発生 期	○再生 前～始		+7～ノビエ4L	50g×10コ	○ ○
北陸		○4	○	○4			○2	○草丈 10cm	○始	○発生 期	○再生 前～始				○ ○
関東・東海		○4	○	○4			○3	○草丈 10cm※	○始※	○発生 期	○再生 前～始		コウキヤガタ: 始		○ ○
近・中・四		○4	○	○4			○3	○草丈 10cm	○始	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ4L(砂 土は+7～)		○ ○
九州	実・継	○4	○	○4			○4			○発生 期	○再生 前～始		+5+7～ノビエ4L(砂 土は+7～)		○ ○

一年生広葉雑草以外のSL抵抗性雑草は対象としない。

※: オモダカ・クロクワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

5cm程度の水深で散布する。

散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

オモダカ・クロクワイ・コウキヤガタ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1 116

SL-0601-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオ ダカ	ミズガ ヤ	クワ カ	クロ グワイ	オモダ カ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土 へ	植土
北海道																
東北		○4	○	○4	○4		○3	○草丈 10cm※	○矢じ り葉抽 出前※	○発生 期	○再生 前～始	○ササ ガサ始 シズ草丈3cm	+7～ノビエ4L	1kg	○	○
北陸		○4	○	○3			○2	○草丈 10cm※	○矢じ り葉抽 出前※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海		○4	○	○4			○3	○草丈 10cm※	○矢じ り葉抽 出前※	○発生 期	○再生 前～始	○ササ ガサ始 SL抵抗性ササ3L			○	○
近・中・四		○4	○	○4			○3	○草丈 10cm※	○矢じ り葉抽 出前※	○発生 期	○再生 前～始	○ササ ガサ始	+5～ノビエ4L(砂 壌土は+7～)		○	○
九州	実・継	○4	○	○4			○4			○発生 期	○再生 前～始	○ササ ガサ始	+5～ノビエ4L(砂 壌土は+7～)		○	○

一年生広葉雑草以外のSL抵抗性雑草は対象としない。

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1 117

SL-0701 シャンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオ ダカ	ミズガ ヤ	クワ カ	クロ グワイ	オモダ カ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土 へ	植土
北海道																
東北	実・継	○4	○	○3	○4	○3	○3	●草丈 10cm※	●生育 期(矢じ り葉抽 出前)※	○発生 期	○再生 前～始		+7～ノビエ4L	50g×10コ	○	○
北陸	実・継	○4	○	○3		○3	○4	●草丈 10cm※	●生育 期(矢じ り葉抽 出前)※	○発生 期	○再生 前～始		+7～ノビエ4L		○	○
関東・東海	実・継	○4	○	○3		○2	○3	●草丈 10cm※	●生育 期(矢じ り葉抽 出前)※	○発生 期	○再生 前～始	○ササ ガサ始			○	○
近・中・四	実・継	○4	○	○3		○2	○2	●草丈 10cm※	●生育 期(矢じ り葉抽 出前)※	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)	+5～ノビエ4L(砂 壌土は+7～)		○	○
九州	実・継	○4	○	○4		○4	○4			○発生 期	○再生 前～始	○ササ ガサ始	+5～ノビエ4L(砂 壌土は3Lまで)		●	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

5cm程度の水深で散布する。

散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤシには効果が劣る。

オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1 118

SL-0701-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオ ダカ	ミズガ ヤ	クワ カ	クロ グワイ	オモダ カ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土 へ	植土
北海道		○4	○	○3	○3		○3			○発生 期	○再生 前～始		+7～ノビエ4L	1kg		○
東北		○4	○	○4	○4	○2	○3	●草丈 10cm※	○矢じ り葉抽 出前※	○発生 期	○再生 前～始	○ササ ガサ始 シズ草丈3cm			○	○
北陸		○4	○	○4		○2	○3	○草丈 10cm※	○矢じ り葉抽 出前※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海		○4	○	○4		○2	○3	○草丈 10cm※	○矢じ り葉抽 出前※	○発生 期	○再生 前～始	○ササ ガサ始			○	○
近・中・四		○4	○	○4		○2	○3	○草丈 10cm※	○矢じ り葉抽 出前※	○発生 期	○再生 前～始	○ササ ガサ始	+5～ノビエ4L(砂 壌土は+7～)		○	○
九州	実・継	○4	○	○4		○3	○3	○草丈 10cm※	○矢じ り葉抽 出前※	○発生 期	○再生 前～始	○前	+5～ノビエ4L(砂 壌土は+7～)		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(北陸)

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤシには効果が劣る。

オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1 119

SL-0701(RC)-0.5kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウツカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道																
東北	実・継	○4	○	○2	○2	●2	○3			○発生 期	○再生 前～始		+7～ノビエ4L	500g	○	○
北陸	実・継	○4	○	○3		○23	○23			○発生 期					●	○
関東・東海																
近・中・四																
九州																

均一散布
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-1 120

SL-1001-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウツカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道	実・継	○33.5	○	○3	○3		○2			○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ34.3.5L	1kg	●	○
東北	実・継	○3.5	○	○3	○3	○3	○2			○発生 期			+5～ノビエ3.5L		○	○
北陸	実・継	○3.5	○	○3		○2	○2			●発生 期	○再生 前～始	▲前 (藻類)	+5～ノビエ3.5L(砂壌 土はノビエ3Lまで)		○	○
関東・東海	実・継	○33.5	○	○3		○3	○2			○発生 期	○再生 前～始	○前	+5～ノビエ34.3.5L		●	○
近・中・四 (第)	実・継	○3.5	○	○3		○3	○3			○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ3.5L			○
九州	実・継	○33.5	○	○3		○3	○3			○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ34.3.5L(砂 壌土はノビエ3Lまで)		●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(北海道)

A-1 121

SST-404 シェンホ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウツカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○始		○始※	○発生 期	○再生 前～始		+0～ノビエ2.5L	40g×10㎡	○	○
東北		○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸		○2.5	○	○2		○始	○2	○始※	○始※	○発生 期					○	○
関東・東海		○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
近・中・四	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州		○2.5	○	○2	○前	○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(東北、北陸、近・中・四)
クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海、九州)
コウキヤガ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 122

SW-062 フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ タワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○始		○前～ 始	○発生 期			+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○前～ 始※	○発生 期					○	○
北陸		○2.5	○	○2		○2	○始	○始	○前～ 始	○発生 期					○	○
関東・東海		○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○前～ 始※	○発生 期					○	○
近・中・四	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期					○	○
九州		○2.5	○	○2	○始	○2	○2			○発生 期					○	○

田植同時散布可能

※:オモダカ・クロタワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

オモダカ・クロタワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 123

SW-064 1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ タワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道																
東北																
北陸	実・継	●1	●	●始		●前	●始			●発生 期			+0～ノビエ1L	1kg	●	●
関東・東海	実・継	○1	○	○始		○始	○始			○発生 期					●	○
近・中・四	実・継	○1	○	○始		○始	○始			○発生 期					○	○
九州																

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

A-1 124

SVJ-156H ジェンホ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ タワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道	実・継	○3	○	○3	○3		○2			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ3L	50g×100	●	○
東北		○3	○	○3	○3	○3	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

5cm程度の水深で散布する。

散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な葉害や効果不足が生じることがある。

A-1 125

SYJ-157H シンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
北海道																
東北																
北陸		○3	○	○2		○2	○始			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ3L	50g×10 ³	○	○
関東・東海		○3	○	○3		○3	○2			○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○
近・中・四 (第)	実・継	○3	○	○3		○2	○3			○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州		○3	○	○3		○3	○3			○発生 期	○再生 前～始				○	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 浅植え、植え付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(関東・東海)
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(九州)

A-1 126

SYJ-222-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
北海道																
東北		○4	○	○4	○3	○4	○3	●始～ 草丈10 cm密	●始～ 矢じり 葉1L密	○発生 期	○再生 前～始	ノビエ草丈10cm	+7～ノビエ4L	1kg	○	○
北陸		○4	○	○3		○3	○2	●始～ 草丈10 cm密	●生育 期(矢じり 葉1Lま で)	○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海		○4	○	○3		○3	○3	●始～ 草丈10 cm密	●生育 期(矢じり 葉1Lま で)	○発生 期	○再生 前～始	ノビエ草丈10cm			○	○
近・中・四 (第)	実・継	○4	○	○4		○4	○4	●始～ 草丈10 cm密	●始～ 矢じり 葉1L密	○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州		○4	○	○4		○4	○4	●始～ 草丈10 cm密	●始～ 矢じり 葉1L密	○発生 期	○再生 前～始	ノビエ草丈10cm			○	○

※: オモダカ・クログワイ防除は、有効薬剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(近・中・四、九州)
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(東北～近・中・四)
クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(九州)

A-1 127

SYJ-223 シンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
北海道	実・継	○3	○	○2	○3		○2			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ3L	40g×10 ³		○
東北		○3	○	○3	○2	○3	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸	実・継	○3	○	○2, 3		○2	○始2			○発生 期	○再生 前～始				●	○
関東・東海		○3	○	○3		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○
近・中・四 (第)	実・継	○3	○	○3		○3	○2			○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			○	○
九州	実・継	○3	○	○3		○3	○3			○発生 期	○再生 前～始				●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

A-1 128
SYJ-223-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ツリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 堆土
北海道	実・継	○3	○	○2	○3		○2			○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ3L	1kg	●	○
東北	実・継	○3	○	○3	○2	○3	○始			○発生 期	○再生 前～始				●	○
北陸		○3	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海		○3	○	○3		○2	○始			○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○
近・中・四	実・継	○3	○	○3		○3	○3			○発生 期	○再生 前～始	▲前 (藻類)				○
九州	実・継	○3	○	○3		○3	○2			○発生 期	○再生 前～始				●	○

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 129
TH-501 ジェル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ツリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 堆土
北海道		○3	○	○3	○3		○2			○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ3L	40g×10	○	○
東北	実・継	○3	○	○2	○2	○2	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	シバノ草太3cm			○	○
北陸	実・継	○3	○	○2		○始	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前			○*	○
関東・東海		○3	○	○2		○2	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前	コキヤガラ始		○	○
近・中・四		○3	○	○3		○3	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前	コキヤガラ始		○	○
九州		○3	○	○3		○3	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前	コキヤガラ始		○	○

※: オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *; 浅植え、植付け精度不良等で葉害を生じることがある。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な葉害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 131
TH-547(Z) ジェル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	ツリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 堆土
北海道		○3	○	○2	○2		○2		○始	○発生 期	○再生 前～始	コキヤガラ始	+5～ノビエ3L	40g×10	○	○
東北		○3	○	○2	○2	○2	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	シバノ草太3cm			○	○
北陸		○3	○	○2		○始	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海		○3	○	○3		○2	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	コキヤガラ始			○	○
近・中・四	実・継	○3	○	○3		○3	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州		○3	○	○2		○2	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	コキヤガラ始			○	○

※: オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な葉害や効果不足が生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 132

TH-547(Z) フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツ	ウツカ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 土
北海道		○3	○	○3	○3		○2		○始※	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ3L	500ml	○	○
東北	実・継	○3	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	シズク草丈3cm ツキヤダヲ:始				
北陸		○3	○	○2		○始	○始	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始					
関東・東海	実・継	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	ツキヤダヲ:始				
近・中・四	実・継	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類) ツキヤダヲ:始				
九州		○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	ツキヤダヲ:始				

本口処理可能

※:オモダカ・クロダワイ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズギヤツには効果が劣る。

オモダカ・クロダワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 133

TH-601 ジャンボ

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツ	ウツカ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 土
北海道	実・継	○2.5	○	○2	○2		○2			○発生 期	○再生 前～始		+0～ノビエ2.5L	20g×10=	○	○
東北		○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○前～ 始※	○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始	シズク草丈3cm				
北陸		○2.5	○	○2		○始	○始	○始※	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前				
関東・東海		○2.5	○	○2		○2	○2	○前～ 始※	○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始	ツキヤダヲ:始				
近・中・四		○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始	○前				
九州		○2.5	○	○2		○2	○2	●前～ 始※	●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始	ツキヤダヲ:始				

※:オモダカ・クロダワイ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

5cm程度の水深で散布する。

散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズギヤツには効果が劣る。

オモダカ・クロダワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 134

TH-601 フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズギヤ ツ	ウツカ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 土
北海道		○2.5	○	○2	○2		○始		○始	○発生 期	○再生 前～始	シズク草丈3cm ツキヤダヲ:始	+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	実・継	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	シズク草丈3cm				
北陸		○2.5	○	○2		○2	○始	○始	○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前				
関東・東海	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	ツキヤダヲ:始				
近・中・四		○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前				
九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前 ツキヤダヲ:始				

田植同時散布可能

本口処理可能

※:オモダカ・クロダワイ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズギヤツには効果が劣る。

オモダカ・クロダワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 135
BCH-052 フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離	処理時期	使用量/10a	砂壌土	壤土～植土
北海道		○3	○	○2	○2		○2		○始	○発生期	○再生前～始	エゾノヤブタマシ(2L) ミズガヤツリ(2L) SU抵抗性ホタルイ(2L)	+5～ノビエ3L	500ml	○	○
東北		○3	○	○2	○2	○2	○2	○始※	○始※	○発生期	○再生前～始	ノビエ草太3cm			○	○
北陸	実・継	○3	○	○2		○2	○2	○始	○始※	○発生期	○再生前～始				○*	○
関東・東海		○3	○	○3		○2	○2	○始※	○前～始※	○発生期	○再生前～始	※オモダカ2始			○**	○
近・中・四		○3	○	○3		○2	○2	○始	○始※	○発生期	○再生前～始				○*	○
九州		○3	○	○3		○3	○3	○始	○始※	○発生期	○再生前～始	※オモダカ2始			○	○

水口処理可能

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

**:
*:浅植え、植付け精度不良等で被害を生じることがある。

葉液が付着した稲体には白化症状が生じることがある。

セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

ユウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2 体系処理(初期)

A-2 1
BAH-1103-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離	処理時期	使用量/10a	砂壌土	壤土～植土
北海道	実・継	●1	●	●始	●始		●始						+0～ノビエ1L	1kg		●
東北	実・継	●1	●	●始	●始	●始	●前								●	●
北陸	実・継	●1	●	●始		●始	●始								●	●
関東・東海	実・継	●1	●	●始		●始	●始			●前						●
近・中・四	実・継	●1	●	●始		●始	●始			●前						●
九州	実・継	●1	●	●始		●始	●始									●

田植同時散布可能

SU抵抗性雑草は対象としない。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

A-2 2
HOK-0901 フロアブル

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガヤツリ	ウリカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離	処理時期	使用量/10a	砂壌土	壤土～植土
北海道	実・継	○1	○	○始									+0～ノビエ1L	500ml	●	○
東北		○1	○	○始									植代後～4～7, +0～ノビエ1L		○	○
北陸	実・継	○1	○	○始											○	○
関東・東海		○1	○	○前											○	○
近・中・四	実・継	○1	○	○始												○
九州	実・継	○1	○	○始									植代後～4～7, +0～ノビエ1L(砂壌土は+0～)		●	○

水口処理可能

田植同時散布可能

一発処理剤型除草剤の前処理剤として使用する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

深水条件では被害を生じることがある。

A-2 3

HOR-0901-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 植土
北海道	実・継	○1	○	○始									+0～ノビエ1L	1kg	●	○
東北		○1	○	○始									植代後～+4.7, +0～ ノビエ1L		○	○
北陸		○1	○	○始											○	○
関東・東海		○1	○	○前											○	○
近・中・四	実・継	○1	○	○始											○	
九州	実・継	○1	○	○始									植代後～+4.7, +0～ノビ エ1L(砂壤土は+0～)		●	○

田植同時散布可能
一発処理型除草剤の前処理剤として使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 深水条件では薬害を生じることがある。

A-2 4

KH-183 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 植土
北海道		○1.5	○	○始	○始							○始	+3～ノビエ1.5L	3kg	○	○
東北		○1.5	○	○始	○前							○始			○	○
北陸		○1.5	○	○始	○前							○始			○	○
関東・東海	実・継	○1.5	○	○始								○始	+0.3～ノビエ1.5L (至遅および砂壤土は+3 ～)		○	○
近・中・四		○1.5	○	○始								○始	+3～ノビエ1.5L		○	○
九州		○1.5	○	○始								○始			○	○

田植同時散布確認(関東・東海)
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2 5

KH-183 粒(少量散布)

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 植土
北海道	実・継	○1	○	○始	○始							○始	+0.3～ノビエ1L	2kg		○
東北	実・継	○1	○	○始								○始				○
北陸	実・継	○1	○	○始								○始				○
関東・東海																
近・中・四																
九州																

一発処理型除草剤の前処理剤として少量散布(2kg/10a)が可能。(北海道～北陸)
田植同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

A-2 8

MAT-159 ジャンボ(少量散布)

地域名	地域判定	/ピエ	一年生 広葉・ マフハイ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	クワカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
北海道	実・継	●1	●	●始									+1～ノビエ1L	50g×5コ	●	●
東北	実・継	●前	●	●前									植代後～7		●	●
北陸	実・継	●1	●	●始	●始								植代後～7, +1～ノ ビエ1L		●	●
関東・東海																
近・中・四																
九州																

一発処理型除草剤の前処理剤として少量散布(50g×5個/10a)が可能。(北海道～北陸)
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
 散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。

A-2 9

SB-531 フロアム(少量散布)

地域名	地域判定	/ピエ	一年生 広葉・ マフハイ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	クワカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
北海道		○1.5	○	○始	○始								+0～ノビエ1.5L	300ml	○	○
東北	実・継	○1.5	○	○始	○始	○始							植代後～+2, +0～ノ ビエ1.5L(400mlは+0～)		○	○
北陸		○1.5	○	○始	○始								植代後～+2, +0～ノ ビエ1.5L		○	○
関東・東海		○1.5	○	○始	○始										○	○
近・中・四		○1.5	○	○始	○始										○	○
九州	実・継	○1.5	○	○始	○始								植代後～7, +0～ノ ビエ1.5L		○	○

田植同時散布可能
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意:

A-2 10

YH-650 フロアム

地域名	地域判定	/ピエ	一年生 広葉・ マフハイ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	クワカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
北海道		○1.5	○	○始	○始		○始	○前～ 始	○発生 期				+0～ノビエ1.5L	500ml	○	○
東北	実・継	○1.5	○	○始	○始		○前	○始	○発生 期			ヨキガヤ:前	植代後～+2, +0～ノ ビエ1.5L		○	○
北陸		○1.5	○	○始			○始	○前	○発生 期						○	○
関東・東海		○1.5	○	○始			○始	○前※	○発生 期			SU抵抗性ホタルイ始 ヨキガヤ:前			○	○
近・中・四	実・継	○1.5	○	○始			○始	○前	○発生 期						○	○
九州		○1.5	○	○始			○始	○前※	○発生 期			ヨキガヤ:前			○	○

田植同時散布可能
 水口処理可能
 ※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な後処理剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: SU抵抗性ホタルイ防除は、有効な剤との組み合わせで使用する。
 オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸、関・東・近・中・四、九州)
 オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北)
 オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道)
 クワグワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 体系処理(中・後期)

A-3 2

DASHI-001 SC

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウツカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土	
北海道	実・雑	○5	○	○花茎 抽出始	○5		○4		●草丈 30cm迄	○生育 期	○生育 期		ノビエ3～5L	+25～+40(イネ6L以 降、ノビエ5Lまで)	100m ² (散布 積層70～ 100L)	○	○
東北	実・雑	○5	○	○花茎 抽出始	○4	○4	○4	○草丈 20cm迄	○草丈 30cm迄	○生育 期	○生育 期		ノビエ生育期(草丈 20cm以下)	+20+25～+40(イネ 5L6L以降、ノビエ5Lま で)		○	○
北陸		○5	○	○花茎 抽出始		○4	○5	○草丈 30cm迄	○草丈 30cm迄	○生育 期	○生育 期			+20～+40(イネ6L以 降、ノビエ5Lまで)		○	○
関東・東海	実・雑	○5	○	○花茎 抽出始		○5	○5	○草丈 30cm迄	○草丈 30cm迄	○生育 期	○生育 期		ツキヤガラ生育期(草丈 20cm以下)	+20～+40(イネ5L以 降、ノビエ5Lまで)		○	○
近・中・四		○5	○	○花茎 抽出始		○5	○5	○草丈 30cm迄	○草丈 30cm迄		○生育 期		ツキヤガラ生育期(草丈 20cm以下)			○	○
九州	実・雑	○5	○	○花茎 抽出始		○6	○6	○生育 期(草丈 30cm以 下)迄		○生育 期	○生育 期		ツキヤガラ生育期(草丈 20cm以下)			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組合せで使用する。
落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。
オモダカ防除は有効剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 3

HOK-0721 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生広葉・マツハバ	ホタルイ	ヘラオモダカ	ミズガイツリ	ウツカワ	クログワイ	オモダカ	ヒルムシロ	セリ	藻類・表層剥離	処理時期	使用量/10a	砂壌土	壤土・埴土	
北海道																	
東北	実・雑	○5	○	○5	○5	○5	○4	○生育期(草丈20cm以下)迄	○生育期(矢じり葉1Lまで)	○生育期			ノビエ生育期(草丈20cm以下)	+20～+40(イネ5L以降、ノビエ5Lまで)	3kg	○	○
北陸		○5	○	○5		○5	○4	○生育期(草丈20cm以下)	○生育期(矢じり葉1Lまで)	○生育期						○	○
関東・東海		○5	○	○5		○5	○5		○矢じり葉抽出前～矢じり葉1L迄	○生育期						○	○
近・中・四	実・雑	○5	○	○5		○5	○4	○生育期(草丈20cm以下)迄	○矢じり葉抽出前～矢じり葉1L迄	○生育期						○	○
九州		○5	○	○5		○5	○5	○生育期(草丈30cm以下)迄	○矢じり葉抽出前～矢じり葉1L迄	○生育期						○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意:

前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されないとき効果が低下することがある。
オモダカ・クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 4

HOK-0802-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ネタリイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウツカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	埴土 ～ 埴土	
北海道																	
東北	実・雑	○3.5	○	○3	○3	○3	○3		○生育 期(矢じ り葉1Lま で)迄	○発生 期		○始	+15～+35(イネ5L以 降、ノビエ3.5Lまで)	1kg	○	○	
北陸		○3.5	○	○3		○3	○2	○始～ 草丈10 cm	○生育 期(矢じ り葉1Lま で)迄	○発生 期	○再生 前～始	○始				○	○
関東・東海		○3.5	○	○3		○2	○3		○生育 期(矢じ り葉1Lま で)迄	○生育 期						○	○
近・中・四	実・雑	○3.5	○	○3		○3	○3	○始～ 草丈10 cm	○生育 期(矢じ り葉1Lま で)迄	○発生 期		○始				○	○
九州																	

※:オモダカ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
著しい高温条件では薬害を生じることがある。
散布後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。
オモダカ・クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 8
KUH-104-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガキ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道									○生育 期(矢じ り葉3L まで)				+20～+40(イネ5L以 降)	1kg	○	○
東北								○生育 期(草丈 30cm以 下)※	○生育 期(矢じ り葉3L まで)※			シズメ生育期(草丈 30cm以下)			○	○
北陸	実・継							○生育 期(草丈 30cm以 下)※	○生育 期(矢じ り葉3L まで)				+25～+45(イネ5L以 降)		●	○
関東・東海	実・継							○生育 期(草丈 30cm以 下)※	○生育 期(矢じ り葉3L まで)			ツキヤガラ生育期(草丈 30cm以下)	+20～+30(イネ 5L以降)		●	○
近・中・四 (※)	実・継							○生育 期(草丈 30cm以 下)※	○生育 期(矢じ り葉3L まで)			ツキヤガラ生育期(草丈 30cm以下)	+20～+40(イネ5L以 降)		○	○
九州 (※)	実・継							○生育 期(草丈 30cm以 下)※	○生育 期(矢じ り葉3L まで)			ツキヤガラ生育期(草丈 30cm以下)			○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
*:早期を除く。

A-3 10
KUH-983-0.25kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガキ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道	実・継	○4											+15～+35(ノビエ4L まで)	250g	●	○
東北		○4													○	○
北陸		○4													○	○
関東・東海		○4													○	○
近・中・四		○4													○	○
九州		○4													○	○

湛水周縁部散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
湛水周縁部散布では藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な葉害や効果不足を生じることがある。

A-3 11
MIH-104-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガキ ツリ	ウツカ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道	実・継	○4	○	○4	○4		○3		●生育 期(矢じ り葉3L まで)	○生育 期	○生育 期		+20～ノビエ4L(幼穂 形成期まで、砂壌土は ノビエ3.5L)	1kg	●	○
東北	実・継	○4	○	○4	○3	○4	○3	●生育 期(草丈 30cm以 下)※	●生育 期(矢じ り葉1L まで)	○発生 期	○再生 前～始		+14+20～ノビエ4L(幼 穂形成期まで、砂壌土 は+20～)		○	○
北陸	実・継	●4	●	●1	●3	●2		●生育 期(草丈 30cm以 下)※	●生育 期(矢じ り葉3L まで)	●発生 期			+20～ノビエ4L(幼穂 形成期まで)			●
関東・東海	実・継	○4	○	○3		○4	○4	●生育 期(草丈 30cm以 下)※	●生育 期(矢じ り葉3L まで)	○発生 期	○再生 前～始		+14+20～ノビエ4L(幼 穂形成期まで)		○	○
近・中・四 (※)	実・継	○3.5	○	○4		○4	○4	●生育 期(草丈 30cm以 下)※	●生育 期(矢じ り葉3L まで)	○発生 期	○再生 前～始		+14+20～ノビエ 3.5L(幼穂形成期ま で)		●	○
九州		○3.5	○	○4		○4	○4			○発生 期	○再生 期		+20～ノビエ3.5L(幼穂 形成期まで)			○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 12
NC-621-1kg粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タガ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモタカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道																
東北	実・産	●3	●	●2	●2	●3	●2	●始	●始	●発生 期	●再生 前～始		+15～+30(ノビエ3L まで)	1kg	●	●
北陸	実・産	●3	●	●3		●2	●2	●前	●始	●発生 期	●再生 前～始				●	●
関東・東海	実・産	●3	●	●3		●3	●2	●始	●始	●発生 期	●再生 前～始				●*	●
近・中・四	実・産	●3	●	●3		●3	●2	●始	●始	●発生 期	●再生 前～始				●	●
九州	実・産	●3	●	●3		●3	●3	●始	●始	●発生 期	●再生 前～始				●	●

※:オモタカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
 田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
 オモタカ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
 クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸、近・中・四、九州)

A-3 13
NC-632 シャンボ

注:平成24年度 A-1判定結果を反映させた。

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タガ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモタカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道																
東北	実・産	●3	●	●3	●2	●3	●2			●発生 期	●再生 前～始		+15～+30(ノビエ3L まで)	40g×10コ	●	●
北陸	実・産	●3	●	●2		●2	●始			●発生 期	●再生 前～始				●	●
関東・東海	実・産	●3	●	●3		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始	●前			●	●
近・中・四	実・産	●3	●	●3		●3	●3			●発生 期	●再生 前～始	▲前 (藻類)			●	●
九州	実・産	●3	●	●2		●3	●2			●発生 期	●再生 前～始				●	

減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
 5cm程度の水深で散布する。
 散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な葉害や効果不足を生じることがある。
 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-3 14
NC-632-1kg粒

注:平成24年度 A-1判定結果を反映させた。

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タガ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモタカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道																
東北	実・産	●3	●	●3	●2	●3	●始			●発生 期	●再生 前～始		+15～+30(ノビエ3L まで)	1kg	●	●
北陸	実・産	●3	●	●3		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始				●	●
関東・東海	実・産	●3	●	●3		●3	●2			●発生 期	●再生 前～始	▲前 (藻類)				●
近・中・四	実・産	●3	●	●3		●3	●3			●発生 期	●再生 前～始	▲前 (藻類)				●
九州	実・産	●3	●	●3		●3	●3			●発生 期	●再生 前～始				●	

減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-3 15
NH-1101-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ネタリイ	ヘラオモ タカ	ミズギヤ ツリ	ウリカワ	クロ タワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 埴土
北海道	継															
東北	実・継	●4	●	●3	●4	●3	●2	●生育 期(草丈 20cm以 下)※	●発生 期 ●発生盛 期～矢じ り葉抽出 期(草丈 20cm以 下)※				+15～+35(ノビエ4L まで)	1kg	●	●
北陸	実・継	●4	●	●2		●2	●2	●生育 期(草丈 20cm以 下)	●発生盛 期～矢じ り葉抽出 期(草丈 20cm以 下)							●
関東・東海	実・継	●4	●	●3		●3	●3		●発生盛 期～矢じ り葉抽出 期(草丈 30cm以 下)※	●発生 期						●
近・中・四	実・継	●4	●	●4		●4	●3	●生育 期(草丈 20cm以 下)	●発生盛 期～矢じ り葉抽出 期(草丈 30cm以 下)	●発生 期						●
九州	実・継	●4	●	●4		●4	●5			●発生 期	●再生 期～始					●

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 17
SL-0701 ジャンボ

注:平成24年度 A-1判定結果を反映させた。

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ネタリイ	ヘラオモ タカ	ミズギヤ ツリ	ウリカワ	クロ タワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 埴土
北海道																
東北	実・継	●4	●	●3	●4	●3	●3		●発生 期	●再生 期～始			+14～+35(ノビエ4L まで)	50g×10×	●	●
北陸	実・継	●3	●	●3		●2	●始		●発生 期	●再生 期～始			+14～+35(ノビエ3L まで)			●
関東・東海	実・継	●3	●	●3		●2	●2		●発生 期	●再生 期～始					●	●
近・中・四	実・継	●3	●	●3		●2	●2		●発生 期	●再生 期～始	▲前 (藻類)				●	●
九州																

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
5cm程度の水深で散布する。
散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと部分的な薬害や効果不足を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

A-3 18
SW-063-1kg 粒

地域名	地域判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ネタリイ	ヘラオモ タカ	ミズギヤ ツリ	ウリカワ	クロ タワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 埴土
北海道		○5	○	○3	○4		○4		○* ※	○発生 期			+25～+40(イネ4L以 降、ノビエ5Lまで)	1kg	○	○
東北	実・継	○5	○	○花茎 抽出始	○4	○5	○2	○草丈 15cm	○* ※	○発生 期			+20+25～+40(イネ4L以 降、ノビエ5Lまで)		○	○
北陸	実・継	○5	○	○5		○4	○3	○草丈 30cm	○* ※	○生育 期	○生育 期		+20～+40(イネ4L以 降、ノビエ5Lまで)		○	○
関東・東海		○5	○	○5		○4	○4	○草丈 20cm	○* ※	○生育 期	○生育 期				○	○
近・中・四	実・継	○5	○	○5		○3	○4	○草丈 30cm	○* ※	○生育 期					○	○
九州	実・継	○5	○	○5		○5	○6	○草丈 30cm※	○* ※	○生育 期		○生育 期(草丈 15cm以下)	+15+20～+40(イネ4L以 降、ノビエ5Lまで、草類は +20(イネ5L以降))		○	○

*:発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。
コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 19
SW-064-1kg 粒

地域名	地域判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ フリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道																
東北																
北陸																
関東・東海	寒・湿	●	●2		●2	●2			●始～ 矢じり葉 抽出前	●発生 期			+15～+40(ホタルイ 2Lまで)	1kg		●
近・中・四	寒・湿	●	●2		●2	●始			●始～ 矢じり葉 抽出前	●発生 期						●
九州																

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
 オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 20
TH-547(Z)-1kg 粒

地域名	地域判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ フリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道	寒・湿	●3	●	●3	●3		●2		●始※	●発生 期	●再生 前～始	エブノササダグサ:2L	+20～+40(ハビエ3L まで)	1kg	●	●
東北	寒・湿	●3	●	●3	●3	●始	●始※	●始※	●発生 期	●発生 期	●再生 前～始	ツキヤガラ:始 シズ右草丈3cm			●	●
北陸	寒・湿	●3	●	●2		●3	●始	●始※	●始※	●発生 期	●再生 前～始				●	●
関東・東海	寒・湿	●3	●	●3		●3	●2	●始※	●始※	●発生 期	●再生 前～始	ツキヤガラ:始			●	●
近・中・四	寒・湿	●3	●	●3		●2	●2	●始※	●始※	●発生 期	●再生 前～始	ツキヤガラ:始			●	●
九州	寒・湿	●3	●	●2		●2	●2	●始※	●始※	●発生 期	●再生 前～始	ツキヤガラ:始			●	●

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
 散布後の暑い・多雨条件により除草効果が低下することがある。
 オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(エゾノサヤヌカグサ)

A-4 エゾノサヤヌカグサ 3

MH-102(H)フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	寒・湿	●	始	500ml
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意:				

A-4 エゾノサヤヌカグサ 4

NH-1001(H)フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	寒・湿	●	2L	500ml
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意:				

A-4 エゾノサヤヌカグサ 5

NH-1001(H)-1kg 粒

地域名		地域判定	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道		寒・湿	●	2L	1kg
東北					
北陸					
関東・東海					
近・中・四					
九州					
使用上の注意:					

A-4 エゾノサヤヌカグサ 7

S-9058 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	寒・湿	●	2L	40g×10 ²
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意:				

A-4 エゾノサヤヌカグサ 8

S-9058 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	寒・湿	●	始	500ml
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意:				

A-4 エゾノサヤヌカグサ 9

S-9058-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	寒・湿	●	2L	1kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意:				

A-4 エゾノサヤヌカグサ 10

S-9421 シンボ

地域名	地域判定	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・茎	●	2L	20g×10 ²
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 エゾノサヤヌカグサ 11

S-9421 フロアフル

地域名	地域判定	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・茎	●	2L	500ml
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 エゾノサヤヌカグサ 12

S-9421-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・茎	●	2L	1kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 エゾノサヤヌカグサ 15

TH-601 フロアフル

地域名	地域判定	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・茎	●	2L	500ml
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 エゾノサヤヌカグサ 16

TH-601-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: エゾノサヤヌカグサ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・茎	●	2L	1kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 特殊雑草対象(オモダカ)

A-4 オモダカ 5

BCH-105H-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸					
関東・東海					
近・中・四					
九州					

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 6

BCH-105L-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北					
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	実・継	●	前～始	※	
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	実・継	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 7

DASH-001 SC

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・継	●	草丈30cm以下		100m(散布液量100L)
東北		○	草丈30cm以下	※	
北陸		○	草丈30cm以下		
関東・東海		○	草丈30cm以下	※	
近・中・四		○	草丈30cm以下		
九州					

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な剤との組み合わせで使用する。

落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。

A-4 オモダカ 8

HOK-0301 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道		○	始	※	500ml
東北		○	前～始	※	
北陸	継				
関東・東海		○	前～始	※	
近・中・四		○	前～始	※	
九州		○	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 10

HOK-0801(L) フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					500ml
東北					
北陸	実・継	●	始		
関東・東海		○	前～始	※	
近・中・四		○	始		
九州					

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 11

HOK-0801(L)-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北					
北陸	実・継	●	始		
関東・東海		○	前～始	※	
近・中・四		○	始		
九州	実・継	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 12

HOK-0801S-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)*	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北					
北陸	実・穂	●	始		
関東・東海	実・穂	●	前	※	
近・中・四	実・穂	●	前～始		
九州	穂				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 15

HOK-1002-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	始		1kg
東北	穂				
北陸					
関東・東海					
近・中・四					
九州					

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 18

HOK-1002(L)-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北					
北陸	実・穂	●	始		
関東・東海	実・穂	●	始	※	
近・中・四	実・穂	●	前～始		
九州	穂				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 21

KPP-505-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	(実・穂)	(●)	(前～始)		1kg
東北					
北陸	実・穂	●	前～始		
関東・東海					
近・中・四	実・穂	●	前～始		
九州					

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 22

KUH-074-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道		○	前～始		1kg
東北		○	前～始	※	
北陸		○	前～始		
関東・東海		○	始		
近・中・四		○	前～始		
九州	実・穂	●	前～始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 23

KUH-091-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	前～始		1kg
東北	実・穂	●	前～始	※	
北陸					
関東・東海					
近・中・四					
九州					

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 26

KUH-101-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	寒・継	●	前～始		1kg
東北	継				
北陸	寒・継	●	前～始		
関東・東海	寒・継	●	前～始	※	
近・中・四	寒・継	●	前～始		
九州	継				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海、近・中・四)
 オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道、北陸)

A-4 オモダカ 29

KUH-103-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	継				1kg
東北	寒・継	●	始	※	
北陸	継				
関東・東海	継				
近・中・四					
九州	継				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 32

MIH-101-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	寒・継	●	前～始	※	
北陸	寒・継	●	前～始		
関東・東海	寒・継	●	始		
近・中・四	寒・継	●	前～始		
九州	寒・継	●	前～始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 34

MIH-102 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					500ml
東北	継				
北陸	寒・継	●	前～始		
関東・東海	寒・継	●	前	※	
近・中・四	寒・継	●	前～始		
九州	継				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 35

MIH-102(H) フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	寒・継	●	前～始		500ml
東北					
北陸					
関東・東海					
近・中・四					
九州					

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 36

MIH-103 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					50g×10 ³
東北	寒・継	●	前～始		
北陸					
関東・東海	寒・継	●	前～始	※	
近・中・四	寒・継	●	前～始		
九州					

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 37

MH-104-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	生育期(矢じり葉3Lまで)		1kg
東北	実・穂	●	生育期(矢じり葉1Lまで)		
北陸	実・穂	●	生育期(矢じり葉3Lまで)		
関東・東海	実・穂	●	生育期(矢じり葉3Lまで)	※	
近・中・四	実・穂	●	生育期(矢じり葉3Lまで)		
九州	穂				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 38

NC-626 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	前～始		30g×10 ³
東北	穂				
北陸	実・穂	●	前～始		
関東・東海	実・穂	●	始	※	
近・中・四	実・穂	●	前～始		
九州	穂				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 39

NC-626-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道		○	前～始		1kg
東北		○	前～始	※	
北陸		○	始		
関東・東海	実・穂	●	前～始		
近・中・四		○	始		
九州	実・穂	●	前～始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 40

NC-627 顆粒水和

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	前～始		80g(散布液量500ml)
東北	実・穂	●	前～始	※	
北陸	実・穂	●	前～始		
関東・東海	実・穂	●	前～始	※	
近・中・四	実・穂	●	前～始		
九州					

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 41

NC-627-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道		○	始	※	1kg
東北		○	始	※	
北陸		○	始	※	
関東・東海		○	始	※	
近・中・四		○	始	※	
九州	実・穂	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 42

NC-629 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					40g×10 ³
東北	実・穂	●	前～始	※	
北陸	穂				
関東・東海	穂				
近・中・四	実・穂	●	前～始		
九州	穂				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 43

NC-629 プロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					500ml
東北	継				
北陸	実・継	●	始		
関東・東海	継				
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	継				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 44

NC-629-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	継				
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	継				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 45

NC-631 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・継	●	始		30g×10 ²
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	継				
関東・東海	実・継	●	前～始	※	
近・中・四	実・継	●	前		
九州	継				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 46

NC-631 顆粒水和

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・継	●	前～始		80g(散布液量500ml)
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	実・継	●	前～始	※	
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	継				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 47

NC-631-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	(実・継)	(●)	(前～始)		1kg
東北	継				
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	実・継	●	前～始	※	
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	継				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 48

NC-632 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					40g×10 ²
東北	継				
北陸	実・継	●	始～矢じり葉3L		
関東・東海	実・継	●	前～矢じり葉3L	※	
近・中・四	実・継	●	前～矢じり葉3L		
九州	継				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 49

NC-632-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・穂	●	前～矢じり葉3L	※	
北陸	実・穂	●	前～矢じり葉3L		
関東・東海	実・穂	●	前～矢じり葉3L	※	
近・中・四	実・穂	●	前～始		
九州	穂				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 50

NH-061 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					25g×10回
東北	実・穂	●	前～始	※	
北陸					
関東・東海					
近・中・四	実・穂	●	前～始		
九州					

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 51

NH-061-0.25kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					250g
東北	実・穂	●	前～始	※	
北陸					
関東・東海					
近・中・四					
九州					

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 52

NH-1001(H) プロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					500ml
東北	実・穂	●	前～始	※	
北陸					
関東・東海					
近・中・四					
九州					

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 53

NH-1001(H)-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・穂	●	前～始	※	
北陸					
関東・東海					
近・中・四					
九州					

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 54

NH-1101-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	穂				1kg
東北	実・穂	●	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈20cm以下)	※	
北陸	実・穂	●	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)		
関東・東海	実・穂	●	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)	※	
近・中・四	実・穂	●	発生盛期～矢じり葉抽出期(草丈30cm以下)		
九州	穂				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 55

NH-596 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	前～始		500ml
東北	実・穂	○	前～始	※	
北陸	実・穂	●	始		
関東・東海	実・穂	●	前～始	※	
近・中・四					
九州					

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北、関東・東海)
 オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道)
 オモダカ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(北陸)

A-4 オモダカ 56

NH-596-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	始		1kg
東北	実・穂	●	前～始	※	
北陸	実・穂	●	前～始		
関東・東海	実・穂	●	前～始	※	
近・中・四					
九州					

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道)
 オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(東北、北陸、関東・東海)

A-4 オモダカ 57

S-9058 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	前～始	※	40g×10 ²
東北	実・穂	●	前～始	※	
北陸	実・穂	●	前～始	※	
関東・東海	実・穂	●	前～始	※	
近・中・四	実・穂	●	前～始	※	
九州	実・穂	●	前～始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 58

S-9058 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	前～始	※	500ml
東北	実・穂	●	前～始	※	
北陸	実・穂	●	前～始	※	
関東・東海	実・穂	●	前～始	※	
近・中・四	実・穂	●	前～始	※	
九州	実・穂	●	前～始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 59

S-9058-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	前～始	※	1kg
東北	実・穂	●	前～始	※	
北陸	実・穂	●	前～始	※	
関東・東海	実・穂	●	前～始	※	
近・中・四	実・穂	●	前～始	※	
九州	実・穂	●	前～始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 60

S-9102 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					3kg
東北					
北陸					
関東・東海	穂				
近・中・四	実・穂	●	前～始		
九州	実・穂	●	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 61

S-9421 シンボ

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・雄	●	前～始	※	20g×10 ³
東北	実・雄	●	前～始	※	
北陸	実・雄	●	前～始	※	
関東・東海	実・雄	●	前～始	※	
近・中・四	実・雄	●	前～始	※	
九州	実・雄	●	前～始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 62

S-9421 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道		○	前～始		500ml
東北		○	前～始	※	
北陸		○	始		
関東・東海		○	始		
近・中・四		○	前～始		
九州	実・雄	●	前～始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 63

S-9421-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・雄	○	前～始		1kg
東北	実・雄	○	前～始	※	
北陸	実・雄	○	始		
関東・東海	実・雄	○	始		
近・中・四	実・雄	○	前～始		
九州	実・雄	●	前～始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 64

SL-0701 シンボ

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					50g×10 ³
東北	実・雄	●	生育期(矢じり葉抽出前)	※	
北陸	実・雄	●	生育期(矢じり葉抽出前)		
関東・東海	実・雄	●	生育期(矢じり葉抽出前)	※	
近・中・四	実・雄	●	生育期(矢じり葉抽出前)		
九州	雄				

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 66

SW-064-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北					
北陸	(実・雄)	(●)	(始～矢じり葉抽出前)		
関東・東海	実・雄	●	始～矢じり葉抽出前	※	
近・中・四	実・雄	●	始～矢じり葉抽出前		
九州					

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 67

SW-091-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・雄	●	前～始	※	
北陸	実・雄	●	前		
関東・東海	雄				
近・中・四	実・雄	●	前～始		
九州	実・雄	●	前～始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 69

SYJ-222-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・籾	●	始～矢じり葉1L	※	
北陸	実・籾	●	生育期(矢じり葉1Lまで)	※	
関東・東海	実・籾	●	生育期(矢じり葉1Lまで)	※	
近・中・四	実・籾	●	始～矢じり葉1L	※	
九州	実・籾	●	始～矢じり葉1L	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(東北～近・中・四)

A-4 オモダカ 71

TH-547(Z)-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道	実・籾	○	始	※	1kg
東北	実・籾	○	始	※	
北陸	実・籾	○	始	※	
関東・東海	実・籾	○	始	※	
近・中・四	実・籾	○	始	※	
九州	実・籾	○	始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 オモダカ 72

TH-601 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: オモダカ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					20g×10 ²
東北		○	前～始		
北陸		○	始		
関東・東海		○	前～始		
近・中・四		○	前～始		
九州	実・籾	●	前～始	※	

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(クサネム)

A-4 クサネム 1

NC-627-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クサネム	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	実・穂	●	本葉1L	
北陸				
関東・東海	実・穂	●	本葉2L	
近・中・四				
九州				

使用上の注意: クサネムが残草または後発生した場合は有効な後処理剤を散布する。

A-4 特殊雑草対象(クログワイ)

A-4 クログワイ 4

BCI-085L-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北					
北陸		○	前～始		
関東・東海		○	前～始	※	
近・中・四		○	始		
九州	実・穂	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-4 クログワイ 6

BCH-105H-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・穂	●	前～始	※	
北陸					
関東・東海					
近・中・四					
九州					

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-4 クログワイ 7

BCH-105L-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北					
北陸	実・穂	●	前～始		
関東・東海	穂				
近・中・四	実・穂	●	前～始		
九州	穂				

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-4 クログワイ 9

HOK-0721 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					3kg
東北		○	生育期(草丈20cm以下)	※	
北陸		○	生育期(草丈20cm以下)		
関東・東海	穂				
近・中・四		○	生育期(草丈20cm以下)		
九州		○	生育期(草丈30cm以下)	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-4 クログワイ 10

HOK-0801(L) フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					500ml
東北					
北陸		○	前～始		
関東・東海		○	前～始	※	
近・中・四		○	前～始		
九州	実・継	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 11

HOK-0801(L)-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北					
北陸		○	前～始		
関東・東海		○	始	※	
近・中・四		○	前～始		
九州	実・継	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 12

HOK-0801S-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北					
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	継				
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	実・継	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 15

HOK-1002-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸					
関東・東海					
近・中・四					
九州					

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 18

HOK-1002(L)-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北					
北陸	継				
関東・東海	継				
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	実・継	●	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 21

KPP-505-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	実・継	●	前～始	※	
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	継				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 22

KUH-072D-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北					
北陸		○	前～始		
関東・東海		○	前～始	※	
近・中・四		○	前～始		
九州	実・継	●	前～始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-4 クログワイ 23

KUH-091-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸					
関東・東海	実・継	●	始		
近・中・四					
九州					

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。(関東・東海)
クログワイ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用。(東北)

A-4 クログワイ 26

KUH-101-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	実・継	●	始		
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	実・継	●	前～始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。(関東・東海)
クログワイ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用。(東北、北陸、近・中・四、九州)

A-4 クログワイ 29

KUH-103-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	継				
関東・東海	継				
近・中・四	継				
九州	継				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-4 クログワイ 32

MH-101-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	実・継	●	前～始		
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	実・継	●	前～始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-4 クログワイ 33

MH-102 700g プル

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					500ml
東北	継				
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	実・継	●	前～始	※	
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	継				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-4 クログワイ 34

MH-103 ジェンボ

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					50g×10 ²
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸					
関東・東海	実・継	●	前～始	※	
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州					

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 35

MH-104-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	生育期(草丈30cm以下)	※	
北陸	実・継	●	生育期(草丈30cm以下)		
関東・東海	実・継	●	生育期(草丈30cm以下)	※	
近・中・四	実・継	●	生育期(草丈30cm以下)		
九州	継				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 36

NC-621-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	○	始	※	
北陸	実・継	○	始		
関東・東海	実・継	○	始	※	
近・中・四	実・継	○	始		
九州	実・継	○	始		

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸、近・中・四、九州)

A-4 クログワイ 37

NC-626 ジェンボ

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					30g×10 ²
東北	継				
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	実・継	●	前～始		
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	実・継	●	前～始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 38

NC-626-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北		○	始	※	
北陸		○	始	※	
関東・東海		○	始	※	
近・中・四		○	始	※	
九州	実・継	●	前～始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 39

NC-629 ジェンボ

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					40g×10 ²
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	継				
関東・東海	実・継	●	前～始	※	
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	継				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 40

NC-629 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					500ml
東北	継				
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	実・継	●	前～始		
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	継				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-4 クログワイ 41

NC-629-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	実・継	●	前～始		
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	実・継	●	前～始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-4 クログワイ 42

NC-631 ジャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					30g×10 ²
東北	継				
北陸	継				
関東・東海	実・継	●	前～始	※	
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	継				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-4 クログワイ 43

NC-631 顆粒水和

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					80g(散布液量500ml)
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	実・継	●	前～始	※	
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	継				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-4 クログワイ 44

NC-631-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	実・継	●	前～始	※	
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	継				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-4 クログワイ 45

NC-632 ジャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					40g×10 ²
東北	継				
北陸	実・継	●	前～草丈30cm		
関東・東海	実・継	●	前～草丈30cm		
近・中・四	実・継	●	前～草丈30cm		
九州	継				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-4 クログワイ 46

NC-632-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	前～草丈30cm		
北陸	実・継	●	前～草丈30cm		
関東・東海	実・継	●	前～草丈30cm		
近・中・四	実・継	●	前～草丈30cm		
九州	継				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 47

NH-061 ジャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					25g×10 ²
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸					
関東・東海					
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州					

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 48

NH-061-0.25kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					250g
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸					
関東・東海					
近・中・四					
九州					

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 49

NH-1001(II) フロアール

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					500ml
東北	実・継	●	始		
北陸					
関東・東海					
近・中・四					
九州					

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 50

NH-1001(II)-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	始		
北陸					
関東・東海					
近・中・四					
九州					

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 51

NH-1101-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	生育期(草丈20cm以下)	※	
北陸	実・継	●	生育期(草丈20cm以下)		
関東・東海	継				
近・中・四	実・継	●	生育期(草丈20cm以下)		
九州	継				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 52

NH-596 フロアム

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					500ml
東北					
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	実・継	●	始		
近・中・四					
九州					

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 53

NH-596-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	継				
北陸	実・継	●	前～始		
関東・東海	実・継	●	始		
近・中・四					
九州					

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 54

S-9058 シェンボ

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					40g×10 ²
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	実・継	●	前～始	※	
関東・東海	実・継	●	始	※	
近・中・四	実・継	●	前～始	※	
九州	実・継	●	前～始	※	

※: クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 55

S-9058 フロアム

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					500ml
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	実・継	●	前～始	※	
関東・東海	実・継	●	始	※	
近・中・四	実・継	●	前～始	※	
九州	実・継	●	前～始	※	

※: クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 56

S-9058-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	実・継	●	前～始	※	
関東・東海	実・継	●	始	※	
近・中・四	実・継	●	前～始	※	
九州	実・継	●	前～始	※	

※: クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 57

S-9102 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					3kg
東北					
北陸					
関東・東海	実・継	●	始		
近・中・四	実・継	●	前～始		
九州	実・継	●	前～始	※	

※: クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 58

S-9421 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					20g×10 ³
東北	実・継	●	前～始	※	
北陸	実・継	●	前～始	※	
関東・東海	実・継	●	始	※	
近・中・西	実・継	●	前～始	※	
九州	実・継	●	前～始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 59

S-9421 プロアフル

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					500ml
東北		○	始	※	
北陸		○	始	※	
関東・東海		○	始	※	
近・中・西		○	始	※	
九州	実・継	●	前～始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 60

S-9421-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	○	前～始	※	
北陸	実・継	○	始	※	
関東・東海	実・継	○	前～始	※	
近・中・西	実・継	○	始	※	
九州	実・継	●	前～始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 61

SL-0701 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					50g×10 ³
東北	実・継	●	草丈10cm	※	
北陸	実・継	●	草丈10cm	※	
関東・東海	実・継	●	草丈10cm	※	
近・中・西	実・継	●	草丈10cm	※	
九州	継				

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 62

SL-0701-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・継	●	草丈10cm	※	
北陸		○	草丈10cm	※	
関東・東海		○	草丈10cm	※	
近・中・西		○	草丈10cm	※	
九州		○	草丈10cm	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 64

SST-403 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					40g×10 ³
東北		○	始	※	
北陸					
関東・東海		○	始	※	
近・中・西	実・継	●	前～始		
九州					

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 65

SVJ-222-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・籾	●	始～草丈10cm	※	
北陸	実・籾	●	始～草丈10cm	※	
関東・東海	実・籾	●	始～草丈10cm	※	
近・中・四	実・籾	●	始～草丈10cm	※	
九州	実・籾	●	始～草丈10cm	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 67

TH-547(Z)-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					1kg
東北	実・籾	○	始	※	
北陸	実・籾	○	始	※	
関東・東海	実・籾	○	始	※	
近・中・四	実・籾	○	始	※	
九州	実・籾	○	始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 クログワイ 68

TH-601 ジャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: クログワイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	連年施用による効果向上	使用量 /10a
北海道					20g×10 ²
東北		○	前～始	※	
北陸		○	始	※	
関東・東海		○	前～始	※	
近・中・四		○	始	※	
九州	実・籾	●	前～始	※	

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

使用上の注意: クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(コウキヤガラ)

A-4 コウキヤガラ 2

BCH-033-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	寒・離	●	始	
近・中・四				
九州		○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 コウキヤガラ 3

BCH-052 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸				
関東・東海	寒・離	●	始	
近・中・四				
九州	寒・離	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 コウキヤガラ 4

BCH-053 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸				
関東・東海	寒・離	●	始	
近・中・四				
九州	寒・離	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 コウキヤガラ 5

BCH-062 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				40g×10㎡
東北				
北陸				
関東・東海	離			
近・中・四				
九州	寒・離	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 コウキヤガラ 6

BCH-063 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				50g×10コ
東北				
北陸				
関東・東海	離			
近・中・四				
九州	寒・離	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 コウキヤガラ 8

KPP-505-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	実・継	●	始	
近・中・四				
九州	実・継	●	始	

使用上の注意:

A-4 コウキヤガラ 11

KUH-101-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	実・継	●	始	
近・中・四	実・継	●	始	
九州	実・継	●	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ 13

KUH-104-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	継			
北陸				
関東・東海		○	生育期(草丈30cm以下)	
近・中・四		○	生育期(草丈30cm以下)	
九州		○	生育期(草丈30cm以下)	

使用上の注意:

A-4 コウキヤガラ 20

NC-632 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				40g×10 ²
東北				
北陸				
関東・東海	実・継	●	始～草丈30cm	
近・中・四	実・継	●	始～草丈30cm	
九州	実・継	●	始～草丈30cm	

使用上の注意:

A-4 コウキヤガラ 21

NC-632-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	実・継	●	始～草丈30cm	
近・中・四	継			
九州	実・継	●	始～草丈30cm	

使用上の注意:

A-4 コウキヤガラ 22

S-9058 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				40g×10 ²
東北				
北陸				
関東・東海	実・継	●	始	
近・中・四	実・継	●	始	
九州	実・継	●	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ 23

S-9058 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸				
関東・東海	実・継	●	始	
近・中・四	継			
九州	実・継	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 コウキヤガラ 24

S-9058-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	実・継	●	始	
近・中・四	実・継	●	始	
九州	実・継	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 コウキヤガラ 25

S-9102 粒

地域名	地域判定	対象雑草： コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				3kg
東北				
北陸				
関東・東海	実・継	●	始	
近・中・四	実・継	●	始	
九州	実・継	●	始	
使用上の注意： コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(近・中・四,九州)				

A-4 コウキヤガラ 26

S-9421 シンボ

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				20g×10 ²
東北				
北陸				
関東・東海	実・継	●	始	
近・中・四	継			
九州	実・継	●	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(九州)				

A-4 コウキヤガラ 27

S-9421 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸				
関東・東海		○	始	
近・中・四	継			
九州		○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 コウキヤガラ 28

S-9421-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	実・継	○	始	
近・中・四	実・継	○	始	
九州	実・継	○	始	
使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 コウキヤガラ 29

SL-0401-1kg(1.5kg/10a処理) 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1.5kg
東北		○	草丈15cm	
北陸				
関東・東海		○	草丈15cm	
近・中・四	実・産	●	草丈15cm	
九州		○	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ 30

SL-0613 顆粒水和

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1000g(散布液量100L)
東北		○	生育期(草丈30cm以下)	
北陸				
関東・東海		○	生育期(草丈30cm以下)	
近・中・四	産			
九州		○	生育期(草丈30cm以下)	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ 31

SL-0701 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				50g×10回
東北				
北陸				
関東・東海	実・産	●	始	
近・中・四	実・産	●	始	
九州	実・産	●	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ 32

SL-0701-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	産			
北陸				
関東・東海		○	始	
近・中・四		○	始	
九州		○	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ 34

SST-404-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北		○	始	
北陸				
関東・東海		○	始	
近・中・四	産			
九州		○	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ 35

SW-051-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北		○	草丈10cm～15cm	
北陸				
関東・東海		○	草丈10cm～15cm	
近・中・四	実・産	●	草丈10cm～15cm	
九州		○	草丈10cm～15cm	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ 36

SW-063-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州	寒・融	●	生育期(草丈15cm以下)	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ 37

SYJ-222-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	寒・融	●	始～草丈10cm	
近・中・四				
九州	寒・融	●	始～草丈10cm	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(九州)

A-4 コウキヤガラ 38

TH-501 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				500ml
東北		○	始	
北陸				
関東・東海		○	始	
近・中・四	融			
九州		○	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ 39

TH-501-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	融			
北陸				
関東・東海		○	始	
近・中・四		○	始	
九州		○	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ 40

TH-547(Z)-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北		○	始	
北陸				
関東・東海	寒・融	○	始	
近・中・四	寒・融	○	始	
九州	寒・融	○	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ 41

TH-601 ジャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				20g×10 ³
東北				
北陸				
関東・東海		○	始	
近・中・四	融			
九州		○	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ 42

TH-601 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				500ml
東北				
北陸				
関東・東海		○	始	
近・中・四	継			
九州		○	始	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 コウキヤガラ 44

YH-650-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: コウキヤガラ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海		○	前	
近・中・四	実・継	●	前	
九州		○	前	

使用上の注意: コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(シズイ)

A-4 シズイ 1

BCH-031-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	実・籾	●	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 シズイ 2

BCH-051 ジャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				30g×10 ³
東北	実・籾	●	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 シズイ 3

BCH-051 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				* 500ml
東北	実・籾	●	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 シズイ 4

BCH-052 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	実・籾	●	始	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 シズイ 5

BCH-053 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	実・籾	●	始	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 シズイ 6

BCH-062 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				40g×10 ³
東北	実・穂	●	始	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ 7

BCH-063 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				50g×10 ³
東北	実・穂	●	始	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ 8

HOK-0605 プロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	実・穂	●	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ 9

HOK-0605-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	実・穂	●	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ 10

HOK-0721 粒

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				3kg
東北	実・穂	●	生育期(草丈20cm以下)	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ 12

HOK-0801 プロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	実・穂	●	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ 13

HOK-0801-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	実・継	●	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ 14

KPP-501-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	実・継	●	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ 16

KUH-041-0.25kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				250g
東北	実・継	●	始	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ 17

KUH-091-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	実・継	●	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ 24

NC-621-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	実・継	○	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ 26

NC-626-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	実・継	●	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ 37

S-9058 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				500ml
東北	実・雄	●	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 シズイ 38

S-9058-1kg 粒

2005-1kg 粒				
地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	実・雄	●	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 シズイ 40

S-9421-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	実・雄	●	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 シズイ 41

SL-0604-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	実・雄	●	草丈15cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意: シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 シズイ 44

SW-061-1kg 粒

SW-001-1kg 粒				
地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	実・雄	●	草丈3cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 シズイ 45

SVJ-222-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北	実・雄	●	草丈10cm	
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				
使用上の注意・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。				

A-4 シズイ 46

TH-501 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	草丈3cm	40g×10 ³
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 シズイ 48

TH-601 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: シズイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	草丈3cm	20g×10 ³
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意: シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-4 特殊雑草対象(ミズアオイ)

A-4 ミズアオイ 1

BCH-051 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	2L	30g×10 ³
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 ミズアオイ 2

BCH-051 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	2L	500ml
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 ミズアオイ 3

DASH-001 SC

地域名	地域判定	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・穂	●	3~4L	100ml(散布液量100L)
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 ミズアオイ 4

KUH-041-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・穂	○	始 1L	1kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 ミズアオイ 6

MH-102(H) フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・隠	●	2L	500ml
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 ミズアオイ 7

S-9058 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・隠	●	1L	40g×10㎡
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 ミズアオイ 8

S-9058 フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・隠	●	1L	500ml
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 ミズアオイ 9

S-9058-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: ミズアオイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・隠	●	始	1kg
東北				
北陸				
関東・東海				
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 特殊雑草対象(SU抵抗性ホタルイ)

A-4 SU抵抗性ホタルイ 1

BCH-031-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・隠	●	2L	1kg
東北				
北陸				
関東・東海	実・隠	●	2L	
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 SU抵抗性ホタルイ 2

BCH-051 シャンボ

地域名	地域判定	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・隠	●	2L	30g×10㎡
東北				
北陸				
関東・東海	実・隠	●	2L	
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 SU抵抗性ホタルイ 3

BCH-051フロアブル

地域名	地域判定	対象雑草: SU抵抗性ホタルイ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道	実・産	●	2L	500ml
東北				
北陸				
関東・東海	実・産	●	2L	
近・中・四				
九州				

使用上の注意:

A-4 特殊雑草対象(雑草イネ)

A-4 雑草イネ 1

BCH-031-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: 雑草イネ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	実・産	●	前	
近・中・四				
九州				

使用上の注意: 雑草イネ防除は有効な後処理剤との組合せで使用する。

A-4 雑草イネ 2

BCH-032-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: 雑草イネ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	実・産	●	前	
近・中・四				
九州				

使用上の注意: 雑草イネ防除は有効な後処理剤との組合せで使用する。

A-4 雑草イネ 3

BCH-033-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: 雑草イネ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	実・産	●	前～始(精葉抽出期)	
近・中・四				
九州				

使用上の注意: 雑草イネ防除は有効な後処理剤との組合せで使用する。

A-4 雑草イネ 6

SL-0604-1kg 粒

地域名	地域判定	対象雑草: 雑草イネ	処理時期(対象雑草の生育時期)	使用量 /10a
北海道				1kg
東北				
北陸				
関東・東海	実・産	●	前～始(精葉抽出期)	
近・中・四				
九州				

使用上の注意: 雑草イネ防除は有効な後処理剤との組合せで使用する。

B 直播栽培

B-1 (移植A-1剤)

B-1 1

BAG-032 シンボ

地域名	判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ タワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
東北～九州	実・継	○2	○	○2		○2	○始			○発生 期	○再生 前～始		イネ1L～ノビエ2L	20g×10	○	○

流水条件で使用する。
土中播種で使用する。
※砂壌土は乾田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では葉害を生じる。

B-1 2

BAH-041-1kg 粒

地域名	判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ タワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
東北～関東・東 海	実・継	●1.5	●	●始									入水5日後(イネ3L 以降)～ノビエ1.5L	1kg		●

乾田直播
流水条件で使用する。
土中播種で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

B-1 3

BCH-032-1kg 粒

地域名	判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ タワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
東北～九州	実・継	●2.5	●	●2		●2	●2						イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		●

流水直播
流水条件で使用する。
土中播種で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では葉害を生じる。

B-1 4

BCH-033-1kg 粒

地域名	判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ タワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
東北～九州	実・継	●3	●	●2		●始	●始			●始			イネ1L～ノビエ3L	1kg		●

流水条件で使用する。
土中播種で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では葉害を生じる。

B-1 5

BCH-051 シンボ

地域名	判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ タワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 植土
東北～九州	実・継	●2.5	●	●2									入水5日後(イネ3L 以降)～ノビエ2.5L	30g×10		●

乾田直播
流水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

B-1 6

BCH-051 フロアブル

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 壤土
東北～九州	実・鑑	●3	●	●2									入水5日後(イネ3L 以降)～ノビエ3L	500ml		●
乾田直播 湛水条件で使用する。 減水深: 2cm/日以下 使用上の注意:																

B-1 7

BCH-052 フロアブル

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 壤土
北陸～九州	実・鑑	●3	●	●3	●始	●2							入水5日後(イネ3L 以降)～ノビエ3L	500ml		●
乾田直播 湛水条件で使用する。 減水深: 2cm/日以下 使用上の注意:																

B-1 8

BCH-053 フロアブル

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 壤土
東北～九州	実・鑑	●3	●	●3									入水5日後(イネ3L 以降)～ノビエ3L	500ml		●
乾田直播 湛水条件で使用する。 減水深: 2cm/日以下 使用上の注意:																

B-1 9

BCH-062 シャンホ

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 壤土
北陸～近・中・四	実・鑑	●2.5	●	●2									入水5日後(イネ3L 以降)～ノビエ2.5L	40g×10 ³		●
乾田直播 湛水条件で使用する。 減水深: 2cm/日以下 使用上の注意:																

B-1 10

BCH-063 シャンホ

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 壤土
北陸～関東・東 海	実・鑑	●2.5	●										入水5日後(イネ5L 以降)～ノビエ2.5L	50g×10 ³		●
乾田直播 湛水条件で使用する。 減水深: 2cm/日以下 使用上の注意:																

B-1 12
HOK-0801(L) シャンボ

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北陸～近・中・四	実・産	●2.5	●	●2									入水5日後(イネ4L 以降)～ノビエ2.5L	50g×10コ		●

乾田直播
湛水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

B-1 14
HOK-223 シャンボ

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北陸～九州	実・産	●2	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始		イネ1L～ノビエ2L	50g×10コ		●

湛水条件で使用する。
土中播種で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 15
KUH-021-0.25kg 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道～近・中・ 四	実・産	●3	●	●2	●2	●始	●始			●発生 期			イネ出芽前～ノビエ 3L	250g		●

湛水条件で使用する。
土中播種および表面播種(鉄コーティング)で確認。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 16
KUH-091-1kg 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道～近・中・ 四	実・産	●3	●	●2		●2	●2			●発生 期	●再生 前～始		イネ出芽前～ノビエ 3L	1kg		●

湛水条件で使用する。
土中播種で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 17
KUH-101-1kg 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道～近・中・ 四	実・産	●3	●	●3	●2	●2	●2			●発生 期	●再生 前～始		イネ1L～ノビエ 3L(湛水直播はノビ エ2.5Lまで)	1kg		●

湛水条件で使用する。
土中播種で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 18

MH-101-1kg 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハエ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガキ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
全域	実・難	●3	●	●3		●2	●2			●発生 期			イネ1L～ノビエ3L	1kg		●

灌水条件で使用する。
土中播種で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 19

MY-100DC(L)-1kg 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハエ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガキ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北陸～近・中・四	実・難	●2.5	●	●2		●2	●始						イネ1L～ノビエ2.5L	1kg		●

灌水条件で使用する。
土中播種で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 20

NBA-101SB シェンボ

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハエ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガキ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
全域	実・難	○2.5	○	○2		○2	○始			○発生 期	○再生 前～始		イネ1L～ノビエ2.5L	30g×10回	○	○

灌水条件で使用する。
土中播種で使用する。
*: 砂壌土は乾田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 23

NC-626-1kg 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハエ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガキ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
東北～九州	実・難	●2.5	●	●2									入水5日後(イネ3L 以降)～ノビエ2.5L	1kg		●

乾田直播
灌水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

B-1 24

NC-627 顆粒水和

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハエ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガキ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
東北～九州	実・難	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生 期	○再生 前～始		イネ1L～ノビエ2.5L	80g(散布 液量 500ml)	●*	○

灌水条件で使用する。
土中播種で使用する。
顆粒のまま水口処理可能(専用袋使用)
*: 砂壌土は乾田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 25
NC-627-1kg 粒

地域名	判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
東北～九州	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始		イネ1L～ノビエ2.5L	1kg	●	○

湛水条件で使用する。
土中播種で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 30
S-9146-1kg 粒

地域名	判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
全域	実・継	○3	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始		+0～ノビエ3L	1kg	○	○

播種同時散布可能
湛水もしくはごく浅水状態。乾田直播は入水後に使用する。
土中直播で使用する。土中播種および表面播種(鉄コーティング)で確認。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

B-1 34
SB-564 フロアブル

地域名	判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
東北～九州	実・継	○2	○	○始		○始2	●2			○発生 期			イネ1L～ノビエ2L	500ml	○	○

湛水条件で使用する。
土中播種で使用する。
*:砂壌土は乾田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 35
SB-564-1kg 粒

地域名	判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
東北～九州	実・継	○2	○	○2		○始2	○始2			○発生 期			イネ1L～ノビエ2L	1kg	○	○

湛水条件で使用する。
土中播種で使用する。
*:砂壌土は乾田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 36
SL-0601 ジャンボ

地域名	判定	ハビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
東北～九州	実・継	●4	●	●2			●2			●発生 期	●再生 前～始		イネ1L～ノビエ4L	50g×10 ³		●

湛水条件で使用する。
土中播種で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 37

SL-0601(RC)-0.5kg 粒

地域名	判定	ハエ	一年生 広葉・ マツハエ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
東北、北陸～近 中・四	実・継	○34	○	○3			○3			○発生 期	○再生 前～始		イネ1L～ノビエ34L	500g		○

均一散布
湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。土中播種および表面播種(鉄コーティング)で確認。
一年生広葉雑草以外のSL抵抗性雑草は対象としない。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 38

SL-0701-1kg 粒

地域名	判定	ハエ	一年生 広葉・ マツハエ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
東北～九州	実・継	○34	○	○3		○2	○3			○発生 期	○再生 前～始		イネ1L～ノビエ34L	1kg		○

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 39

SL-0701(RC)-0.5kg 粒

地域名	判定	ハエ	一年生 広葉・ マツハエ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
東北、北陸～近 中・四	実・継	○34	○	○2		●2	○2			●発生 期	○再生 前～始		イネ1L～ノビエ 34L(砂壌土はノビ エ3Lまで)	500g	●*	○

均一散布
湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。土中播種および表面播種(鉄コーティング)で確認。
*: 砂壌土は乾田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 40

SL-1001-1kg 粒

地域名	判定	ハエ	一年生 広葉・ マツハエ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
全域	実・継	●3	●	●3		●3	●始			●発生 期	●再生 前～始		イネ1L～ノビエ3L	1kg	●*	●

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。
*: 砂壌土は乾田直播のみ。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 41

SST-404-1kg 粒

地域名	判定	ハエ	一年生 広葉・ マツハエ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
全域	実・継	○2.5	○	○2		○始	○始			○発生 期	○再生 前～始		イネ出芽始～ノビエ 2.5L(砂壌土はイネ 出芽始以降、表面播 種はイネ1L以降)	1kg	○	○

湛水条件で使用する。
土中直播で使用する。土中播種および表面播種(鉄コーティング)で確認。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 42

SW-043-1kg 粒

地域名	判定	バエ	一年生 広葉・ マツバ	ネタリイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
全域	実・種	○2.5	○	○2		○2	○始						イネ11～ノビエ 2.5L(砂壌土はノビ エ2Lまで)	1kg	●	○

湛水条件で使用する。

土中播種で使用する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 45

TH-501-1kg 粒

地域名	判定	バエ	一年生 広葉・ マツバ	ネタリイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道～近・中・ 四九州	実・種	○3	○	○2		○始	○始			○発生 期			イネ出芽始～ノビエ 3L(砂壌土はイネ3L 以降)	1kg	○	○

湛水条件で使用する。

土中播種で使用する。

*: 砂壌土は乾田直播のみ。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 46

TH-547(Z) ジェンホ

地域名	判定	バエ	一年生 広葉・ マツバ	ネタリイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
東北～近・中・四 九州	実・種	○3	○	○2		○始	○始			●発生 期			イネ11入水5日後イ ネ3L以降)～ノビエ 3L	40g×100	●*	○

乾田直播

湛水条件で使用する。

土中播種で使用する。

*: 砂壌土は乾田直播のみ。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 47

TH-547(Z) フロアブル

地域名	判定	バエ	一年生 広葉・ マツバ	ネタリイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
全域	実・種	○3	○	○2	○始	○始	○始			○発生 期	○再生 前～始		イネ出芽始～ノビエ 3L	500ml		○

湛水条件で使用する。

土中播種で使用する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 48

TH-547(Z)-1kg 粒

地域名	判定	バエ	一年生 広葉・ マツバ	ネタリイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカワ	クロ グワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
全域	実・種	○3	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始		イネ11～ノビエ3L	1kg		○

湛水直播

湛水条件で使用する。

土中播種で使用する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 49

TH-601 シンボ

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ツリカワ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
北海道東北～ 近・中・西	実・継	○2.5	○	○2	●2	○2	○2			○発生 期	○再生 前～始		イネ1L～ノビエ2.5L	20g×10	●	○

湛水条件で使用する。
土中播種で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 50

TH-601 フロアブル

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ツリカワ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
全域	実・継	○2.5	○	○2	●2	○始	○始			○発生 期	○再生 前～始		イネ出芽始～ノビエ 2.5L(砂壌土はイネ 1L以降)	500ml	●	○

湛水条件で使用する。
土中播種で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 51

TH-601-1kg 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ツリカワ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
全域	実・継	○2.5	○	○2	●2	○2	○始			○発生 期	○再生 前～始		イネ出芽始～ノビエ 2.5L	1kg		○

湛水条件で使用する。
土中播種で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-1 52

KUH-021-1kg 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ツリカワ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
全域	実・継	○3	○	○2	●2	○2	○2			●発生 期	○再生 前～始		イネ出芽後播～ノビエ 3L	1kg	●	○

湛水条件で使用する。
土中播種および表面播種(鉄コーティング)で確認。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 処理後に出土したイネは生育抑制を受けることがある。
イネの根が露出する条件では薬害を生じる。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

B-1 53

SST-404 フロアブル

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ツリカワ	クロ クワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
全域	実・継	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始		イネ出芽始～ノビエ 2.5L(表面播種はイ ネ1L以降)	500ml	○	○

湛水条件で使用する。
土中播種および表面播種(鉄コーティング)で確認。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: イネの根が露出する条件では薬害を生じる。
処理後に出土したイネには薬害を生じる事がある。

B-2 (移植A-2剤)

B-2 1
KUH-983-1kg 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道～北陸	実・継	●前											+0～イネ出芽前	1kg		●
全域		○4											イネ3L～ノビエ4L		○	○

灌水条件で使用する(イネ出芽前処理では落水またはごく浅水状態で使用可能)。

播種同時散布可能

土中播種および表面播種(鉄コーティング)で確認。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
イネの根が露出する条件では薬害を生じる。

B-2 2

KUH-983-1kg 粒(少量散布)

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道～北陸	実・継	●前											+0	0.5kg		●

灌水直播

落水またはごく浅水状態で使用する。

播種同時散布可能

土中播種および表面播種(鉄コーティング)で確認。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 後処理剤との組み合わせで使用する。

B-2 3

MH-121-1kg 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
東北～九州	実・継	●1	●	●始			●始						+0～ノビエ1L	1kg		●

灌水直播

灌水条件で使用する。

播種同時散布可能(落水またはごく浅水で散布した場合は速やかに灌水する)

土中播種および表面播種(鉄コーティング)で確認。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 後処理剤との組み合わせで使用する。

B-2 4

SL-4901 フロアブル

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
東北～近・中・四	実・継	○1	○	○始		○始	○始			○発生 期			代かき後～7-4,+0 ～ノビエ1L	500ml	○	○

播種同時散布可能(落水またはごく浅水で散布した場合は散布後速やかに灌水する)

灌水直播

灌水条件で使用する。

土中播種および表面播種(鉄コーティング)で確認。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 後処理剤との組み合わせで使用する。

B-2 5

SL-4901 フロアブル(少量散布)

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
東北～近・中・四	実・継	○1	○	○始		○始	○前			○発生 期			代かき後～7-4,+0 ～ノビエ1L	300ml		○

播種同時散布可能(落水またはごく浅水で散布した場合は散布後速やかに灌水する)

灌水直播

灌水条件で使用する。

土中播種および表面播種(鉄コーティング)で確認。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 後処理剤との組み合わせで使用する。

B-2 6

YH-650-1kg 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ネタノイ	ヘラオモ ダカ	ミズガキ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道～近・中・ 四	実・継	○1.5	○	○始			○始			○発生 期			イネ4L以降、ノビエ1.5L	1kg		○

灌水直前
イネ出芽前は落水条件で使用する。
土中播種で使用する。
播種同時散布可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 後処理剤との組み合わせで使用する。
イネ出芽時に落水状態になると薬害を生じる場合がある。

B-2 7

SL-4901-1kg 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ネタノイ	ヘラオモ ダカ	ミズガキ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
東北～近・中・四	実・継	○1	○	○始		○始	○始			○発生 期			代かき後～イネ4L以降、ノビエ1L	1kg		○

灌水直前
灌水条件で使用する。
播種同時散布可能(落水またはごく浅水で散布した場合は速やかに落水する)
土中播種および表面播種(鉄コーティング)で確認。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 後処理剤との組み合わせで使用する。

B-3 (移植A-3剤)

B-3 1

HOK-0721 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ネタノイ	ヘラオモ ダカ	ミズガキ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
東北～近・中・四	実・継	○4	○	○4		●3	●2			●発生 期	●再生 前～始		イネ4L以降、ノビエ4Lまで	3kg	●	○

灌水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは浅水で散布し、2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは浅水状態が維持されない場合、効果が低下することがある。

B-3 2

HOK-0802-1kg 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ネタノイ	ヘラオモ ダカ	ミズガキ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北陸～近・中・四	実・継	●3	●	●3		●2				●発生 期			イネ5L以降、ノビエ3Lまで	1kg		●

灌水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。

B-3 4

KUH-983-0.25kg 粒

地域名	判定	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ネタノイ	ヘラオモ ダカ	ミズガキ ツリ	ウリカワ	クロ ダワイ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道～近・中・ 四	実・継	●3											イネ3L以降、ノビエ3Lまで(砂壌土はイネ5L以降)	250g	●	●

灌水条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。

B-3 5

SL-0401-1kg粒

地域名	判定	パエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ タライ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
全域	実・継	○4		○4			○3						イネ1L以降、ノビエ 4Lまで (北海道、九州はイネ 3L以降、ノビエ3Lま で)	1kg	○	○

SU抵抗性雑草を対象としない。
湛水条件で使用する。
土中播種で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤もしくは後処理剤との組み合わせで使用する。
イネの根が露出する条件では被害を生じる。

B-3 6

SL-0613 顆粒水和 (顆粒のまま散布)

地域名	判定	パエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ タライ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
東北～九州	実・継	●4	●	●4		●4	●4			●発生 期	●再生 前～始		イネ5L以降、ノビエ4 Lまで	1kg(顆粒 のまま)	●	●

減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
落水もしくは湛水で散布し、2日間以上入水しない。
降雨などにより散布後2日間以上落水もしくは湛水状態が維持されないとい効果は低下することがある。

B-4 (その他)

B-4 1

SL-0612 顆粒水和

地域名	判定	パエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミズガヤ ツリ	ウリカワ	クロ タライ	オモダカ	ヒル ムシロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 埴土
東北～近・中・四	実・継	○5										タデ類: 3L, クサネム: 4L, アザカセンダング サ: 1L	イネ2L以降、ノビエ5L まで(入水前)	30g(散布 液量 100L)	●	○

乾田直播
乾田条件で使用する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意:

C 畦畔雑草

C 1

MAH-1201 顆粒水和

地域名	判定	対象雑草	処理時期	使用量(散布液量) /10a	適用土壌
東北～九州	実・継	一年生雑草	発生前～摘(草丈10cm以下)	150～300g(散布液量70～100L)	全土壌

使用上の注意: 雑草発生摘期は展着剤を加用する。

使用基準の更新

以下の剤について、使用基準を策定した。

1. 過去の使用基準を元に現行の様式による使用基準を策定。
2. 過去の使用基準に特殊雑草対象の本年度判定結果を加え、使用基準を策定。

A 移植栽培

A-1 一発処理

A-1

BCH-051 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	クワ ツリ	クロツ ツリ	オモダ カ	ヒルム シロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌 土	壤 土 ～ 壤 土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始※	○発生 期	○再生 前～始	※ノビエ3L SU抵抗性3L4L2L 3L4L4L2L	+5～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○前～ 始※	○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始	※ノビエ3L			○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始	○始※	○始※	○発生 期			+5～ノビエ3L		○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始	※SU抵抗性3L4L2L			○	○
近・中・四	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州	○3	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ3L(砂壌 土は2.5Lまで)		○	○

※:オモダカ・クロツツリ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
水口処理可能
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道、東北、関東・東海、近畿・中国・四国、九州)
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北陸)
クロツツリ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(東北、北陸、近畿・中国・四国)
クロツツリ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海、九州)
シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

BCH-053 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘオモ ダカ	ミズギヤ ツリ	クワ ツリ	クロツ ツリ	オモダ カ	ヒルム シロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌 土	壤 土 ～ 壤 土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○始	○発生 期	○再生 前～始	※ノビエ3L SU抵抗性3L4L2L 3L4L4L2L	+5～ノビエ3L	500ml	○	○
東北	○3	○	○2	○2	○2	○始	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	※ノビエ3L			○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始				○*	○
近・中・四	○3	○	○3		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○

水口処理可能
※:オモダカ・クロツツリ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *:散布後の低温条件により強い生育抑制を受けることがある。
薬液が付着した稲体には白化症状が生ずることがある。
セリは再生が早い場合は効果が劣る。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クロツツリ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

BCH-062 シンボ

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	オタネ	ヘタモ タカ	ミズギヤ ツリ	ウツカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	セリ	藻類・ 表層 剥離		処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 壤土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始	○発生 期	○再生 前～始		ユブノヤスナツナ2L ミズギヤ1L SU抵抗性オモダカ2L	+5～ノビエ2.5L	40g×10	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○前～ 始	○始	○発生 期	○再生 前～始		2L以上始			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○前～ 始	○始	○発生 期	○再生 前～始					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始		2L以上始			○	○

※:オモダカ・クロクワイ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)。

5cm程度の水深で散布する。

散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。

オモダカ・クロクワイ・ユウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

BCH-063 シンボ

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	オタネ	ヘタモ タカ	ミズギヤ ツリ	ウツカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	セリ	藻類・ 表層 剥離		処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 壤土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○前～ 始	○発生 期	○再生 前～始		ユブノヤスナツナ2L ミズギヤ1L SU抵抗性オモダカ2L	+5～ノビエ2.5L	50g×10	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○前～ 始	○始	○発生 期	○再生 前～始		2L以上始			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始					○*	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○前～ 始	○発生 期	○再生 前～始					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始		2L以上始			○	○

※:オモダカ・クロクワイ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: *:浅植え、植付け精度不良等で薬害を生じることがある。

セリは再生が早い場合は効果が劣る(九州)

5cm程度の水深で散布する。

散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。

オモダカ・クロクワイ・ユウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0605 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	オタネ	ヘタモ タカ	ミズギヤ ツリ	ウツカ	クロク ワイ	オモダ カ	ヒルム シロ	セリ	藻類・ 表層 剥離		処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ～ 壤土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生 期	○再生 前～始	○前		+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○前～ 始	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前	2L以上始			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能

※:オモダカ・クロクワイ防除は、有効剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: オモダカ・クロクワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0605-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハク	オタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガキ ツリ	ウリカワ	クログ ワイ	オモダカ	ヒルムシ ロ	セリ	藻類・ 表層 剥離		処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 堆土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生 期	○再生 前～始			+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○前～ 始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始		2.5cm草丈3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1

HOK-0801フロアブル

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハク	オタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガキ ツリ	ウリカワ	クログ ワイ	オモダカ	ヒルムシ ロ	セリ	藻類・ 表層 剥離		処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 堆土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生 期	○再生 前～始			+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○前～ 始※	○始	○発生 期	○再生 前～始		2.5cm草丈3cm			○	○
北陸																
関東・東海																
近・中・四																
九州																

田植同時散布可能
※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ・クログワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1

HOK-0801(L)フロアブル

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハク	オタルイ	ヘラオモ ダカ	ミズガキ ツリ	ウリカワ	クログ ワイ	オモダカ	ヒルムシ ロ	セリ	藻類・ 表層 剥離		処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 堆土
北海道																
東北																
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○前～ 始	●始	○発生 期	○再生 前			+0～ノビエ2.5L	500ml	○	○
関東・東海	○2.5	○	○3		○2	○2	○前～ 始※	○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始	○前				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○前～ 始	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前				○	○
九州	○2.5	○	○2	○始	○2	○2	●始※		○発生 期	○再生 前～始	○前				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の暑い多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガキツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1

HOK-0801(L)-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカ	クログ ワ	オモダカ	ヒルムシ ロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 埃 土	壤土 ～ 壤土
北海道															
東北															
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○前～ 始	●始	○発生 期	○再生 前		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○3		○始	○2	○前～ 始※	○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○前～ 始	○始	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※	●始※	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)			○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(九州)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0801-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカ	クログ ワ	オモダカ	ヒルムシ ロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 埃 土	壤土 ～ 壤土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始			○発生 期	○再生 前～始		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始		○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始	シズク草太3cm			○	○
北陸															
関東・東海															
近・中・四															
九州															

田植同時散布可能
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

HOK-0801S-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミスガヤ ツリ	ウリカ	クログ ワ	オモダカ	ヒルムシ ロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 埃 土	壤土 ～ 壤土
北海道															
東北															
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始	●前～ 始	●始		○再生 前～始		+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○始		●前※	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)	+0～ノビエ2.5L(砂埃土は2Lまで)		○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	●前～ 始	●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	△前 (藻類)	+0～ノビエ2.5L		○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	●始※		○発生 期	○再生 前～始				○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

KU14-072D-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミズガヤ ツリ	クワガ ツリ	クロガ ツリ	オモダ カ	ヒルム シロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道															
東北															
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○前～ 始	○始	○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ2.5L	1kg	○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○前～ 始※		○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○前～ 始	○前～ 始	○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州	○2.5	○	○2		○始	○始	●前～ 始※		○発生 期	○再生 前～始				○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(近畿・中国・四国、九州)

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 52

KU14-074-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミズガヤ ツリ	クワガ ツリ	クロガ ツリ	オモダ カ	ヒルム シロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道	○3	○	○2	○2		○2		○前～ 始	○発生 期	○再生 前～始		+3～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○3	○	○2	○3	○3	○2		○前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○2		○前～ 始	○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2		○始※	○始	○発生 期	○再生 前～始	コキヤガラ始		○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3		○前～ 始	○発生 期	○再生 前～始				○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3		●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始		コキヤガラ始		○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(北陸、九州)

移植後の低温および急激な気温の上昇により薬害を生じることがある。(近畿・中国・四国)

散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

コキヤガラは有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

オモダカ・クログワイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 77

NC-627 顆粒水和

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミズガヤ ツリ	クワガ ツリ	クロガ ツリ	オモダ カ	ヒルム シロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始		+5～ノビエ2.5L	80g(散布成 量500ml)		○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始		●前～ 始※	○発生 期						○
北陸	○2.5	○	○2		○始	○始		●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○始		●前～ 始※	○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2		●前～ 始	○発生 期	○再生 前～始				○	
九州	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期	○再生 前～始					○

顆粒のまま水口散布可能(専用袋使用)

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。

オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 98

NH-596-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マフハイ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミス'ガ'ヤ ツリ	ウリカワ	クログワ イ	オモダカ	ヒルムシ ロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 〜 粘土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○2		●始	○発生 期			+3〜ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始		●前〜 始	○発生 期					○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始		●前〜 始	○発生 期					○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2		●前〜 始	○発生 期					○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2			○発生 期					○	○
九州	○2.5	○	○3		○2	○2			○発生 期						○

※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。

オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道)

オモダカ防除は有効な前処理または後処理剤との組み合わせで使用する。(東北、北陸、関東・東海)

A-1

S-9058 フロアブル

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マフハイ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミス'ガ'ヤ ツリ	ウリカワ	クログワ イ	オモダカ	ヒルムシ ロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 〜 粘土
北海道	○3	○	○3	○3		○2		●前〜 始	○発生 期		ミズギヤツリ・始 ミズギヤツリ	+5〜ノビエ3L	500ml	○	○
東北	○3	○	○3	○3	○2	○2	●前〜 始	●前〜 始	○発生 期		ミズギヤツリ3cm			○	○
北陸	○3	○	○3		○2	○始	●前〜 始	●前〜 始	○発生 期	○再生 前〜始				○	○
関東・東海	○3	○	○3		○2	○始	●前〜 始	●前〜 始	○発生 期	○再生 前〜始	ツキヤツリ・始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3	●前〜 始	●前〜 始	○発生 期	○再生 前〜始				○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	●前〜 始	●前〜 始	○発生 期	○再生 前〜始	ツキヤツリ・始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。

オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

S-94217フロアブル

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マフハイ	ホタルイ	ヘラオモ ダカ	ミス'ガ'ヤ ツリ	ウリカワ	クログワ イ	オモダカ	ヒルムシ ロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 〜 粘土
北海道	○3	○	○3	○3		○2		○前〜 始	○発生 期		ミズギヤツリ・始	+5〜ノビエ3L	500ml	○	○
東北	○3	○	○3	○2	○3	○2	○始	○前〜 始	○発生 期		ミズギヤツリ3cm			○	○
北陸	○3	○	○3		○3	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前〜始				○	○
関東・東海	○3	○	○2		○3	○3	○始	○始	○発生 期	○再生 前〜始	ツキヤツリ・始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○3	○始	○前〜 始	○発生 期	○再生 前〜始				○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	●前〜 始	●前〜 始	○発生 期	○再生 前〜始	ツキヤツリ・始			○	○

※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。

減水深: 2cm/日以下

使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。

田植前に生育したミズギヤツリには効果が劣る。

浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると葉害を生じることがある。(北海道)

オモダカ・クログワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1 132

SST-403/ヤンボ

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘウモ タカ	ミズガ ヤ	ワリガ リ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルム シ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ・ 土
北海道															
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前	+0～ノビエ1.5L	40g×10	○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○前			○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	ツキヤガ リ:始			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始	●前～ 始		○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○
九州															

※:オモダカ・クロクワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 5cm程度の水深で散布する。
 散布時に藻類・表層剥離などの浮遊物が多いと、部分的な薬害や効果不足が生じることがある。
 オモダカ・クロクワイ・コウキヤガラ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1 133

SST-404-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘウモ タカ	ミズガ ヤ	ワリガ リ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルム シ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ・ 土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始	○発生 期	○再生 前～始	○前	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○始	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○

田植同時散布可能
 ※:オモダカ・クロクワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
 田植前に生育したミズガヤリには効果が劣る。
 オモダカ・クロクワイ・コウキヤガラ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1

SW-061-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツバ	ホタルイ	ヘウモ タカ	ミズガ ヤ	ワリガ リ	クロク ワ	オモダ カ	ヒルム シ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤土 ・ 土
北海道															
東北	○2.5	○	○2	○2	○2	○2	○前～ 始	○前～ 始	○発生 期		シズイ:厚さ3cm	+5～ノビエ2.5L	1kg	○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○始	○前～ 始	○前～ 始						○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○前～ 始	○前～ 始	○発生 期					○*	○
近・中・四 (普)	○2.5	○	○2		○2	○2	○前～ 始	○前～ 始	○発生 期					○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○前～ 始	○前～ 始	○発生 期					○	○

※:オモダカ・クロクワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: *:浅植え、植え付け精度不良等で根が露出すると薬害を生じることがある。(関東・東海)
 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
 田植前に生育したミズガヤリには効果が劣る。
 オモダカ・クロクワイ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用。

A-1

SW-091-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミズガヤ ツリ	ツリカ ワ	クログ ワ	オモダ カ	ヒルム シ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 壤土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始		○発生 期	○発生 期			+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始	○始	○始	●前～ 始※	○発生 期	○発生 期					○	○
北陸	○1.5	○	○始		○始	○始	●前	○発生 期				+0～ノビエ1.5L(砂 壤土は1Lまで)		○	○
関東・東海	○1.5	○	○始		○始	○始		○発生 期			△前 (藻類)	+0～ノビエ1.5L		○	○
近・中・四	○1.5	○	○始		○始	○始	●前～ 始※	○発生 期	○発生 期					○	○
九州	○1.5	○	○始		○始	○始	●前～ 始※	○発生 期	○発生 期					○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

TH-501 70アブル

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミズガヤ ツリ	ツリカ ワ	クログ ワ	オモダ カ	ヒルム シ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 壤土
北海道	○3	○	○3	○3		○2		○始※	○発生 期	○再生 前～始	エゾマツタケ等2L ミズイロ1L	+5～ノビエ3L	500ml	○*	○
東北	○3	○	○2	○3	○3	○始	○前～ 始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	ツキヤガラ・始 シズイ草丈3cm			○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始				○*	○
関東・東海	○3	○	○2		○2	○2	○前～ 始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前 ツキヤガラ・始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前			○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前 ツキヤガラ・始			○	○

水口処理可能
※:オモダカ・クログワ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *:浅植え、植付け精度不良等で害害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ・クログワ・コウキヤガラ・シズイ草防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

TH-501-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハバ	ホタルイ	ヘラオモ タカ	ミズガヤ ツリ	ツリカ ワ	クログ ワ	オモダ カ	ヒルム シ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壤土	壤土 ～ 壤土
北海道	○3	○	○3	○3		○2		○始	○発生 期	○再生 前～始	エゾマツタケ等2L ミズイロ1L	+5～ノビエ3L	1kg	○	○
東北	○3	○	○3	○3	○3	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	シズイ草丈3cm	+0～ノビエ3L		○	○
北陸	○3	○	○2		○2	○始	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前			○*	○
関東・東海	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	○前 ツキヤガラ・始			○	○
近・中・四	○3	○	○3		○3	○2	○始※	○前～ 始	○発生 期	○再生 前～始	○前 ツキヤガラ・始	+5～ノビエ3L		○	○
九州	○3	○	○3		○3	○3	○始※	○始	○発生 期	○再生 前～始	○前 ツキヤガラ・始			○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: *:浅植え、植付け精度不良等で害害を生じることがある。
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣る。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ・クログワ・コウキヤガラ・シズイ草防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-1

TH-601-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘリオ モダカ	ミズガ ヤツ	ツリガ イ	クログ ワ	オモダ カ	ヒルム シロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤 土
北海道	○2.5	○	○2	○2		○始		○始※	○発生 期	○再生 前～始	※アオイ1L シバノヤツ25g/10a	+0～ノビエ2.5L	1kg	○	○
東北	○2.5	○	○2	○始	○2	○始	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	シバノ草丈3cm			○	○
北陸	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	ツキヤガヲ始			○	○
近・中・四	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	ツキヤガヲ始			○	○
九州	○2.5	○	○2		○2	○2	○始※	○始※	○発生 期	○再生 前～始	ツキヤガヲ始			○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 浅植え、植付け精度不良等で根が露出すると葉害を生じることがある。(北陸)
散布後の著しい多雨条件により除草効果が低下することがある。
田植前に生草したミズガヤツには効果が劣る。
オモダカ・クログワイ・コウキヤガヲ・シズイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-2 体系処理(初期)

A-2

YH-650-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘリオ モダカ	ミズガ ヤツ	ツリガ イ	クログ ワ	オモダ カ	ヒルム シロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤 土
北海道	○1.5	○	○始	○始		○始		○前～ 始※	○発生 期			+0～ノビエ1.5L	1kg	○	○
東北	○1.5	○	○始	○始		○前		○前～ 始※	○発生 期		ササノ木葉1L	植代後～4. +0～ノビエ1.5L		○	○
北陸	○1.5	○	○始			○始		○前～ 始※	○発生 期					○	○
関東・東海	○1.5	○	○始			○始	○前※	○前～ 始※	○発生 期		ササノ木葉1L ツキヤガヲ前			○	○
近・中・四	○1.5	○	○始			○始	○前	○前～ 始※	○発生 期		ツキヤガヲ前			○	○
九州	○1.5	○	○始			○始		○前※	○発生 期		ツキヤガヲ前			○	○

田植同時散布可能
※:オモダカ・クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(九州)
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(北海道、東北、北陸、関東・東海、近畿・中国・四国)
クサネムが残草または後発生した場合は有効な後処理剤を散布する。
クログワイ・コウキヤガヲ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3 体系(中後期)

A-3

SL-0401-1kg(1.5kg処理)粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハ	ホタルイ	ヘリオ モダカ	ミズガ ヤツ	ツリガ イ	クログ ワ	オモダ カ	ヒルム シロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 土	壤 土
北海道	○5		○4	○4		○4			○生育 期			+30～+40 (ノビエ5Lまで)	1.5kg	○	○
東北	○5		○花葉 抽出始	○4		○4	○草丈 15cm※		○生育 期		シバノ草丈15cm ツキヤガヲ草丈15cm	+14～+40 (ノビエ5Lまで)		○	○
北陸	○5		○4			○4			○生育 期					○	○
関東・東海	○5		○5			○4	○草丈 15cm※		○生育 期		ツキヤガヲ草丈15cm			○	○
近・中・四	○5		○5			○4	○草丈 15cm		○生育 期		ツキヤガヲ草丈15cm			○	○
九州	○5		○5			○4			○生育 期		ツキヤガヲ始			○	○

※:クログワイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
クログワイ・コウキヤガヲ・シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

A-3

SL-0604-1kg粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘリオ タカ	ミズガ ツリ	クワカ	クワグ イ	オモダ カ	ヒルム シロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	壤土 ～ 壤土
北海道	○4	○	○4	○4		○3			○発生 期		○始	+14～+35(イネ5L以 降、ノビエ4Lまで)	1kg	○	○
東北	○4	○	○4	○4	○4	○4	○草丈 10cm密	○矢じ り葉抽 出前密	○生育 期		○始	ツキヤガラ: 始 ミズハヤ: 草丈15cm		○	○
北陸	○4	○	○4		○3	○3	○草丈 10cm	○矢じ り葉抽 出前	○発生 期		○始			○	○
関東・東海	○4	○	○4		○4	○3	○草丈 10cm密	○矢じ り葉抽 出前密	○発生 期		○始	ツキヤガラ: 始 雑草(イネ前～始)(前 葉抽出前)		○	○
近・中・四	○4	○	○4		○3	○3	○草丈 10cm	○矢じ り葉抽 出前	○生育 期		○始			○	○
九州 (早)	○4	○	○4	○始	○4	○4			○発生 期		○始	ツキヤガラ: 始		○	○

※: オモダカ・クワグイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
 減水深: 2cm/日以下
 使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
 著しい高温条件では葉害を生じることがある。
 オモダカ・クワグイ・コウキヤガラ・シズイ・雑草イネ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

A-3

SW-051-1kg 粒

地域名	ノビエ	一年生 広葉・ マツハヤ	ホタルイ	ヘリオ タカ	ミズガ ツリ	クワカ	クワグ イ	オモダ カ	ヒルム シロ	セリ	藻類・ 表層 剥離	処理時期	使用量 /10a	砂 壌土	堆 土
北海道															
東北	○3.5	○	○3	○3	○3	○3	○草丈 20cm密	○広線 形葉4L 密	○発生 期	○再生 前～始	ツキヤガラ:草丈10～ 15cm シズイ:草丈10cm	+20～+30(ノビエ 3.5Lまで)	1kg	○	○
北陸	○3.5	○	○3		○3	○3	○草丈 20cm密	○広線 形葉4L 密	○発生 期	○再生 前～始				○	○
関東・東海	○3.5	○	○3		○4	○3	○草丈 20cm密	○広線 形葉4L 密	○発生 期	○再生 前～始	ツキヤガラ:草丈10～ 15cm			○	○
近・中・四	○3.5	○	○3		○3	○3	○草丈 20cm密	○広線 形葉4L 密	○発生 期	○再生 前～始	ツキヤガラ:草丈10～ 15cm			○	○
九州	○3.5	○	○3		○4	○4	○草丈 30cm密	○広線 形葉4L 密	○発生 期		ツキヤガラ:草丈10～ 15cm			○	○

SU抵抗性雑草は対象としない。
※:オモダカ・クワグイ防除は、有効な剤との組み合わせで連年施用することによりさらに効果が向上する。
減水深: 2cm/日以下
使用上の注意: 前処理剤との組み合わせで使用する。
オモダカ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(東北～近畿・中国・四国)
オモダカ防除は有効な前処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(九州)
クワグイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。(東北、北陸)
クワグイ防除は有効な後処理剤との組み合わせで使用する。(関東・東海)
クワグイ防除は有効な前後処理剤または後処理剤との組み合わせで使用する。(近畿・中国・四国、九州)
コウキヤガラ・シズイ防除は有効な前処理剤との組み合わせで使用する。

水稲関係除草剤使用基準の表示について

- 過年度、既に実用化の認められている適用草種・土壌条件に○を印した。
 (本年度の試験の結果、特に拡大のない場合も含む)
 草種欄の数字、字句で草種ごとの葉齢を示した。[例: ○始(発生始), ○2(2葉期まで)]
 作期に限定がある場合は、地域名の後に適用作期を記した。[例: 普通期限定の場合(普)]
 使用上の注意は文章で備考欄に記載した。
- 本年度、新たに使用基準が作成された場合は、実用化可能となった適用草種・土壌に●を印し、
 処理時期及び使用量を記載した。
- 過年度の基準に適用条件拡大が可能となった場合、
 作 期 の 拡 大 : 作期の限定がなくなった場合、作期の記載を取消線で消した。(例: (普/)
 草 種 の 拡 大 : 拡大された草種に●を印した。
 葉 齢 の 拡 大 : 拡大された葉齢に、アンダーラインを付した。[例: ○2.5]
 処理時期、使用量の拡大 : 拡大部分にアンダーラインを付した。[例: +0 +5～ノビエ2L]
 土 壌 条 件 の 拡 大 : 拡大された土壌に●を印した。
 その他、新たに付記された事項(処理方法、注意事項など)にアンダーラインを付した。[例: 水口処理可能]
- 藻類のみまたは表層剥離のみで効果が確認された場合は、仮判定“△(または▲)”表示とし、効果が
 確認された草種を括弧書きで記した。[例: △前(藻類)]

「話のたねのテーブル」より

ススキとオギはどこが違うの？

廣田伸七

「おれは河原の枯れススキ、同じお前も枯れススキ…」と船頭小唄に歌われているのは、本当にススキなのか、オギではないのだろうか。この歌は利根川が舞台になっている。利根川の河原にはススキもはえているが、両岸に圧倒的に多くはえているのはオギなのだが…。これをめぐって酒の席で論争になったと、明治生まれの老植物学者から聞かされたことがある。

ススキもオギも茎や穂の形が非常によく似ていて、少し遠くから群落を見ただけでは、どちらなのか分からない（写真-1、写真-2）。

両者の見分け方は株元を見ることである。ススキの場合は、一面に群生している場合で

も、株は大きくとも、一株ひと株は別々で連結してはいない。また、茎は叢生しているが、茎が分枝して枝を出すことはない（写真-3）。一方、オギの場合は叢生して大群落をつくるが、株になることはない。地中に地下茎を四方八方に伸ばし、節々から1本ずつ茎を単立し、けっして株にはならない（写真-4）。またオギはときに茎の節から竹のように小枝を出すものもある。

近寄って見て、株になっているのはススキ。いくら密に群生してはいても1本の茎が単立していて株になっていないのがオギ。いちど近寄って確かめてみてはいかがでしょうか。

（話のたねのテーブル No.203 より）



▲写真-1 ススキ



▲写真-2 オギ



▲写真-3 ススキ



▲写真-4 オギ

公益財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都台東区台東1丁目26番6号

電話 (03) 3832-4188 (代)

FAX (03) 3833-1807

<http://www.japr.or.jp/>

編集人 日本植物調節剤研究協会 理事長 小川 奎

発行人 植調編集印刷事務所 元村 廣司

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
 発行所 植調編集印刷事務所
 電話 (03) 3833-1821 (代)
 FAX (03) 3833-1665

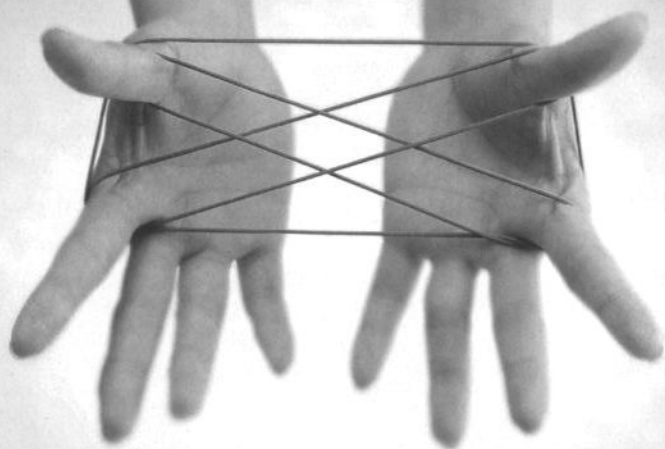
平成25年2月発行定価525円(本体500円+消費税25円)

植調第46巻第11号

(送料270円)

印刷所 (株)ネットワン

私たちの多彩さが、
この国の農業を豊かにします。



®は登録商標です。

大好評の除草剤ラインナップ

新登場! **ゼータワン** 1キロ粒剤

新登場! **メガゼータ** 1キロ粒剤

新登場! **オサキニ** 1キロ粒剤

新登場! **ショウリョクS** 粒剤

アワード フロアブル

イッテツ 1キロ粒剤

キックバイ 1キロ粒剤

クラッシュEX ジャンボ

シェリフ 1キロ粒剤

忍 1キロ粒剤

ショウリョク ジャンボ

テイクオフ 粒剤

ドニチS 1キロ粒剤

バトル 粒剤

ヨシキタ 1キロ粒剤

会員登録中 農業支援サイト **i-農力** <http://www.i-nouryoku.com>

お客様相談室 0570-058-669

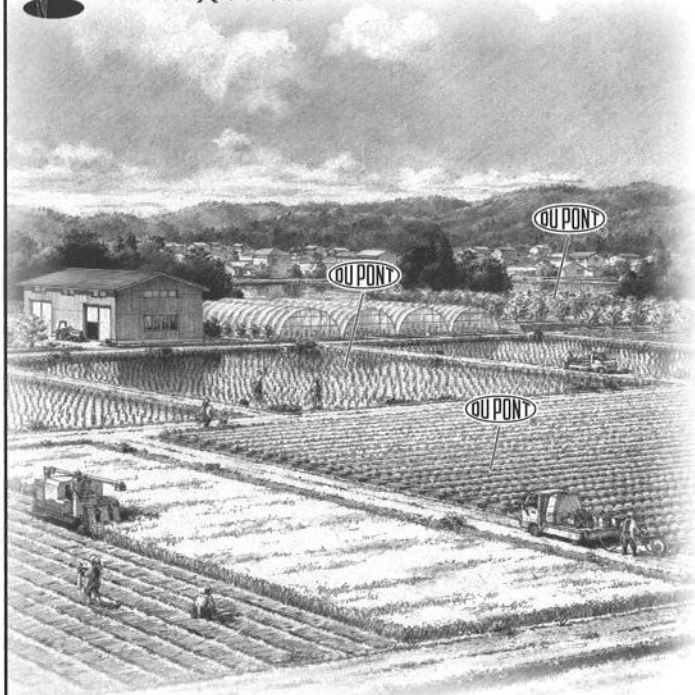
大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP

住友化学

住友化学株式会社



powered by
RYNAXYPYR®



日本の米作りを応援したい。

全国の水稲農家の皆さまからいただく様々な声をお聴きして、これまで「DPX-84混合剤」はSU抵抗性雑草対策を実施し、田植同時処理、直播栽培など多様な場面に対応した水稲用除草剤を提供してまいりました。そしてさらに雑草防除だけでなく、育苗箱用殺虫剤「フェルテラ®」で害虫防除でも日本の米作りを応援したいと考えています。
— 今日もあるあなたのそばに。明日もあるあなたのために。



The miracles of science™

デュポン株式会社 農業製品事業部 〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

デュポンオーバル®、The miracles of science TM、フェルテラ®、RYNAXYPYR®は米国デュポン社の商標および登録商標です。



幅広く
鋭い切れ味

水稲用初・中期一発処理除草剤

ヤイバ®

1キロ粒剤

豆つぶ 250

ジャンボ



●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記帳しましょう。

JAグループ
農 協 全 農 経済連

自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社:東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページ <http://www.kumiai-chem.co.jp>

®はクミアイ化学工業(株)の登録商標

天下無草

新登場

非選択性茎葉処理除草剤

ザクサ®
液剤

ザクサ普及会

北興化学工業株式会社

[事務局] Meiji Seika ファルマ株式会社
〒104-8002 東京都中央区京橋2-4-16



ザクサ®はMeiji Seikaファルマ(株)の登録商標